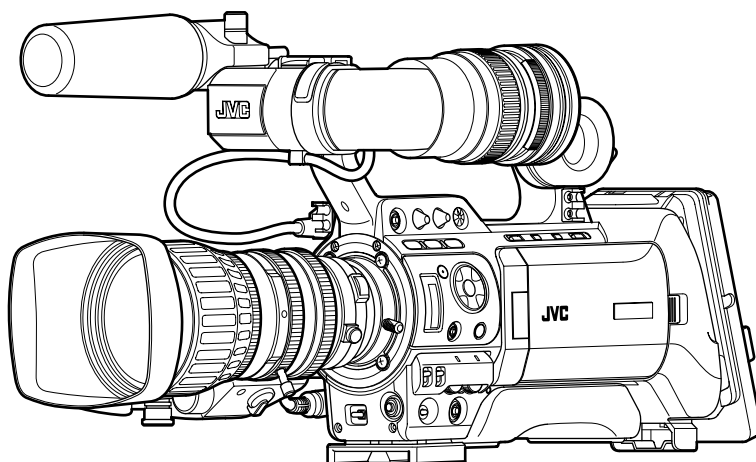
JVC

HD メモリーカードカメラレコーダー

型名 **GY-HM700**

取扱説明書

※イラストは GY-HM700 に付属のビューファインダー・マイクとレンズを取り付けた例です。

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0909-001A

もくじ

はじめに

準備

撮影

再生

メニュー表示と詳細設定

ステータス画面

カメラの各機能について

外部機器を接続する

その他

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　:　操作上の注意が書かれています。

メモ　:　機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　:　参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

特長

本機は、HD フォーマット映像を SDHC カードに記録し、再生できるカメラレコーダーです。

QuickTime ファイルフォーマット記録

Apple Inc. 製の映像編集ソフトウェア Final Cut Pro のファイルフォーマットである QuickTime ファイルフォーマットでの記録が可能です。これにより、記録したクリップをダイレクトに Final Cut Pro で編集することができます。

SDHC メモリーカード（Class6）での記録

記録メディアに SDHC（class6）を採用し、メカレス化による動作信頼性を向上させました。また、パソコンとの親和性が向上することにより、NLE への高速データ転送を可能にするなど、作業コストを抑制することができます。

35 Mbps の高画質モードを搭載

従来の HDV モードのビットレート（19/25 Mbps）に加えて、35 Mbps の高画質モードを搭載しました。

デュアルメディアスロット搭載

記録メディアを 2 枚装填して連続記録を行うことができるため、長時間記録も可能です。

豊富な記録フォーマット

各種 HD 方式（1080i、1080p、720p）に対応しており、様々な環境で幅広く使用できます。
1080 方式については 1440x1080 だけでなくフル解像度の 1920x1080 にも対応しています。

編集が容易な MPEG-2 Long GOP を採用

編集パソコンの負担が少ない MPEG-2 コーデックを採用することで編集時間や出力時間の短縮を実現しました。

新開発 [格子パターン画素ずらし] による高解像度の実現

新開発の格子パターン画素ずらしにより 2.5k × 1.4k ピクセルを生成し、独自のフロントプロセス処理により、縦横のみならず斜め方向の解像度まで上げ、水平 900 本以上、斜め 1000 本以上の高解像度を実現しました。

新機能 [スポットメーター] 搭載

画面の最も明るい位置、および最も暗い位置を自動検出し、その位置とダイナミックレンジを表示します。この数値はガンマ前の数値ですので照明比を把握しやすくなり、ライティングをコントロールする映画などの撮影シーンなどで、白トビや黒潰れを未然に防ぐことに役立ちます。

新開発ビューファインダー

0.425 インチ 852x480 と高解像度になったことで、より正確なフォーカスあわせが可能になると同時に、ビューファインダー自体の堅牢性もアップしました。

高解像度液晶モニターの搭載

4.3 インチ 800x480 の大型液晶モニターを搭載しており、撮影精度やビューイング性能が向上しました。

ユーザーインターフェースの一新

ユーザーインターフェイスを洗練したことにより、より直感的な操作を実現しました。また、再生するクリップを容易に選択できるサムネイル表示も搭載しました。

コンパクトショルダースタイルの継承

GY-HD100 シリーズで提案し、業界に受け入れられたコンパクトショルダースタイルを継承することで、ハンドヘルド機と変わらない重量ながら、より安定した撮影が可能です。

レンズ交換方式

すでに保有しているレンズを使用することで、コストを節約可能。また撮影に応じて最適なレンズを選択することができます。

業務用バッテリー方式

IDX 社製など放送局で使用される V マウントタイプのバッテリーが使用可能です。

豊富な出力に対応

HD-SDI 出力や IEEE1394 出力など業務用として十分な出力に対応しています。

DV トランスコード出力

SD 環境での使用も考慮し、IEEE1394 出力を DV フォーマットとすることが可能です。

アプリケーションソフトを添付

記録したクリップを Windows や Macintosh のコンピュータにコピーしたり、映像を確認するためのアプリケーションソフト [JVC ProHD Clip Manager] を添付しています。
（MP4 ファイルフォーマット用）

本機に添付される CD-ROM には [JVC ProHD Clip Manager] などのアプリケーションソフトウェアやご使用方法を説明するユーザーズガイドが収録されています。

※詳しくは各アプリケーションソフトウェアのユーザーズガイドをご覧ください。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 周囲温度、湿度

許容周囲温度は 0℃ ～ 40℃、湿度 30 %RH ～ 80 %RH の範囲を守ってご使用ください。許容周囲温度の範囲外でご使用されると、故障の原因となるばかりでなく、CCD に重大な影響をあたえ画面上に白い点があらわれる現象が発生することがあります。十分ご留意ください。

■ 強い電波や磁気の影響

ラジオやテレビの送信アンテナに近いところ、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは、画像や音声にノイズが入ったり色彩に変化を生じることがあります。

■ ワイヤレスマイクをカメラの近くで使用するとき

本機で撮影中、ワイヤレスマイクおよび受信機を使用すると、ノイズがワイヤレス受信機に飛び込むことがありますので、ご注意ください。

■ 次の場所での使用や保管は避けてください。

- 極端に暑いところや寒いところ
- ゴミやほこりの多いところ
- 湿気の多いところ
- 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる場所
- 振動の激しいところや不安定なところ
- 直射日光のあたる車の中や暖房機の近くに長時間放置しないでください。

■ 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。

■ 本機を水でぬらさないでください。
(雨の日の撮影では、特にご注意ください)

■ 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。また、塩分、砂などがボディーに付着していることがあります。撮影後のお手入れをお忘れなく。

■ 砂浜など、砂ぼこりが多い場所でご使用になるときには、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。

移動について

持ち運ぶ場合、本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにご注意ください。

お手入れについて

■ お手入れは、電源を切ってから行なってください。

■ 本機清掃時は外装キャビネット部はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきをしてください。

省エネについて

■ ご使用にならないときは、節電のため、[POWER] スイッチを “OFF” に設定してください。

バッテリーについて

■ 本機で使用する推奨バッテリーは Endura-7（IDX 社製）です。

■ 推奨バッテリーお使いください。重いバッテリーを使用した場合、ご使用方法によっては脱落することがあります。

定期点検（メンテナンス）について

長時間使用することにより、一般環境下でも塵埃が付着していきます。特に屋外で使用する場合は、塵埃がカメラ内部に入り込むことがあります。これらの塵埃によって、良質な画質・音質を確保できなくなる可能性があります。
9000 時間をめやすに、ファンの点検、交換を行なってください。
ファンの使用時間は、[Others] メニュー ➡ [System Information]➡[Fan Hour] 項目で確認できます。
(☞ 88 ページ)
交換めやすの 9000 時間を超えた場合、電源を入れるたびに、“FAN MAINTENANCE REQUIRED” と表示されます。

その他

■ カードスロットに異物などを入れないでください。

■ 通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火傷や火災の原因となります。

■ 記録や再生中に、直接 [POWER] スイッチを切ったり、電源ケーブルをはずさないでください。

■ 電源投入直後は数秒間、安定した映像が見られませんが故障ではありません。

■ 映像信号出力端子をご使用にならないときは、端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けた状態でご使用ください。

■ 精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。

■ レンズ光学性能について

レンズの光学性能上、画面周辺において色ズレ現象（倍率色収差）を起こす場合があります。カメラの故障ではありません。

SDHC カードについて

Class 6 以上対応の SDHC カード（4 GB ～ 32 GB）使用ください。

※Panasonic、東芝 TOSHIBA、サンディスク SanDisk 以外のカードでは正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

正しくお使いいただくためのご注意 (つづき)

SDHC カードの取り扱いについて

■ アクセス中、アクセスランプが赤く点灯します。アクセス中（記録、再生、フォーマットなど）に SDHC カードを抜かないでください。また、アクセス中、電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターをはずさないでください。

■ 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管しないでください。

■ 強い磁気や電波の発生する機器の近くには置かないでください。

■ 挿入方法を間違えると、本機や SDHC カードの故障の原因となります。

■ 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。データのバックアップをおねがいいたします。

■ 使用条件の範囲で使用ください。
次の場所では使用しないでください。
直射日光の当たる場所、熱機器の近く、炎天下の窓を閉め切った車の中、高温多湿の場所や腐食性のある場所、ほこりや砂ぼこりの立つところ。

■ 曲げたり、落としたり、また、強い力や衝撃、振動を与えないでください。

■ カメラによるフォーマットや削除ではファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。すべてのデータを完全に消去したい場合は、市販のデータ消去ソフトを使用するか、または SDHC カードを金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。

■ 分解や改造しないでください。

■ 端子部を手や金属で触らないでください。

■ 端子部にほこりやゴミ、水分や異物を付着させないでください。

■ 貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。

■ SDHC カードに文字を書く場合は鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。

■ フォーマット（初期化）を実行すると、SDHC カード内の記録された映像データ、セットアップファイルなどを含むすべてのデータが消去されます。

■ 本機でフォーマット（初期化）したカードを使うことをおすすめします。
- カメラが正しく動作しないときは、SDHC カードが壊れている可能性があります。フォーマット（初期化）すると正しく動作する場合もあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器などでフォーマット（初期化）した SDHC カードを使用すると、正しく動作しません。その場合は、本機でフォーマット（初期化）してください。

LCD モニターおよびビューファインダーについて

■ LCD モニターやビューファインダー画面は精度の高い技術で作られています。LCD モニターやビューファインダー画面に黒い点が現れたり、赤、青、白の点が消えないことがありますが、故障ではありません。これらの点は、記録されません。

■ 長時間連続して使用した場合、ビューファインダー画面に表示した文字などが、一定時間残ることがあります。これは、SDHC カードには記録されません。また、一度電源を入れ直すと、表示されません。

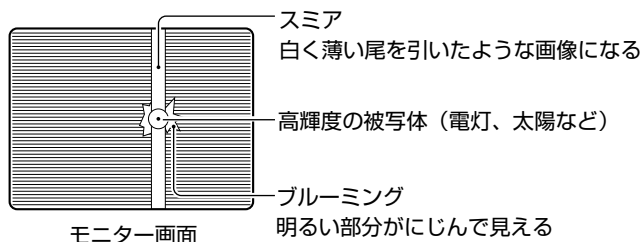
■ 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。この残像は記録されません。

■ 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。

■ 撮影画像と再生画像の切り換え時、ビューファインダー画面にノイズが出ることがあります。

■ ビューファインダー表示のデバイスの特性上、まばたきをした瞬間など、映像に色がのって見えるときがありますが、故障ではありません。また、記録される映像、SDI 出力、コンポーネント出力などには影響ありません。

CCD 固有の現象について

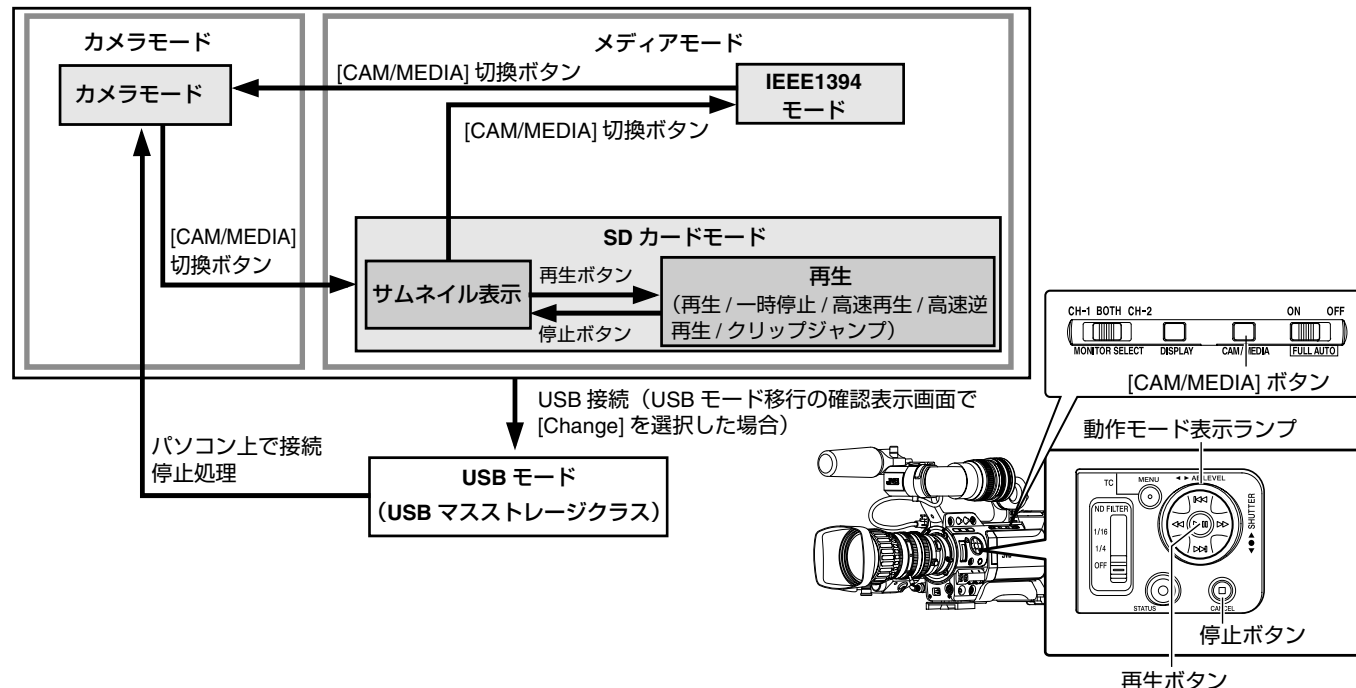
■ スミアとブルーミング
CCD は高輝度の光源を撮影すると、その光源の垂直方向上下に白いスジが入る現象（スミア）および、光源が非常に明るい場合、その周囲に光が広がって見える現象（ブルーミング）が発生します。本機では、スミアおよびブルーミングが特に少ない CCD を使用していますが、高輝度の光源の撮影時には発生します。

■ 折り返しひずみ
縞模様、線などを写すと、ギザギザに見えることがあります。

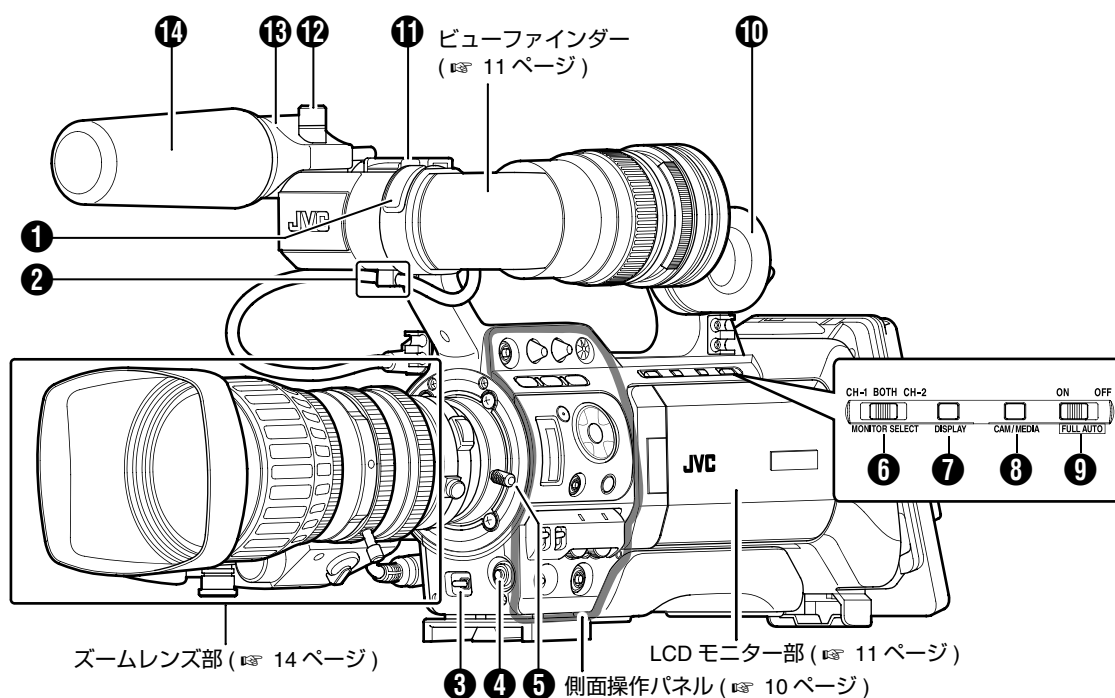
■ 白点
高温時に動作させると、画面に白点が現れることがあります。特に増感時に目立ってきます。
これは固体撮像素子 CCD の特性です。できるだけ本機の温度が上らない状態で使用してください。

著作権について

本機で記録・録音したものを営利目的、または公衆に試聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
記録（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

動作モードについて

本機の動作モードには、カメラモード、メディアモード、USB モードの 3 つのモードがあります。
動作モードに応じて、本機左側面の動作モード表示ランプが点灯します。

動作モードについて		動作モード表示ランプ	説明
カメラモード		青	カメラ撮影のためのモードです。本機は電源を入れるとカメラモードで立ち上がります。 **メモ：** ● 本モードでは、SDHC カードに記録された画を再生することはできません。ただしクリップレビュー機能により、直前に撮影した画像のチェック(再生)は可能です。(☞ 52 ページ)
		紫	[Rec Mode] 項目を “Variable Frame” に設定した場合、バリアブルフレームレックとなり、カメラモードでこの設定時のみ動作表示ランプは紫色に点灯します。(☞ 56 ページ)
メディアモード	SD カードモード	緑色	SDHC カードに記録されたクリップを再生・削除などを行うためのモードです。 カメラモードで記録状態ではないとき、[CAM/MEDIA] 切換ボタンを押すと SD カードモードになります。 SD カードモードに切り換わると、選択されていたメディアスロットのサムネイルが表示されます。
	IEEE1394 モード	オレンジ	IEEE1394 接続されている機器からの映像入力モードです。 メディアモード(SD カードモード)でサムネイル表示中に、[IEEE1394] 端子に接続されている機器の電源が入っている場合、[CAM/MEDIA] 切換ボタンを押すと IEEE1394 モードになります。 IEEE1394 モードに切り換わると、接続されている機器の再生画像などが表示されます。 ただし、IEEE1394 接続が認識されない場合(IEEE1394 接続されている機器の電源が入っていない場合など)、IEEE1394 モードではなく、カメラモードに切り換わります。 IEEE1394 モード中に [CAM/MEDIA] 切換ボタンを押すとカメラモードに切り換わります。 IEEE1394 モード中に [IEEE1394] 端子に接続されている機器の電源が OFF、または接続が解除された場合でも、自動的に他のモードには切り換わりません。IEEE1394 モードを抜ける場合は [CAM/MEDIA] 切換ボタンの操作が必要です。 **ご注意：** ● このモードは、外部機器からの [IEEE1394] 端子への入力映像を見るためのものであり、入力映像を本機で記録することはできません。
USB モード		オレンジ	パソコンと接続し、SDHC カードのファイルをパソコンに転送するモードです。 本機に USB ケーブルを接続すると “Change to USB Mode” とメッセージが表示されます。[Change] を選択し、セットボタン(●)を押すと、USB モードに切り換わります。(☞ 118 ページ) USB モードはパソコンなどからはその周辺機器のドライブとして認識されます(USB マスストレージクラスのみ)。接続パソコン上で接続停止処理を行い、USB ケーブルを本機からを抜けば、カメラモードに切り換わります。(☞ 118 ページ) **メモ：** ● USB ケーブルを接続した場合、記録停止した段階でメッセージ表示されます。 ● 再生中であれば再生停止など、ファイルを自動的にとじてからメッセージが表示されます。

各部の名称

❶ **フロントタリーランプ (☞ 30 ページ)(☞ 87 ページ)**

❷ **ビューファインダーケーブル用クランプ (☞ 20 ページ)**

❸ **[ZEBRA ON/OFF]ゼブラON/OFFスイッチ(☞ 18ページ) [SKIN AREA/SPOT METER] スキンエリア / スポットメーター切換スイッチ (☞ 75 ページ)**

❹ **[AWB] オートホワイトバランスボタン (☞ 40 ページ)**

❺ **レンズ固定レバー（☞ 19 ページ）**

❻ **[MONITOR SELECT] 音声モニター選択スイッチ (☞ 45 ページ)**

❼ **[DISPLAY] ディスプレイボタン（☞ 29 ページ）**

❽ **[CAM/MEDIA] カメラ / メディアモード切換ボタン (☞ 7 ページ)**

❾ **[FULL AUTO] フルオートシューティング（FAS）スイッチ (☞ 75 ページ)**

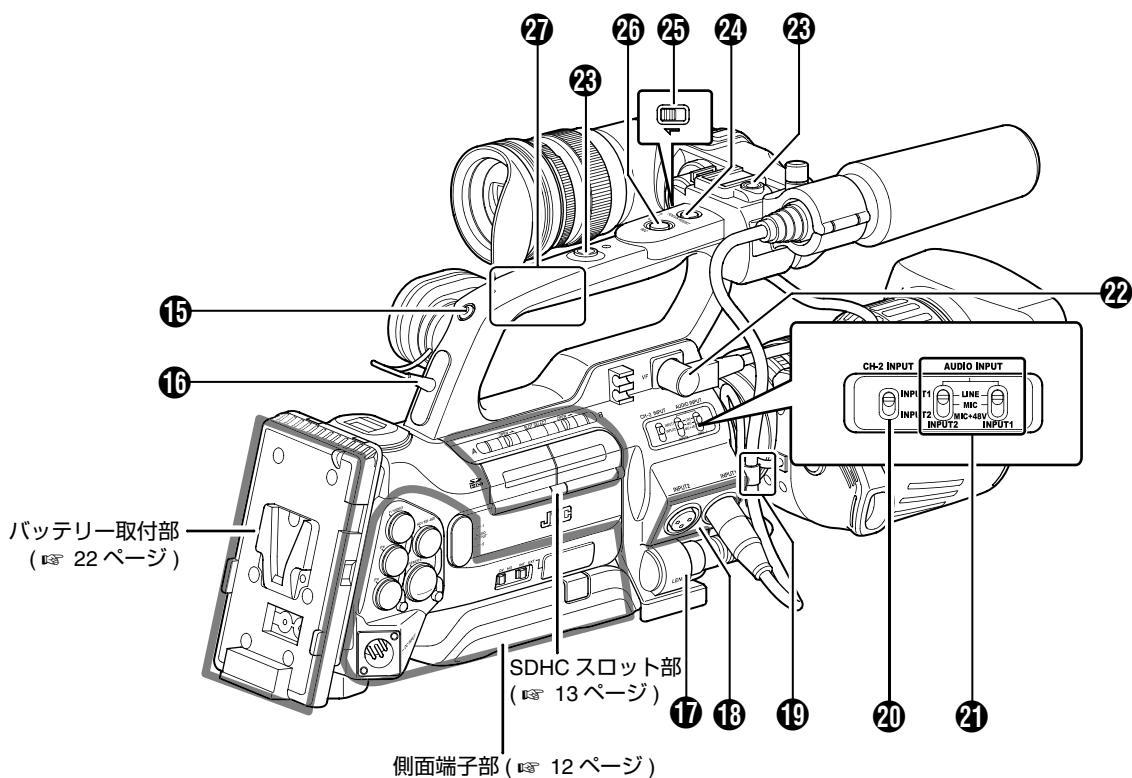
❿ **モニタースピーカー（チークパット）(☞ 26 ページ)**

⓫ **シュー**

別売のライトやアクセサリーを取り付けることができます。

⓬ **マイクホルダー固定ノブ (☞ 19 ページ)**

⓭ **マイクホルダー (☞ 19 ページ)**

⓮ **マイク (☞ 19 ページ)**

⑮ **バックタリーランプ (☞ 30 ページ)(☞ 87 ページ)**

⑯ **[PHONES] イヤホン接続端子（Φ3.5）(☞ 45 ページ)**

⑰ **[LENS] レンズ接続端子（12 ピンコネクター）(☞ 19 ページ)**

⑱ **[INPUT1/INPUT2] オーディオ入力端子１、２（XLR 3pin×2）(☞ 44 ページ)**

⑲ **マイクケーブル用クランプ (☞ 19 ページ)**

⑳ **[CH-2 INPUT]CH-2 オーディオ入力端子選択スイッチ**

CH-2 に記録する音声入力端子を選択します。
(☞ 44 ページ)

メモ :
- [INPUT1] 端子の音声は、設定に関係なく CH-1 にも入力します。

㉑ **[AUDIO INPUT 1/2] オーディオ入力信号選択スイッチ (☞ 44 ページ)**

㉒ **ビューファインダー接続端子（20 ピン）(☞ 20 ページ)**

㉓ **アクセサリー取付用ねじ穴（2 か所）**

㉔ **[FOCUS ASSIST] フォーカスアシストボタン (☞ 35 ページ)**

㉕ **記録ボタンロックスイッチ**

スイッチをレンズ方向に設定すると、[REC] トリガーボタン ㉖ がロックされます。

メモ :
- 本機右側側面パネル操作部の [REC] トリガーボタン (☞ 10 ページ) ⑪ はロックされません。

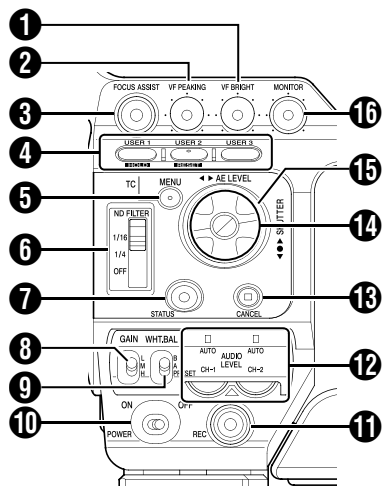
㉖ **[REC] 記録トリガーボタン（記録スタート／ストップ）**

記録をスタート／ストップさせます。

メモ :
- 本機右側側面パネル操作部の [REC] トリガーボタン (☞ 10 ページ) ⑪ と連動しています。

㉗ **ハンドル**

各部の名称 (つづき)

側面操作パネル

❶ **[VF BRIGHT] ビューファインダー輝度調整つまみ (☞ 28 ページ)**

❷ **[VF PEAKING] 輪郭調整つまみ (☞ 28 ページ)**

メモ :
- フォーカスアシスト動作中このつまみは機能しません。(☞ 35 ページ)

❸ **[FOCUS ASSIST] フォーカスアシストボタン**

撮影時に押すと、合焦部分が青、赤、緑色のいずれかで表示され、正確なフォーカスを合わせやすくなります。(☞ 35 ページ)

❹ **[USER1]、[USER2]、[USER3] ユーザーボタン (☞ 74 ページ)**

被写体に合わせて、撮影条件を切り換えるときなどに活用します。動作モード (☞ 7 ページ) によって下記のように機能が変わります。

	カメラモード時	メディアモード時
[USER1] ボタン	● メニューで [USER1] に割り付けた機能の実行。 ● [MENU] ボタンと同時に押すと、[TC Preset] 画面の呼び出します。(☞ 48 ページ)	OK マークの付加・削除 (☞ 64 ページ)
[USER2] ボタン	● メニューで [USER2] に割り付けた機能の実行。 ● [TC Preset]/[UB Preset] 画面時に押すと設定をリセットします。(☞ Page 48, 49)	クリップの削除 (☞ 62 ページ)
[USER3] ボタン	● メニューで [USER3] に割り付けた機能の実行。	—

メモ :
- [USER1,USER2,USER3] 各ボタンの機能は、メニューで設定します。(☞ 74 ページ)
- メニュー画面表示中は、メニュー操作ボタンとしても機能します。(☞ 66 ページ [操作ボタン])

❺ **[MENU] メニューボタン (☞ 66 ページ)**

❻ **[ND FILTER]NDフィルター切換スイッチ(☞ 43ページ)**

❼ **[STATUS] ステータス画面表示の切り換えボタン**
- 通常画面時（メニュー画面が表示されていない状態)、[STATUS] ボタンを押すとステータス画面がビューファインダーや LCD モニターに表示されます。(☞ 16 ページ [ステータス画面])
- メニュー画面が表示された状態で[STATUS]ボタンを押すと、[Main Menu] 画面と [Favorites Menu] 画面が切り換わります。(☞ 66 ページ)

❽ **[GAIN] 感度選択スイッチ (☞ 37 ページ)**

❾ **[WHT.BAL] ホワイトバランス選択スイッチ (☞ 40 ページ)**

3 種類のホワイトバランスの切り換えができます。

❿ **[POWER] 電源 ON/OFF スイッチ**

電源を ON/OFF にするスイッチです。
電源 OFF 時、“POFF” が LCD モニターやビューファインダーに表示されます。
電源を再投入する場合は、5 秒以上時間をあけてください。

⓫ **[REC] 記録トリガーボタン（記録スタート／ストップ)**

記録をスタート／ストップさせます。
上面部 [REC] トリガーボタン (☞ 9 ページ) ㉖ やレンズ部の [REC] トリガーボタン (☞ 14 ページ) と連動しています。

メモ :
- [Others] メニュー画面の [1394 Rec Trigger] 項目を “Split” に設定したとき、このボタンは、外部機器の記録スタート／ストップボタンになります。(☞ 88 ページ) (☞ 116 ページ [バックアップ記録])

⓬ **[AUDIO LEVEL CH-1/CH-2]/[AUTO] CH-1/CH-2録音レベル調節つまみ / オート表示ランプ (☞ 44 ページ)**

⓭ **[CANCEL] キャンセルボタン**

各種設定のキャンセル、再生停止を行います。

⓮ **十字ボタン（▲▼◀ ▶）/ セットボタン（●)**

カメラの動作状況によって機能が変わります。

■ メニュー操作時（各モード共通)(☞ 66 ページ)
　中央セットボタン（●）: メニュー項目や設定値の決定
　十字ボタン（▲▼）　　: メニュー項目や設定値の選択

■ カメラモード時
シャッター操作:
　中央セットボタン（●）: シャッター ON/OFF
　十字ボタン（▲▼）　　: シャッター ON 時のシャッター速度の切り換え
AE レベル操作　　　　　: 十字ボタン（◀ ▶)

メモ :

- [Camera Function] メニュー➔[Switch Set]➔[AE LEVEL] 項目を "AE LEVEL/VFR" に設定した場合、バリアブルフレームレック時、フレーム数設定として動作します。
  (☞ 56 ページ [バリアブルフレームレック])
  (☞ 75 ページ [AE LEVEL])

■ メディアモード（SD カードモード）時 (☞ 57 ページ)

サムネイル操作　: 十字ボタン（▲▼◀ ▶)、十字ボタン中央セットボタン（●）

⓯ **動作モード表示ランプ**

動作モードによって下記のように点灯します。
(☞ 7 ページ)

動作モードについて	点灯色
カメラモード	青 / 紫
メディアモード（SD カードモード）	緑
メディアモード（IEEE1394 モード）	オレンジ
USB モード	オレンジ

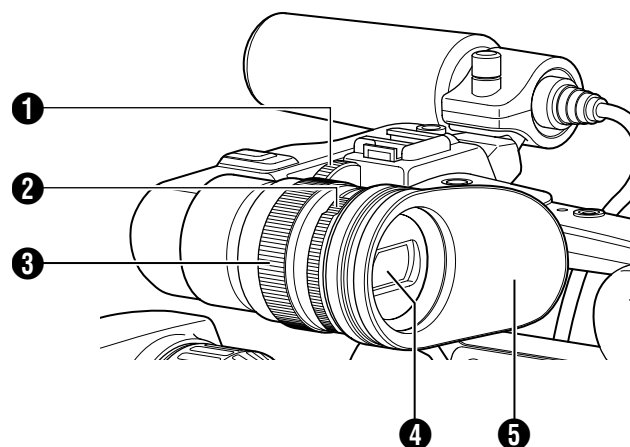
メモ :

- 点灯の有無は、[Others] メニュー画面の [Mode LED] 項目で選択します。(☞ 87 ページ)

⓰ **[MONITOR] オーディオモニターレベル調整つまみ**

モニタースピーカーおよびイヤホンの音量を調整します。

ビューファインダー

(☞ 28 ページ)

❶ **ビューファインダースライド固定リング**

リングをゆるめ、ビューファインダー ❺ の位置を左右に調整します。

❷ **アイピースフォーカスリング**

視度を調整します。

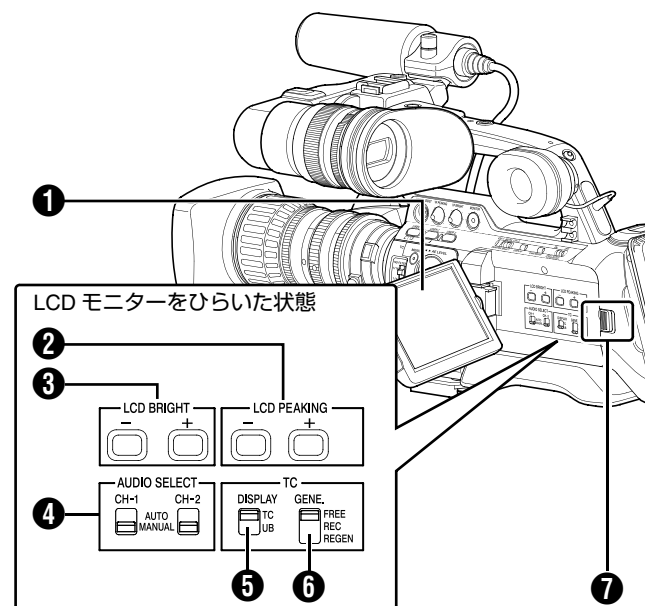
❸ **ビューファインダー接眼部（アイピース）固定リング**

リングをゆるめ、ビューファインダーの接眼部位置を前後に調整します。

❹ **ビューファインダー**

❺ **アイピース**

ビューファインダー画面やカメラマンの視覚に外部から光が入らないようにします。

LCD モニター部

❶ **LCD モニター部 (☞ 28 ページ)**

❷ **[LCD PEAKING +/-] LCD輪郭調整ボタン(☞ 28ページ)**

❸ **[LCD BRIGHT +/-] LCD 表示明るさ調整ボタン (☞ 28 ページ)**

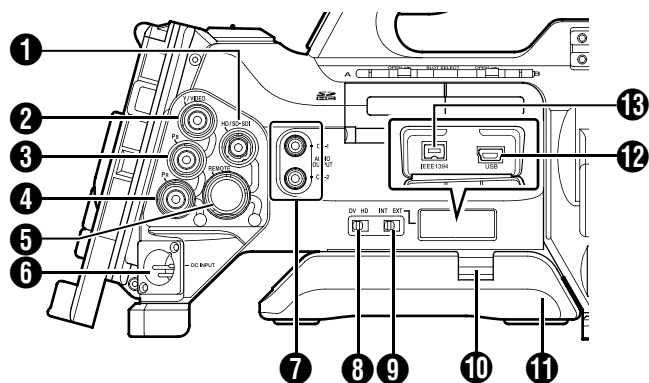
❹ **[AUDIO SELECT CH-1/CH-2] 音声記録モード切換スイッチ (☞ 44 ページ)**

❺ **[TC DISPLAY]TC/UB 表示切換スイッチ (☞ 46 ページ)**

❻ **[TC GENE.] タイムコードジェネレーター切換スイッチ (☞ 46 ページ)**

❼ **LCD カバーロック解除つまみ (☞ 28 ページ)**

各部の名称 (つづき)

側面端子部

❶ **[HD/SD-SDI]HD/SD-SDI 出力端子（BNC）**
(☞ 114 ページ)

❷ **[Y/VIDEO]Y/ コンポジット映像信号出力端子（BNC）**
(☞ 114 ページ)

❸ **[PB] PB 映像信号出力端子（BNC）(☞ 114 ページ)**

❹ **[PR] PR 映像信号出力端子（BNC）(☞ 114 ページ)**

❺ **[REMOTE] リモート端子 (☞ 119 ページ)**

❻ **[DC INPUT]DC 入力端子 (☞ 21 ページ)**

DC 12 V 電源入力端子です。AC アダプターと接続します。

❼ **[AUDIO OUTPUT] 音声出力端子（RCA）**

音声信号の出力端子です。
- カメラモード時、入力音声信号を出力します。
- メディアモード時、再生音声信号を出力します。
- HD/DV 信号（IEEE1394）を入力時は、入力音声信号の音声を出力します。

メモ :
- アラーム音を出力しません。

❽ **[HD/DV] IEEE1394 端子モード切換スイッチ**
(☞ 115 ページ)

❾ **[INT/EXT] IEEE1394 インターフェース端子切換スイッチ**
(☞ 115 ページ)

有効となる IEEE1394 インターフェース端子を選択します。

[EXT] : [IEEE1394] 端子 ⓭ の IEEE1394 信号を有効にする。
[INT] : 本機背面部のアクセサリー接続端子 ❷ を有効にする。(☞ 13 ページ)

❿ **ショルダーパットスライドボタン**

ショルダーパット位置調整ボタンです。このボタンを押すとショルダーパット ⓫ の位置を前後に調整できます。

⓫ **ショルダーパット**

⓬ **[USB]USB 端子 (☞ 118 ページ)**

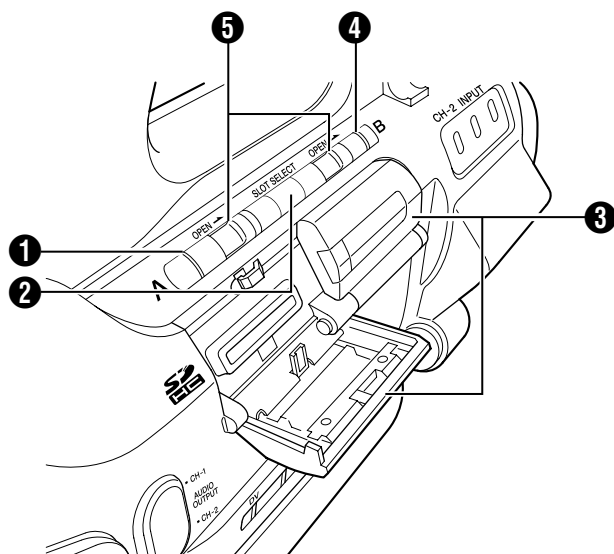
⓭ **[IEEE1394]IEEE1394 端子（4 ピン）**

IEEE1394 ケーブル（別売）で IEEE1394 端子を搭載したデジタルビデオ機器と接続します。
この端子を有効にするには、[INT/EXT]IEEE1394 端子切換スイッチ ❾ を [EXT] に設定してください。
(☞ 115 ページ [IEEE1394 接続])
(☞ 117 ページ [ノンリニア編集システムへのストリーム転送])

ご注意 :
- IEEE1394 ケーブル接続時は、挿入前にコネクターが正しい方向であることをお確かめください。

メモ :
- コネクターを使用しないときは、カバーを装着してください。

SD スロット部

(☞ 31 ページ)

❶ **カードスロット A 状態表示ランプ**

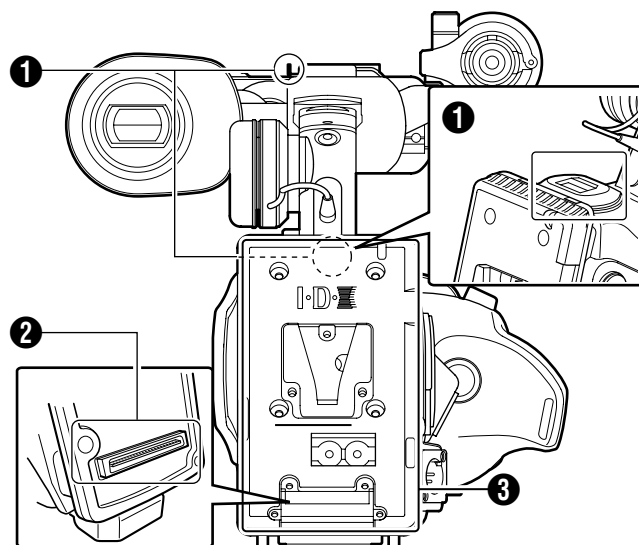
❷ **[SLOT SELECT] カードスロット切換ボタン**

使用する SDHC カードを切り換えます。

❸ **SDHC カードカバー**

❹ **カードスロット B 状態表示ランプ**

❺ **[OPEN]SDHC カードカバー開閉つまみ**

背面部

❶ **ショルダーベルト取付部（2 か所）**

ショルダーベルト（別売）を取り付けます。

ご注意 :

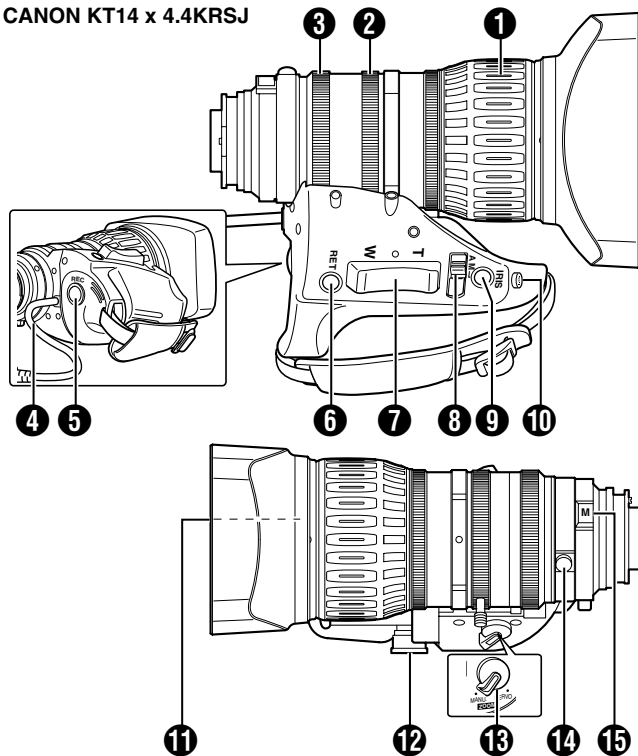
- 本機の質量に耐えられる強度をもったショルダーベルトをご使用ください。
- ショルダーベルトの取り付けが不十分な場合、本機が落下し、怪我をする恐れがあります。
- ご使用前に、ショルダーベルトに付属されている [取扱説明書] をご確認のうえご使用ください。

❷ **アクセサリー接続端子（オプションと接続）**

❸ **バッテリー取付用フォルダー (☞ 22 ページ)**

各部の名称 (つづき)

ズームレンズ部

CANON KT14 x 4.4KRSJ

❶ **フォーカスリング**

❷ **ズームレバー／リング**

このレバーでズームを動作させる場合は [ZOOM] スイッチ ⓭ をまわし “MANU.” にします。

❸ **アイリスリング**

オートアイリスを動作させるにはアイリスモードスイッチ ❽ を “A” にします。

❹ **レンズケーブル**

❺ **[REC] 記録トリガーボタン**

記録をスタート／ストップさせます。

❻ **[RET] リターンビデオボタン**

ボタンを押すと、[Camera Function] メニューの [Switch Set] 項目の [Clip Review] で選択した動作に従い、最新クリップの再生確認を行います。(☞ 74 ページ)
(☞ 52 ページ [記録した映像をすぐに見る（クリップレビュー）])

メモ :
- [Camera Function] メニュー画面の [Switch Set] 項目の [LENS RET] を “Focus Assist” に設定時は、フォーカスアシストボタンとして機能します。(☞ 74 ページ)

❼ **ズームサーボコントロールレバー**

ズームサーボコントロールレバーでズームサーボを動作させるには [ZOOM] スイッチ ⓭ を “SERVO” にします。
- “W” を押すにつれてズームレンズが広角となり写角が広くなります。
- “T”を押すにつれてレンズが望遠となり写角がせまくなります。
- 強くレバーを押すとズームの速度も早くなります。

❽ **アイリスモードスイッチ**

A ：オートアイリスで動作します。
M ：手動アイリス操作用のモードになります。

❾ **アイリスモーメンタリーボタン**

アイリスモードスイッチ ❽ が “M” の位置のとき、ボタンを押しているあいだ、オートアイリスモードになります。

❿ **[I.G.] アイリススピード調整つまみ**

スピードを速くしすぎると、アイリスの開閉が安定せず、ハンチングをおこすことがあります。再調整してください。

⓫ **フィルターはめ込みねじ**

レンズ保護のため透明フィルターか UV フィルターをレンズフード内側に前面から装着できます。各種効果のためのフィルターの使用も可能です。
- 装着可能フィルター系

フードに装着する場合　：82mmP0.75
レンズ本体に装着する場合　：72mmP0.75

⓬ **ズームサーボコネクター**

ズームサーボユニット（別売）を接続するコネクターです。

⓭ **[ZOOM] ズームスイッチ**

SERVO ：ズームサーボコントロールレバー ❼ でズームを操作できます。
MANU. ：ズームレバー／リング ❷ でズームを操作します。

⓮ **バックフォーカスリング／固定ネジ**

バックフォーカスの調整専用リングです。調整後、固定ネジで固定します。
(☞ 27 ページ [バックフォーカスの調整])

⓯ **[M] マクロフォーカスリング（クローズアップ用）**

リングを矢印方向にまわすと、小さなものを接近してクローズアップ撮影することができます。
マクロモードでは通常のフォーカス調整やズーム撮影はできません。

マクロ撮影するには
- フォーカスリング ❶ を無限遠（∞）にセット。
- ズームリング ❷ を最大広角位置にセット。
- 焦点調整は、このリングを矢印方向に回転させ被写体に焦点を合わせる。

ご注意 :
- バックフォーカスノブが近いところにありますので、間違えないようご注意ください。
- 終了後はマクロリングを戻すことを忘れないでください。
(☞ 27 ページ [バックフォーカスの調整])

基本システム図

Shoulder Belt
Microphone
MV-P615
XLR 3P
SDI Cable
BNC
Component Cable
BNC
Composite Cable
BNC
Audio Cable
RCA pin
Monitor
Monitor
Earphone
Focus Manual Unit
HZ-FM13（FUJINON）
HZ-FM15（CANON）
1/3 Zoom Lens
Th13x3.5BRMU（FUJINON）
Microphone
IEEE1394 Cable
External Recording
Device
VTR
BR-HD50
PL Mount
Film Lens
16 mm PL Mount
Film Lens adapter
HZ-CA13U
1/3 Zoom Lens
KT14x4.4KRSJ（CANON）
Battery Mount
V Mount
IDX Battery
（Endura）
IDX
Battery Charger
Non-linear Editing
System
Zoom Servo Control
HZ-ZS13B
Standard Package
Mount Converter
（1/2➜1/3）：ACM-12
1/2 Zoom Lens
Tripod Base
KA-551U
XLR 4P
AC
AC Adapter
Carrying Case
Remote Control Unit
RM-LP25U/RM-LP55/
RM-LP57
Mount Converter
（2/3➜1/3）：ACM-17
2/3 Zoom Lens
Tripod
USB Cable
SDHC Memory Card
SDHC Card Reader
Non-linear Editing
System

LCD モニター・ビューファインダーの表示

撮影中は、LCD モニター・ビューファインダー画面の映像にカメラの状態や SDHC カードの情報、ゼブラパターンや各種マーカーを重ねて表示することができます。

LCD モニターやビューファインダーには、カメラ映像や再生画のほかに下記のキャラクターが表示されます。

■ ステータス画面 (☞ 16 ページ)

■ オートホワイト時の表示 ※(☞ 18 ページ)

■ メニュー設定画面 (☞ 18 ページ)

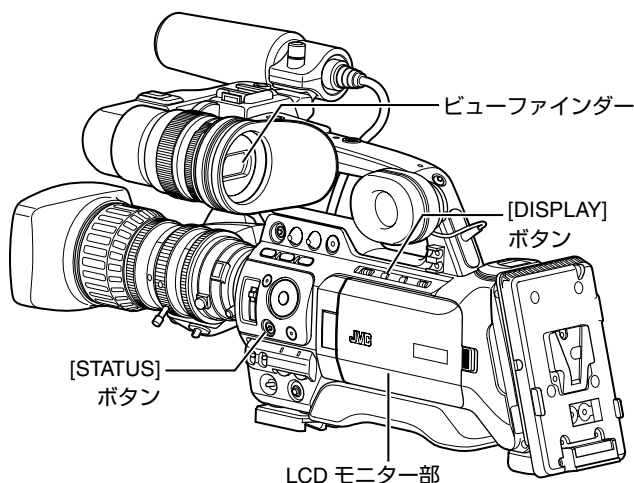
■ アラーム表示 (☞ 18 ページ)

■ マーカーおよびセーフティーゾーンの表示※(☞ 104ページ)

■ ゼブラパターンの表示 (☞ 18 ページ)

※カメラモード時のみ表示

メモ :

- [A/V Out] メニュー画面の [Analog Out Char.]/[SDI Out Char.] 項目が "On" のとき、映像信号出力端子の映像にもステータス画面やメニュー画面が表示されます。(☞ 86 ページ)

ステータス画面

現在の設定状態を確認するための画面です。

ステータス画面を表示するには、通常画面時、[STATUS] ボタンを押してください。

ステータス表示内容は動作モード（4 種類）によって異なります。(☞ 7 ページ [動作モードについて])

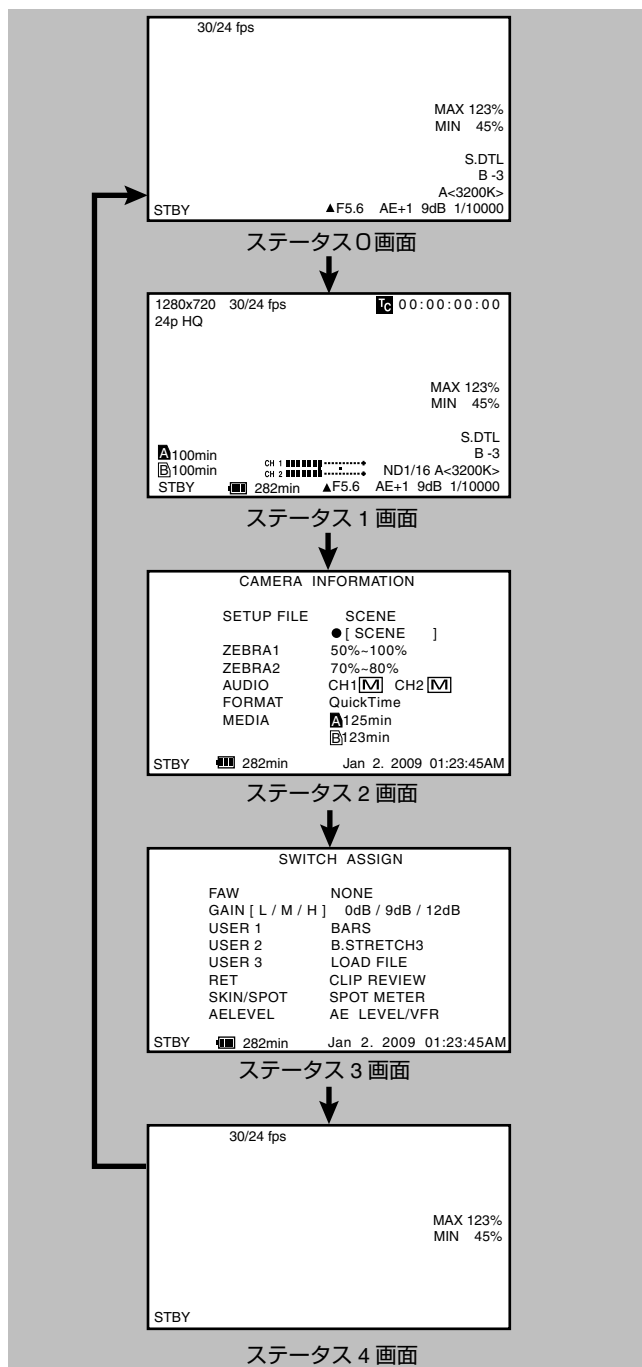
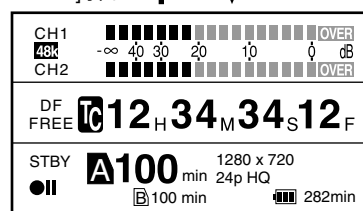
■カメラモード時のステータス画面 (☞ 94 ページ)

ビューファインダーの表示

[STATUS] ボタンを押すたびに５種類の画面が切り換わり表示されます。（ステータス 0➔1➔2➔3➔4➔0）

LCD モニターの表示

[STATUS] ボタンを押すたびに５種類の画面が切り換わり表示されます。（ステータス 0➔1➔2➔3➔4➔0）

[DISPLAY] ボタンを押すと、ステータス拡大表示画面に切り換わります。(☞ 17 ページ)

[DISPLAY] 押す　[DISPLAY] 押す

ステータス 1 拡大表示画面
（LCD モニターのみ）

■メディアモード（SD カードモード）でのクリップ再生中のステータス画面（VF/LCD）(☞ 100 ページ)

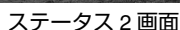
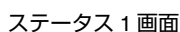
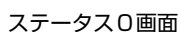
(☞ 100 ページ)

[STATUS] ボタンを押すたびに 3 種類の画面が切り換わり表示されます。（ステータス 0➔1➔2➔0）

ステータス０画面

ステータス 1 画面

ステータス 2 画面

■メディアモード（IEEE1394 モード）時のステータス画面 (☞ 102 ページ)

[STATUS] ボタンを押すたびに 2 種類の画面が切り換わり表示されます。（ステータス 0➔1➔0）

ステータス０画面

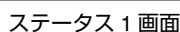
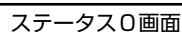
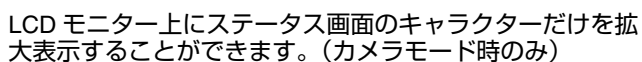
ステータス 1 画面

■USB モード時のステータス画面

USB モードを示す画面となります。

LCD モニターのステータス拡大表示

LCD モニター上にステータス画面のキャラクターだけを拡大表示することができます。（カメラモード時のみ）

1 **[LCD/VF] メニュー画面の [LCD + VF] 項目を “On” に設定する (☞ 82 ページ)**

2 **LCD 画面が表示された状態で [DISPLAY] ボタンを押す**

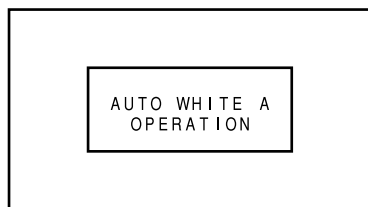
押すたびにビューファインダーと同じ表示⇔拡大表示と表示内容がかわります。

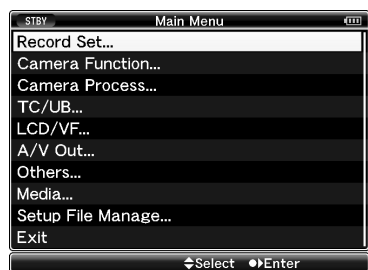
メモ :

- LCD モニター画面にステータスを拡大表示した場合でも、ビューファインダーでは映像が表示されます。

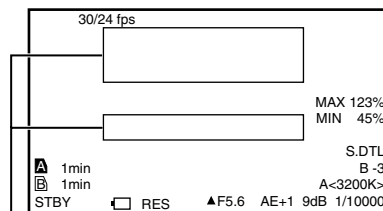
LCD モニター・ビューファインダーの表示 (つづき)

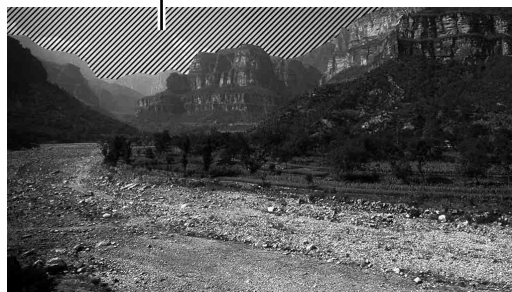
オートホワイト時の表示（カメラモード時のみ）

オートホワイトバランス動作時、動作とその結果を表示します。
(☞ 40 ページ [ホワイトバランスの調整])

メニュー設定画面

各種設定を行います。
[MENU] ボタンを押すと、メニュー設定画面が表示されます。
(☞ 66 ページ [メニュー画面での基本操作])

[Main Menu] 画面

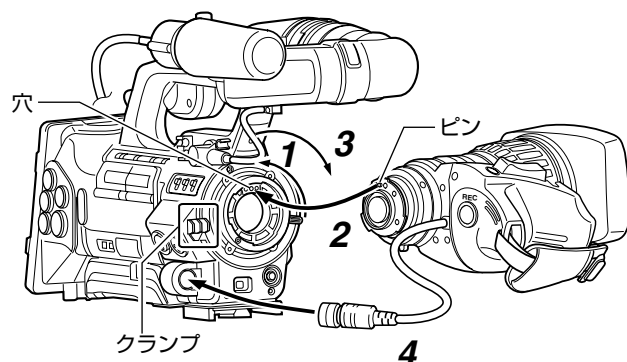
アラーム表示

- カメラモードのステータス（0、1、4）画面表示またはメディアモードのステータス画面表示時、アラーム表示します。カメラモードのステータス 2、3 画面表示中にアラームが発生した場合は、ステータス 0 画面にもどり、アラーム表示します。
(☞ 122 ページ [エラー表示と対応])

ゼブラパターンの表示

本機では、映像の輝度レベル示すゼブラパターンを２種類まで表示することができます。
２種類のゼブラパターンを表示する輝度レベルをそれぞれ任意に設定できます。
(☞ 50 ページ [ゼブラパターンの設定])

メモ :

- ゼブラパターン表示の ON/OFF は、前面部の [ZEBRA ON/OFF] スイッチにて行います。
- 表示パターンおよび表示輝度の設定は [LCD/VF] メニュー➔[Shooting Assist]➔[Zebra] 項目から行います。
(☞ 83 ページ)

付属品の取り付け

ズームレンズを取り付ける

1 マウントリングをゆるめる

2 レンズのピンとマウント部の穴があうように取り付ける

3 マウントリングをしめる

4 ケーブルコネクターを接続する

5 レンズケーブルをクランプに取り付ける

メモ :
- マウントリングは最後まで完全に締め付けてください。締め付けが不完全な場合、レンズが落下したりバックフォーカスがズレたりします。
- ズームレンズの取り付け、取りはずしを行うときは、本機の [POWER] スイッチを “OFF” にしてください。

マイクロホン（付属）を取り付ける

マイクホルダーに付属のマイクロホンを取り付けます。
付属のマイクロホンはファントム電源です。

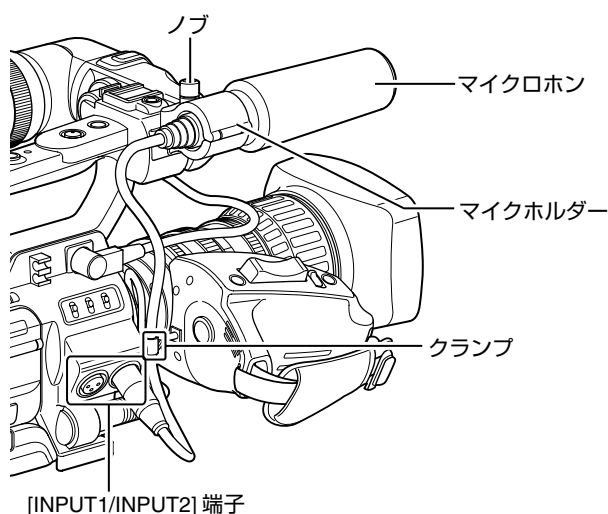
1 マイクホルダーのノブを反時計方向にまわしてゆるめ、マイクホルダーをひらく

2 マイクロホンをマイクホルダーにセットする

3 マイクホルダーのノブを時計方向にまわし、マイクを固定する

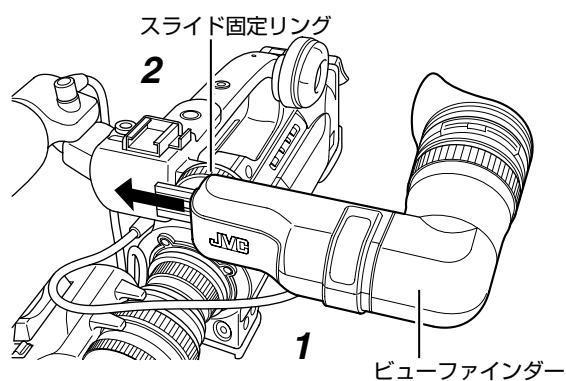
4 マイクケーブルを **[INPUT1]**、または **[INPUT2]** 入力端子に接続する

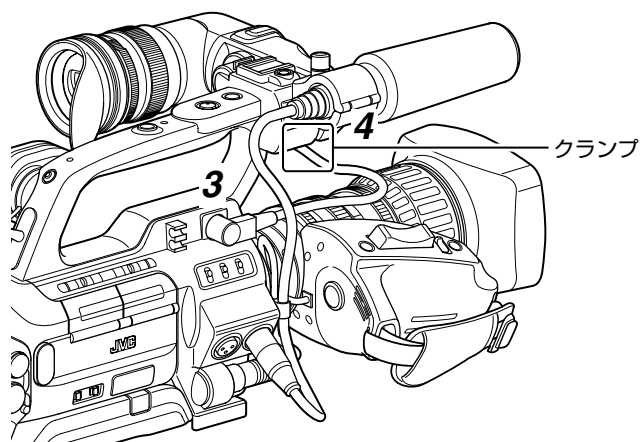
5 マイクケーブルをクランプにはさむ

6 ファントムマイク用の設定を正しく行う（☞ 44 ページ）

付属品の取り付け (つづき)

ビューファインダー（付属）を取り付ける

1 ビューファインダーを矢印の方向にスライドさせ、取り付ける

2 スライド固定リングをまわし、ファインダーの位置を固定する

3 ビューファインダー端子にビューファインダーケーブルを取り付ける

4 ビューファインダーケーブルをクランプにはさむ

電源について

本機はバッテリーパック、または AC アダプターをつないで使用します。

(☞ 22 ページ [バッテリーパックを使う])
(☞ 21 ページ [AC 電源を使う（DC IN 電源）])

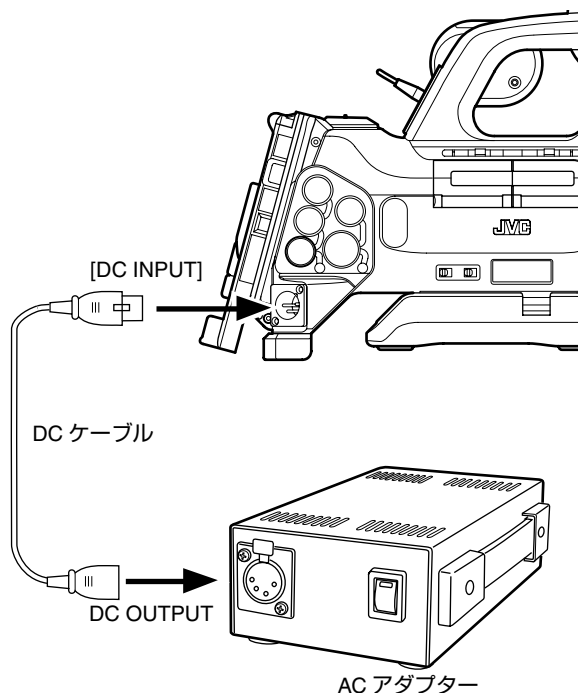
ご注意 :

- 本機を動作させる電源を変更する場合は、[POWER] スイッチを “OFF” にしてから行なってください。

AC 電源を使う（DC IN 電源）

AC 電源で動作させる場合は、AC アダプター（別売）を使用します。

1 ACアダプターのDCケーブルを本機の[DC INPUT]端子に接続する

本機および AC アダプターの電源が “OFF” になっていることを確認し、図のように接続します。

2 AC アダプターの電源を入れてから、本機の [POWER] スイッチを “ON” にする

カメラに電源を供給します。

ご注意 :

- 記録中に DC ケーブルの抜き差しは行わないでください。
- 電源電圧変動の大きい電源やリップルなどのノイズがある電源、容量が不足している電源は使用しないでください。

■内蔵電池の充電

日付・時刻やタイムコードデータは内蔵の充電式電池を使って保存しています。

内蔵電池は、本機に電源が接続されている場合、常に充電されますが、本機から電源をはずした場合、徐々に放電しされます。

約 3 か月使用しないと完全に放電してしまい、設定した日付・時刻やタイムコードデータはリセットされます。その場合、[POWER] スイッチを “ON” にすると日付・時刻を設定する [Initial Setting] 画面が表示されますので、設定を行なってください。

(☞ 25 ページ [時計を合わせる（初期設定）])

バッテリーパックを使う

推奨バッテリー

本機で使用する推奨バッテリーは Endura-7（IDX 社製）です。

ご注意 :

- 推奨バッテリーお使いください。重いバッテリーを使用した場合、ご使用方法によっては脱落することがあります。
- バッテリーの充電方法につきましては、お使いのバッテリーの [取扱説明書] をご覧ください。

バッテリーによる動作時間

フル充電したバッテリーを使用した場合の、連続動作時間のめやすです。

バッテリー	連続動作時間（25℃ にて）
Endura-7	約 2.5 時間

メモ :

- 表の時間はめやすであり、実際の動作時間はバッテリーの古さ、充電状況、動作環境などによって異なります。
- 寒冷地では動作時間が短くなります。
- 電動ズームレンズや液晶画面を多用すると動作時間が短くなります。

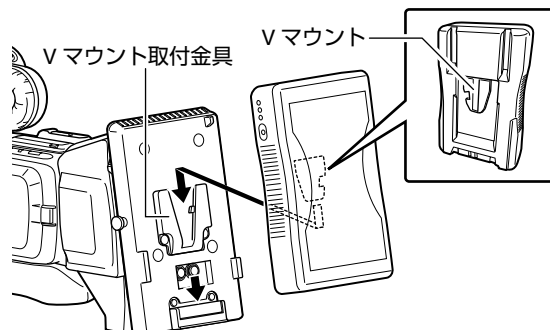
バッテリー操作についての注意

- [POWER] スイッチが “ON” の状態でバッテリーを取りはずさないでください。
- バッテリーで動作中にDCケーブルの抜き差しは行わないでください。
- バッテリーを入れた状態で放置すると、本機の [POWER] スイッチを “OFF” にしても、電力をわずかに消費しています。本機を使用しないときはバッテリーを取りはずしてください。

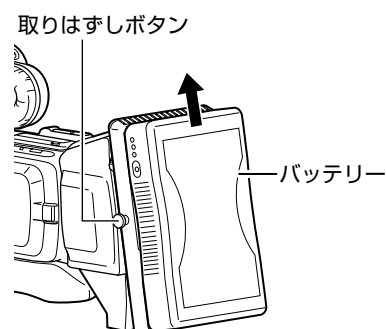
バッテリーの取り付け

Endura-7（IDX 社製）を使用します。

1 バッテリーを取り付ける

ターミナルを下にして、バッテリーの V マウントを本機、バッテリー取付け部の V マウント取付金具に取り付けます。

2 バッテリーをカチッと音がするまで押し下げる

■ 取りはずす

取りはずしボタンを押しながら、バッテリーを上にずらし、バッテリーを本体からはずします。

電源状態の表示

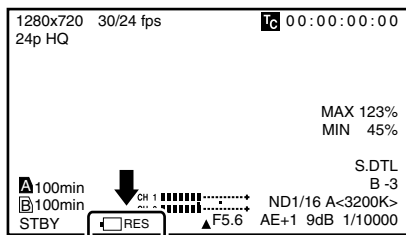
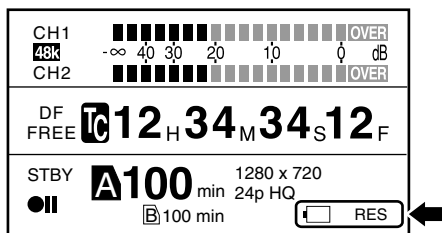
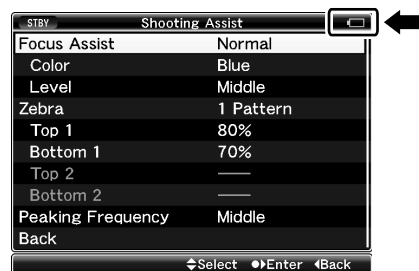
■ビューファインダー画面やLCDモニター画面

電源の状態は、ステータス画面やメニュー画面などで表示されますが、AC アダプターの供給電圧が低下したり、バッテリーの残量が少なくなると、赤く表示され警告します。

ご注意：

- 推奨バッテリーを使用しない場合、容量を示す電池マークが表示されない場合があります。

■ ステータス画面

(☞ 94 ページ [カメラモード時のステータス画面])
(☞ 100 ページ [SD カードモード時のステータス画面])
(☞ 102 ページ [IEEE1394 入力モード時の ステータス画面])

■ LCD モニターのステータス拡大画面 (☞ 103 ページ)

■ メニュー画面 (☞ 66 ページ)

■ランプやアラーム音での警告

- 警告状態になると、タリーランプやアラーム音でも警告を知らせます。
  - 本機のフロントタリーランプおよびバックタリーランプが点滅します。
  - アラーム音は、モニタースピーカーまたは [PHONES] 端子から出力します。

メモ：

- 電源警告状態で使用をつづけ、AC アダプターからの供給電圧がさらに低下したり、バッテリー残量が少なくなると、本機は自動的に動作を停止します。
- 記録中はアラーム音を出力しません。

ご注意：

- バッテリー残量、バッテリーの残り時間はバッテリーからの情報をそのまま表示しています。バッテリーの状態によっては、正確なデータが表示されない場合があります。バッテリー残量、バッテリーの残り時間が少なくなった場合は、はやめにバッテリーを交換してください。

バッテリーについてのご注意

- バッテリーを使わないときは、涼しい乾燥した場所に保管してください。
  高温になる場所（直接日光の当たる車内など）に放置しないでください。液モレや寿命を早める原因になります。
- バッテリーの端子部が汚れていると動作時間が短くなります。
- 充電直後でも動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命と思われます。新しいものをお買い上げください。

充電について

- バッテリーは充分に放電してから充電してください。充分に放電しないで、充電を繰り返すと、バッテリーの容量低下の原因になります。
- 浅い充電、放電を繰り返して容量が低下した場合は、一度充分に放電・充電すれば容量が回復することがあります。
- 使用直後、バッテリーの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- 10℃ ～ 35℃ での充電をおすすめします。低温（10℃ 以下）では、十分に充電されないことや、充電に時間がかかることがありますので、ご注意ください。

電源を入れる / 切る

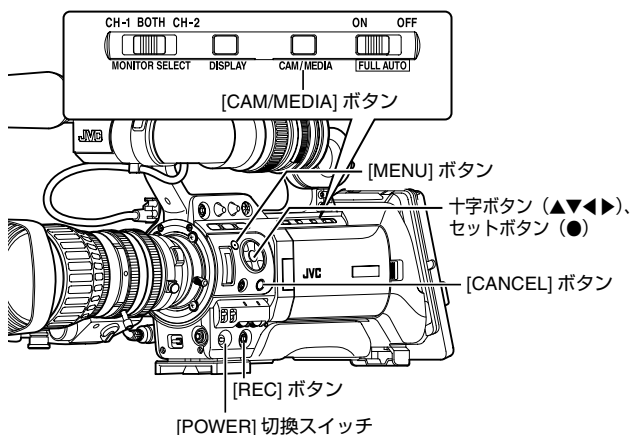
電源を入れる

1 [POWER] スイッチを “ON” に設定

本機に電源が供給されカメラモードになります。

メモ :
- [POWER] スイッチを “ON” にすると、必ずカメラモードになります。

- [CAM/MEDIA] ボタンを押すたびに、モードが切り換わります。このとき、動作モード表示ランプが下記の状態になります。各動作モードについては [動作モードについて] (☞ 7 ページ) をご覧ください。
  - カメラモード時 : 青色 / 紫色点灯
  - メディアモード（SD カードモード）時 : 緑色点灯
  - メディアモード（IEEE1394 入力モード）時 : オレンジ色点灯
  - USB モード時 : オレンジ色点灯
  - モード切換時 : モード移行後の色で点滅

ご注意 :
- IEEE1394 接続した機器が動作中のみ、IEEE1394 入力モードに切り換わります。

■ カメラモード

ビューファインダーや LCD モニターにカメラ映像が出力されます。また、記録可能な SDHC カードが挿入されている場合は、撮影スタンバイモードとなります。LCD モニターやビューファインダーの動作モード表示部に “STBY” 表示します。

この状態で [REC] トリガーボタンを押すと、記録を開始します。

メモ :
- カメラモードでは SDHC カードの再生はできませんが、クリップレビュー機能を使い、直前に記録したクリップの映像を確認することは可能です。（☞ 52 ページ）

■ メディアモード（SD カードモード）

SDHC カードに記録されたクリップを再生・削除などを行うためのモードです。

再生可能な SDHC カードが挿入されている場合は、ビューファインダーや LCD モニターにサムネイル画面や再生画面が出力されます。

■ メディアモード（IEEE1394 入力モード）

IEEE1394 入力信号を確認するモードです。

再生可能な IEEE1394 信号が入力されている場合は、ビューファインダーや LCD モニターに入力画像が出力されます。IEEE1394 入力信号の記録は出来ません。

電源を切る

本機を撮影スタンバイまたは停止モードにします。

1 [POWER] スイッチを “OFF” に設定

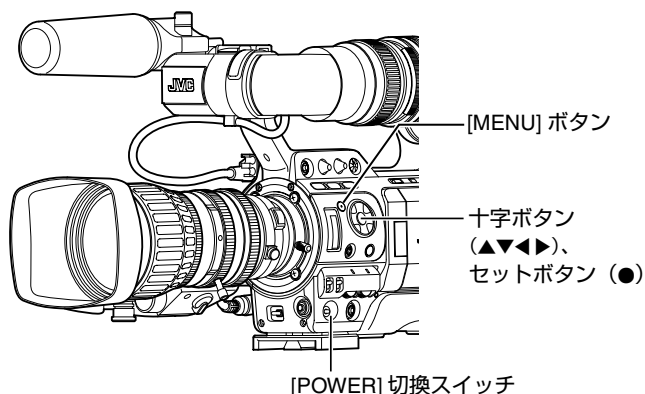
2 バッテリーや [DC INPUT] 端子の電源をはずす（長時間使用しない場合）

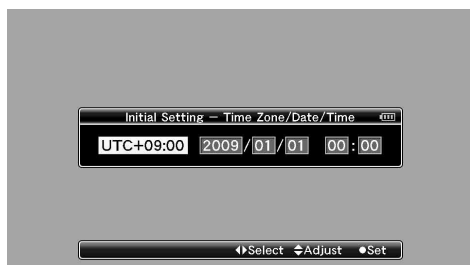
ご注意 :
- 記録中、[POWER] スイッチを “OFF” にしないでください。動作モード表示が “STBY” または “STOP” となっていることを確認してから、電源を切ってください。
- 記録中に[POWER]スイッチを“OFF”にしてしまった場合、5 秒以上時間をあけてから電源を再投入してください。
- 電源を切る場合、はじめに本機の [POWER] スイッチを “OFF” にしてください。[POWER] スイッチが “ON” の状態で、バッテリーをはずしたり AC 電源を切ったりしないでください。

時計を合わせる（初期設定）

[Initial Setting] 画面で、内蔵時計の日付・時刻を設定します。設定した日付・時刻データは電源を切っても内蔵の充電式電池によって保持されます。

[Initial Setting] 画面で時計をあわせる

[Initial Setting] 画面は、初めて電源を入れたときや、内蔵電池が完全に放電したあとに電源を入れたときに表示される画面です。
初期設定が完了するまで、他の操作は一切できません。

1 [POWER] スイッチを "ON" に設定

[Initial Setting] 画面が表示されます。

2 [Time Zone] と [Date/Time] を設定する

① 十字ボタン（◀ ▶）でカーソルを動かし、設定する項目を選択する

② 十字ボタン（▲▼）で数値変更する

3 設定が完了したら、時報に合わせてセットボタン（●）を押す

入力された日時の 0 秒に時計がセットされます。

メモ：

- 設定した日付・時刻データは LCD モニター画面やビューファインダー画面に表示したり、SDHC カードに記録することができます。
- 設定できる年は、"2000" から "2099" です。

初期設定後に時刻を変更する場合

■ 日時の設定（☞ 88 ページ）

1 [Others] メニュー ➜[Date/Time] 項目を選択する

[Date/Time] 設定画面が表示されます。

2 日時を設定する

① 十字ボタン（◀ ▶）でカーソルを動かし、設定する項目を選択する

② 十字ボタン（▲▼）で数値変更する

3 設定が完了したら、時報に合わせてセットボタン（●）を押す

入力された日時の 0 秒に時計がセットされます。

時計を合わせる（初期設定）(つづき)

表示スタイルの変更

日付・時刻の表示スタイルはメニューで変更できます。

メモ：
- 映像信号出力端子に接続したモニター画面を見ながら設定する場合は、[A/V Out] メニュー画面の [Analog Out Char.] または [SDI Out Char.] 項目を "On" にします。（☞ 86 ページ）

■ 日付の表示 (Date Style) の設定（☞ 85 ページ）

① [LCD/VF] メニュー ➡[Status Display] メニュー ➡ [Date/Time] 項目を選択する

② 日付表示スタイルを選択する
[設定値：YMD（年、月、日）、MDY（月、日、年）、DMY（日、月、年）]

③ セットボタン（●）を押す

■ 時刻の表示 (Time Style) の設定（☞ 85 ページ）

① [LCD/VF] メニュー ➡[Status Display] メニュー ➡ [Time Style] 項目を選択する

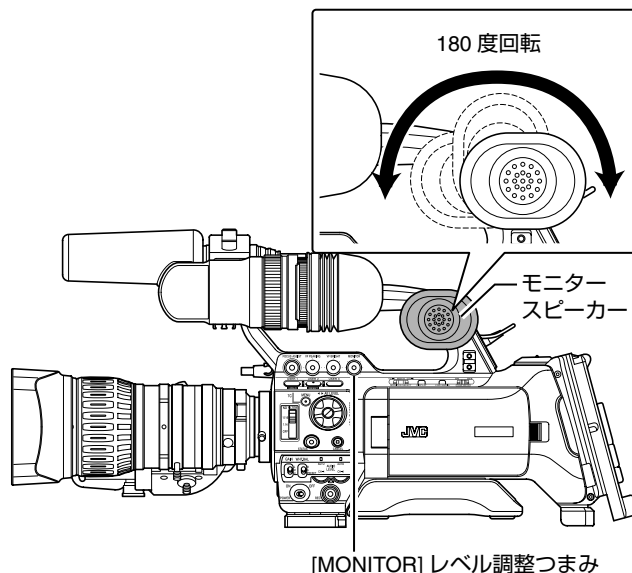
② 時刻の表示スタイルを選択する
[設定値：12hour（12 時間表示）、24hour（24 時間表示）]

③ セットボタン（●）を押す

各動作モードでの日付・時刻表示

カメラモード時	内蔵時計の日付・時刻が表示されます。
メディアモード（SD カードモード）時	再生しているクリップの撮影日付・時刻が表示されます。
メディアモード（IEEE1394 モード）時	日付・時刻は表示されません。

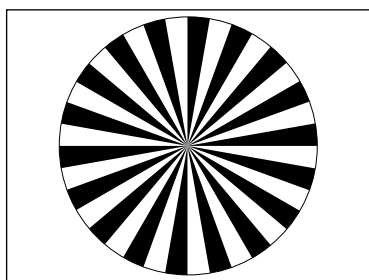
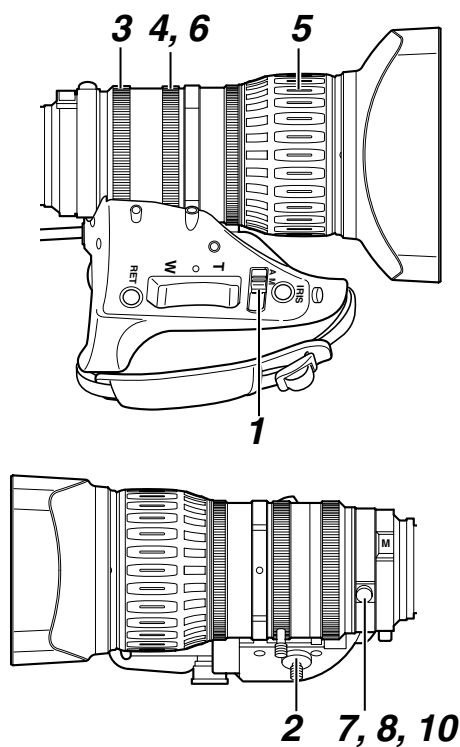
モニタースピーカーの調整

モニタースピーカーは、180 度回転します。
耳の位置にあわせて調整してください。

メモ：
- モニタースピーカーの音量は本機右側側面パネル操作部の [MONITOR] レベル調整つまみで調節します。また、各種ワーニングのアラーム音を重ねて出力します。（☞ 123 ページ）

ご注意：
- モニタースピーカーの回転角度は 180 度です。それ以上無理にまわさないでください。

バックフォーカスの調整

はじめてレンズを取り付けたとき、ズーム操作で望遠・広角の両方でピントがあわないときには、レンズのバックフォーカスを調整します。

● 被写体をカメラから 3 m 以上はなれた位置におきます。
● 被写体はジーメンスターチャートが最適です。

ジーメンスターチャート

1 レンズのアイリスモードスイッチを "**M**"（手動）にする

2 ズームモードスイッチを "**MANU.**"（手動）にする

3 アイリスリングをまわし開放にする

適正な映像レベルが得られるように照明を調整します。

4 ズームレバーをまわし、レンズを最大望遠位置にする

5 フォーカスリングをまわし、被写体にピントをあわせる

6 レンズを最大広角位置にする

7 バックフォーカスリングの固定ネジをゆるめる

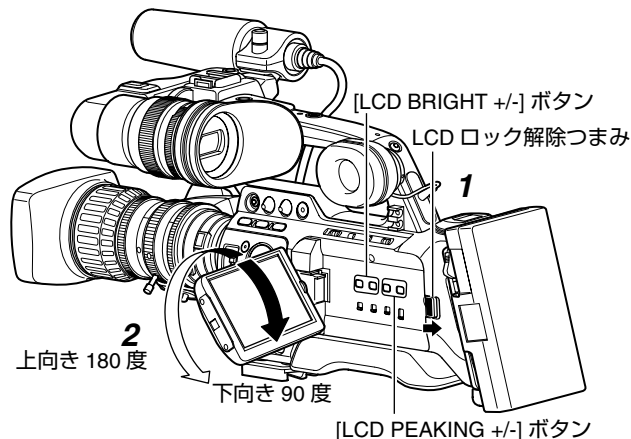
8 同じ被写体をうつし、ピントが一番あう位置にバックフォーカスリングを固定する

9 望遠と広角の両方のピントがあうまで、手順 *4* 〜 *8* を 3 回くらい繰り返す

10 バックフォーカスリングの固定ネジをしっかりしめ、固定する

LCD モニターとビューファインダーの調整

LCD モニターの調整

LCD モニターは使用条件に合わせての角度や画面の明るさなどを変えることができます。
明るさなどを変えても、撮影画像に影響はありません。

■LCD モニターの角度を調整

1 LCD ロック解除つまみをスライドさせ、LCD モニターをひらく

2 LCD モニターを回転させ角度を調整する

- LCD モニターはひらいた状態で、上向きに 180 度、下向きには 90 度まで回転します。
- 上向きに 180 度回転させると、レンズ側から液晶画面を見ることができます。
  [Main Menu] メニュー ➡[LCD/VF] メニュー ➡
  [LCD Mirror Mode] 項目を "Mirror" に設定 ➡
  セットボタン（●）（☞ 82 ページ）

■LCD モニター画面の調整

輪郭・明るさの調整する

- [LCD BRIGHT +/-] ボタンで LCD モニター画面の明るさを調節します。[+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと標準設定に戻ります。

  [+] ： ボタンを押すと明るくなります。
  [-] ： ボタンを押すと暗くなります。

- 調整中、LCD モニター画面に明るさのレベルが表示されます。
  - カメラモード時、SD カードモード（再生）時、IEEE1394 モード時

  - SD カードモード（サムネイル）時、メニュー操作時、USB モード時

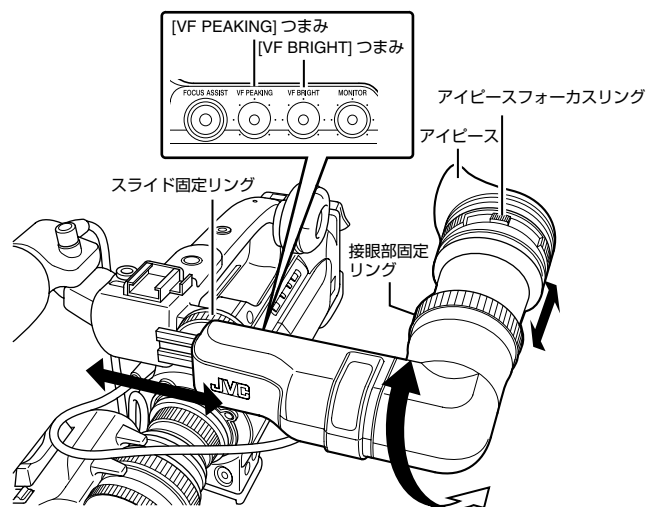
- [LCD PEAKING +/-] ボタンで LCD モニター画面の輪郭を調整します。[+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと標準設定に戻ります。

  [+] ： ボタンを押すと輪郭補正が強くなります。
  [-] ： ボタンを押すと輪郭補正が弱くなります。

- 調整中、LCD モニター画面に輪郭のレベルが表示されます。(☞ 28 ページ [輪郭・明るさの調整する])
  - カメラモード時、SD カードモード（再生）時、IEEE1394 モード時

  - SD カードモード（サムネイル）時、メニュー操作時、USB モード時

ビューファインダーの調整

ビューファインダーは使用条件に合わせて画面の明るさやピーキングなどを変えることができます。
明るさなどを変えても、撮影画像に影響はありません。

ご注意 :
- 本機では、正確なフォーカス合わせの環境を提供するため、ビューファインダーの高精細化をはかっています。表示デバイスの特性上、まばたきをした瞬間など、映像に色がのって見えるときがありますが、故障ではありません。また、記録される映像、SDI 出力、コンポーネント出力などには影響ありません。

■角度の調整

ビューファインダーの位置および角度を調整します。

■視度の調整

アイピースフォーカスリングをまわすことによってビューファインダー画面の画像がはっきりと見えるようにします。

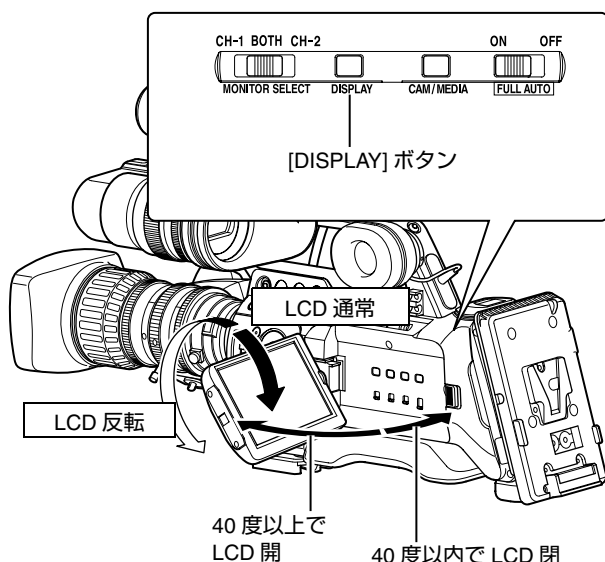
■ビューファインダー画面の調整

輪郭・明るさの調整する

- [VF BRIGHT] つまみでビューファインダー画面の明るさを調節します。
- [VF PEAKING] つまみでビューファインダー画面の輪郭を調整します。
  ※ 調整中の画面表示
  (☞ 28 ページ [輪郭・明るさの調整する])

白黒表示にする（☞ 82 ページ）

ビューファインダー画面を白黒表示にすることができます。
[Main Menu] メニュー ➜[LCD/VF] メニュー ➜
[VF Display] 項目 ➜ セットボタン（●）➜“B & W” を選択する ➜ セットボタン（●）

LCD モニター画面とビューファインダー画面の表示について

■[LCD/VF] メニューの [LCD + VF] 項目が “Off” のとき（☞ 82 ページ）

LCD モニター画面とビューファインダー画面（VF）の表示は下記のようになります。

LCD モニターの状態		LCD 表示	VF 表示
LCD 閉	LCD 通常	OFF	ON
	LCD 反転	ON	OFF
LCD 開	LCD 通常	ON	OFF
	LCD 反転	ON	OFF

メモ :

- [DISPLAY] ボタンを約 2 秒間長押しするたびに LCD モニター表示とビューファインダー画面表示を切り換えます。
- [DISPLAY] ボタンの長押しによる LCD モニター表示とビューファインダー表示の切り換え機能は、設定後に、LCD モニターの開閉および LCD モニターの回転操作を行うと解除されます。
- LCD モニターを通常表示の向きで本体に収納している場合は、[DISPLAY] ボタンの長押しは機能しません。
- [LCD/VF] メニュー画面の [LCD + VF] 項目で LCD モニター画面とビューファインダー画面を同時に表示することができます。（☞ 82 ページ）

■[LCD/VF] メニューの [LCD + VF] 項目が “On” のとき（☞ 82 ページ）

LCD モニター画面とビューファインダー画面（VF）の表示は下記のようになります。

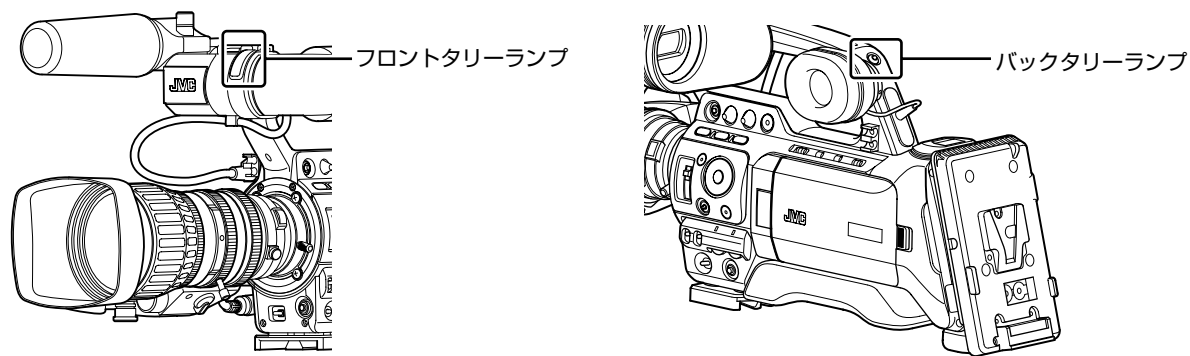
液晶画面（LCD）の状態		LCD 表示	VF 表示
LCD 閉	LCD 通常	OFF	ON
	LCD 反転	ON	ON
LCD 開	LCD 通常	ON	ON
	LCD 反転	ON	ON

メモ :

- LCD モニター画面の ON/OFF の切り換えは [DISPLAY] ボタンを 2 秒間長押ししてください。
- [DISPLAY] ボタンの長押しによる LCD モニター画面の ON/OFF の切り換え機能は、設定後に LCD モニターの開閉および LCD モニターの回転操作を行うと解除されます。
- ビューファインダー画面は常に表示されます。

タリーランプについて

記録、警告などの表示ランプです。メニューの設定によって動作が変わります。バッテリーや SDHC カード残量が少なくなると点滅します。（カメラモード時のみ）

※[Main Menu]➔[Others] メニューの [Tally System]/[Front Tally]/[Back Tally] 項目で設定します。（☞ 87 ページ）

メニュー設定	[Tally System]	—	[Int]		[Ext]		[Studio]	
	[Front Tally]/[Back Tally] ※1	Off	On	Blink	On	Blink	On	Blink
本機の機能情報	警告	—	—	▲	—	▲	—	▲
	アラーム	—	—	■	—	■※2	—	—
外部機器の機能情報	警告	—	—	—	—	▲	—	—
	アラーム							
本機の記録の状態	記録中	—	●	●	—	—	—	—
	特殊記録 ※3	—	●	●	—	—	—	—
外部機器の記録の状態	記録中	—	—	—	●	●	—	—
リモートコントロールユニットからの入力	[CALL]	—	—	—	—	—	■	■
	[TALLY(PGM)]	—	—	—	—	—	●	●
	[TALLY(PVW)]	—	—	—	—	—	○	○

●：点灯
▲：1 秒に 4 回点滅
■：1 秒に 1 回点滅
○：バックタリーのみ点灯

※1 ：メニューでの設定は、[Front Tally] と [Back Tally] 独立で設定できます。（☞ 87 ページ）
※2 ：バッテリーアラームのみ表示されます。
※3 ：特殊記録（[Clip Continuous]）時の一時停止状態となります。（☞ 55 ページ）

メモ：
- 点灯と点滅では点滅の方が優先となります。ただし、[Studio] に関しては [CALL] が優先となります。

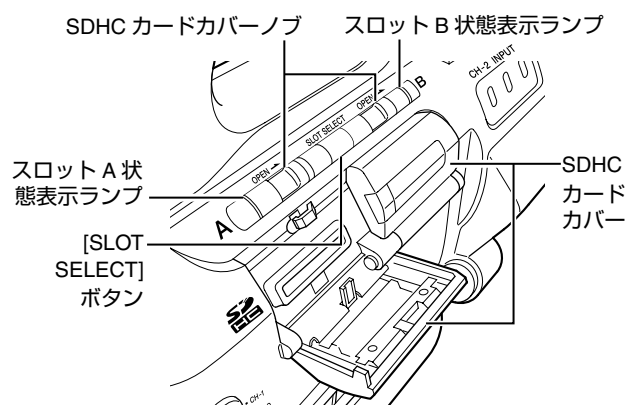
SDHC カードについて

本機では、撮影した映像・音声をカードスロット内の SDHC カード（別売り）に記録します。

メモ：
- SDHC カード内に、本機以外で記録したファイルや、パソコンなどで書き込んだファイルがある場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。

■使用する SDHC カードについて

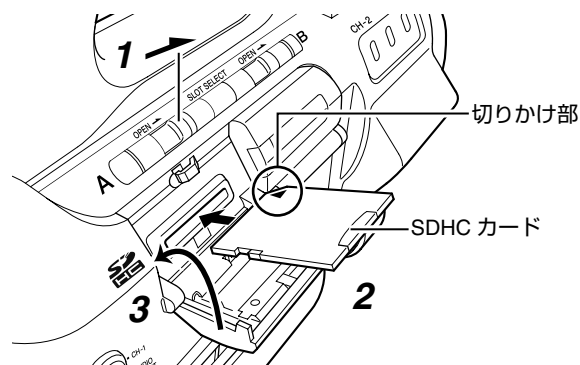
Class 6 対応の SDHC カード（4 GB 〜 32 GB）をご使用ください。

ご注意：
- Panasonic、東芝 TOSHIBA、サンディスク SanDisk 以外のカードでは正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

SDHC カードを入れる

本機には、映像・音声を記録・再生するカードスロットが２つあります（スロット A およびスロット B）。

1 挿入したいスロットの SDHC カードカバーノブを矢印の方向へスライドさせ、SDHC カバーをひらく

2 切りかけ部を奥にして SDHC カードをスロットに入れる

3 SDHC カードカバーをとじる

■カードスロット状態表示ランプについて

スロット A、スロット B それぞれの状態を表示します。

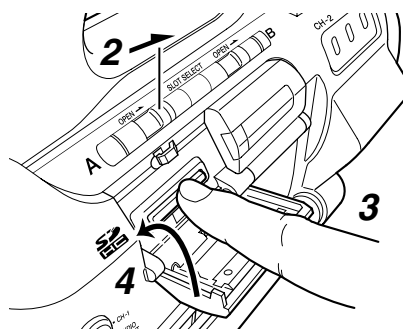
ランプ	スロットの状態
赤色に点灯	装着されている SDHC カードにアクセス中です。（データの書き込み / 読み出し中） 本機の電源を切ったり、SDHC カードを抜かないでください。
緑色に点灯	スタンバイ状態。装着されている SDHC カードを使用して、記録・再生を行えます。
消灯	● SDHC カードが挿入されていない。 ● 使用できないカードが装着されている。 ● SDHC カードは装着されているが、別のスロットが選択されている。

SDHC カードを取り出す

1 取り出したい SDHC カードがアクセス中（赤色に点灯）でないことを確認

2 SDHC カードカバーノブを矢印の方向へスライドさせ、SDHC カバーをひらく

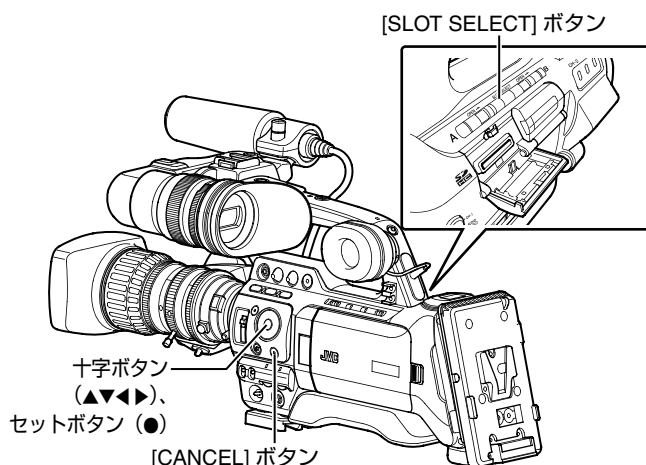
3 SDHC カードを押して、取りだす

4 SDHC カードカバーをとじる

メモ：
- 両スロットに使用可能な SDHC カードが挿入さている場合、直前まで選択されていたスロットが選択されます。

ご注意：
- SDHC カードのアクセス中に、本機の電源を切ったり、SDHC カードを抜いた場合、データは保証されません。アクセス中のファイルだけでなく、カードに記録されたすべてのデータが壊れることがあります。電源を切ったり、カードを抜くときには、必ず状態表示ランプが緑で点灯、または消灯していることを確認してください。
- アクセス中にカードを抜いてしまった場合、状態表示ランプが消灯するまでカードを再挿入しないでください。
- SDHC カードの挿入、取り出しを短い時間に行うと、カードの認識ができないことがあります。その場合は再度カードを取り出し、数秒間待ってから再度挿入してください。

SDHC カードについて (つづき)

使用する SDHC カードを切り換える

両方のカードスロットに SDHC カードが装着されている場合、[SLOT SELECT] ボタンで使用するカードを切り換えることができます。
記録中の SDHC カードがいっぱいになったときは、自動的に他方のスロットの SDHC カードに切り換わります。

ご注意 :
- 記録中や再生中は[SLOT SELECT]ボタンは無効になります。ボタンを押してもスロットは切り換わりません。

SDHC カードをフォーマット（初期化）する

下記のカードを挿入した場合、“Formatting Required” と表示されます。本機メニューでフォーマットを行なってください。

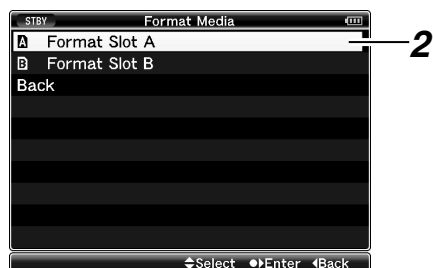
- フォーマットされていない SDHC カード
- 別の仕様でフォーマットされた SDHC カード

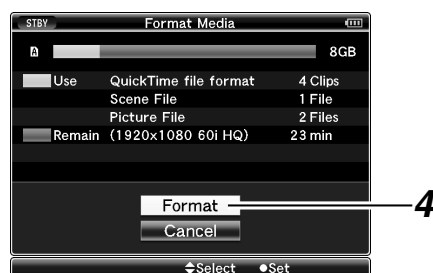
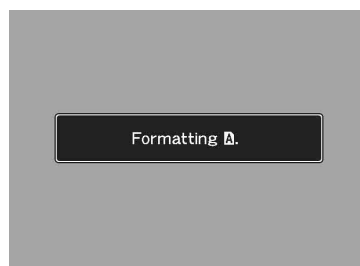
※メニュー操作の詳細につきましては、[メニュー画面での基本操作] (☞ 66 ページ) をご覧ください。

ご注意 :
- SDHC カードのフォーマットは必ず本機で行なってください。パソコンや周辺機器などでフォーマットした SDHC カードは本機で使用できません。

メモ :
- メッセージ表示を解除するには、[CANCEL] ボタンを押します。修復が必要な SDHC カードが装着されている場合、メディア残量表示部分に [!] マークが表示されます。

1 **[Media] メニューの [Format Media] を選択する**
(☞ 89 ページ)

2 **フォーマットする SDHC カードスロットを選択し、セットボタン（●）を押す**

3 **選択された SDHC カードの状態が表示される。**

4 **[Format] を選択し、セットボタン（●）を押す**

5 **フォーマットが開始される**

6 **フォーマット完了**

フォーマットが終了すると “Complete” と表示されます。

メモ :
- フォーマットしない場合は [Cancel] を選択するか、[CANCEL] ボタンを押すと前画面に戻ります。
- フォーマット中、SDHC カードを抜くと “Format Error!” と表示され、前画面に戻ります。
- フォーマット中、メニュー操作はできませんが、記録開始は可能です。ただしフォーマットを実行していないもう一方のスロットに記録可能な SDHC カードが挿入されている場合のみです。
- 下記の場合はフォーマットできません。
  - フォーマットしたい SDHC カードが記録中。
  - カードが挿入されていない。
  - 書き込み禁止スイッチがセット（ 🔒 が表示）されている SDHC カード。

ご注意 :
- フォーマットを実行すると、SDHC カード内の記録された映像データ、セットアップファイルなどを含むすべてのデータが消去されます。

SDHC カードを修復する

何らかの原因で SDHC カード内のデータに異常が発生した場合、SDHC カードの修復が必要になります。
修復が必要な SDHC カードを挿入すると、
“Restore Media” のメッセージが LCD モニター / ビューファインダー画面に表示されます。

メモ :
- メッセージ表示を解除するには、[CANCEL] ボタンを押します。修復が必要な SDHC カードが装着されている場合、メディア残量表示部分に [!] マークが表示されます。

1 **[Media] メニューの [Restore Media] を選択する**
(☞ 89 ページ)

2 **修復する SDHC カードを選択し、セットボタン（●）を押す**

3 **修復が開始される**

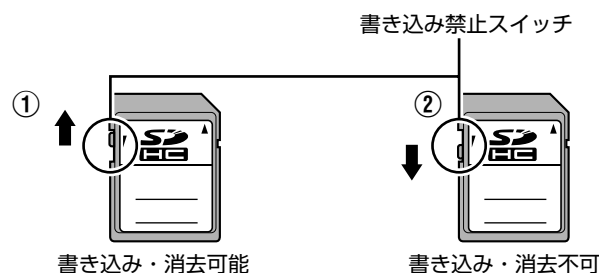
4 **修復完了**
- 修復が完了すると“Complete” と表示され[Restore Media] 画面に戻ります。
- 修復可能なメディアがスロット内に存在しなくなった場合、[Media] メニュー画面戻ります。

ご注意 :
- [Restore Media] は、カメラモード以外では選択できません。また、カメラモードにおいても記録中は選択できません。修復する場合は、カメラモードで記録を行っていない状態で [Restore Media] を選択してください。
- [Restore Media] はすべての状態を復旧するものではありません。修復が失敗した場合は SDHC カードを交換するかフォーマットを実行してください。ただし、フォーマットするとカード内のすべての情報が削除されます。

メモ :
- 下記の場合は修復できません。
  - 本機が記録中。
  - カードが挿入されていない。
  - 書き込み禁止スイッチがセット（🔒が表示）されている SDHC カード。
  - 修復の必要がない。

SDHC カードの書き込み禁止スイッチについて

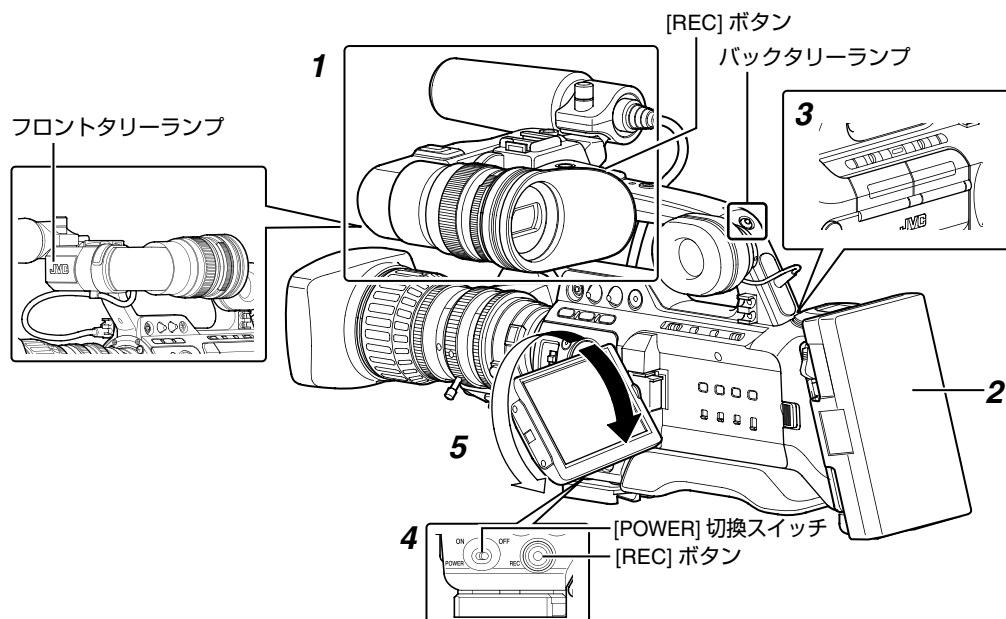
① 書き込み禁止スイッチを上にスライドすると書き込み・消去が可能となります。

② 書き込み禁止スイッチを下にスライドすると書き込み・消去ができなくなります。（カード内の画像を保護できます。）

SDHC カードの記録可能時間のめやす

記録可能時間はめやすです。お使いになる SDHC カード、バッテリーの状態によって異なることがあります。
(☞ 71 ページ [Camera Resolution])
(☞ 71 ページ [Frame & Bit Rate])

QuickTime/MP4		SDHC カードの記録サイズ			
Camera Resolution	Bit Rate	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
1280x720 1440x1080 1920x1080	HQ	12 分	25 分	50 分	100 分
1440x1080	SP	17 分	35 分	70 分	140 分
1280x720	SP	22 分	45 分	90 分	180 分

メモ :
- SDHC カード内に、本機以外で記録したファイルや、パソコンなどで書き込んだファイルがある場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。

基本的な撮影手順

準備

1 付属品を取り付ける（☞ 19 ページ）

2 バッテリーまたは、AC アダプターで電源を供給する（☞ 21 ページ）

3 SDHC カードを挿入する（☞ 31 ページ）

4 本機の電源を ON にする

[POWER] スイッチを “ON” にすると、本機はカメラモードで起動し、撮影可能な状態となります。

5 LCD モニター、ビューファインダーの角度などを調整する（☞ 28 ページ）

撮影

1 映像設定および音声入力の設定

撮影するためには、明るさ調整に関する機能（アイリス、ゲイン、シャッター）、ホワイトバランス調整機能などの映像設定、音声記録のための音声入力の設定、音声記録レベル調整が必要です。

- アイリスを調整する（☞ 37 ページ）
- ゲインを設定する（☞ 37 ページ）
- 電子シャッターを設定する（☞ 38 ページ）
- ホワイトバランスを調整する（☞ 40 ページ）
- ホワイトシェーディングを調整する（☞ 42 ページ）
- ND フィルターを設定する（☞ 43 ページ）
- 音声入力の設定および記録レベルを調整する（☞ 44 ページ）

2 [REC] ボタンを押し、SDHC カードに記録する

- [REC] ボタンは、本体に２か所、レンズ部に 1 か所あります。工場出荷状態では、どの [REC] ボタンを押しても記録を開始 / 停止できます。
- 記録中、フロントタリーおよびバックタリーランプが赤色に点灯します。

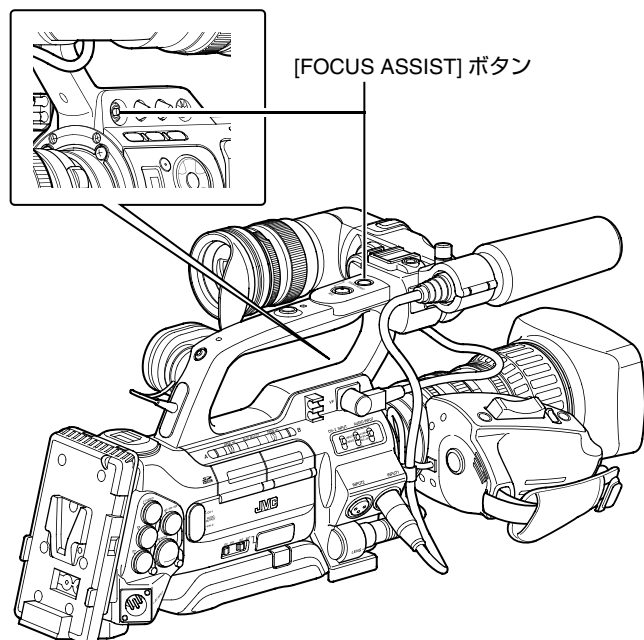
メモ :
- タリーランプは、[Others] メニューの [Front Tally]/[Back Tally] 項目で消灯にすることもできます。（☞ 87 ページ）
- 本機と [IEEE1394] 端子に接続した機器とを別々に制御したい場合は、[Others] メニューの [1394 Rec Trigger] 項目で設定できます。（☞ 88 ページ）

3 直前に撮影した映像を確認する（クリップレビュー）

レンズの [RET] ボタンを押すと、クリップレビュー機能 (☞ 52 ページ) がはたらき、直前に撮影された画像が LCD モニターやビューファインダー画面に再生されます。再生が終わると記録待機状態 (STBY) に戻ります。

※[Main Menu]➜[Camera Function]➜[Switch Set]➜[LENS RET] 項目を “Clip Review” に設定している場合（☞ 74 ページ）

フォーカスアシスト機能について

撮影時、[FOCUS ASSIST] ボタンを押すと、フォーカスが合っている部分がカラー（青、赤、緑）で表示され、正確なフォーカスが合わせやすくなります。表示カラーは、メニューで設定します。

メモ :

- [Main Menu]➔[LCD/VF] メニュー ➔[Shooting Assist]➔[Focus Assist] 項目が "ACCU-Focus" に設定されている場合、被写界深度が浅くなり、さらにフォーカスが合わせやすくなります。（☞ 83 ページ）
- "ACCU-Focus" は約 10 秒で自動的に "Off" になります。
- 表示カラーは、[Main Menu]➔[LCD/VF]➔[Shooting Assist]➔[Color] 項目で設定します。（☞ 83 ページ）
- フォーカスアシスト動作中、[VF PEAKING] つまみは動作しません。

■ レンズの [RET] ボタンにフォーカスアシスト機能を設定する

フォーカスアシスト機能をレンズの [RET] ボタンに割り付けることができます。

※[Main Menu]➔[Camera Function]➔[Switch Set]➔[LENS RET] 項目を "Focus Assist" に設定します。（☞ 74 ページ）

記録クリップについて

■クリップ（記録データ）とクリップ名

記録を停止すると、開始から停止までの画像、音声および付随データがひとつの「クリップ」として SDHC カードに記録されます。

本機で記録されるクリップには、自動的に８文字のクリップ名が生成されます。(Clip Name Prefix + Clip Number)

例）

ABCG0001

Clip Number

記録順につけられる番号で自動的にカウントアップします。

メニューでクリップ番号をリセットすることが可能です。

※[Clip Set]➔[Reset Clip Number]（☞ 72 ページ）

Clip Name Prefix（任意の 4 桁英数字）

工場出荷時は、"xxxG"（"xxx" はシリアル番号の下 3 桁）に設定されています。

メモ :

- [Main Menu]➔[Record Set] メニュー ➔[Clip Set]➔[Clip Name Prefix] 項目で記録開始前に任意の文字列に設定することが可能です。（☞ 72 ページ）
- 記録後に変更することはできません。

■記録されるクリップについて

本機では FAT32 File System を採用しています。

そのため、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがありますが、本機では連続した再生が可能です。クリップの記録時間によっては、カードスロット A とカードスロット B に挿入した２枚の SDHC カードにまたがって記録されることがあります。

コンピュータを使用して HDD などにコピーする場合は、連続性を保つため、付属の CD-ROM に収録されている [JVC Clip Manager Software] を使用することをおすすめいたします。

ご注意 :

- Explorer（Windows 環境）や Finder（Mac 環境）を使用してコピーなどを行なった場合は、記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

ご注意 :

- 複数のカードにまたがって記録されたクリップは連続再生できません。1 カード内でのみ連続再生が可能です。

ファイルフォーマットおよびビデオフォーマットを選択する

本機では、記録・再生のファイルフォーマット、および映像の記録フォーマットを選択することができます。

ファイルフォーマットを選択する

選択できるファイルフォーマットは、以下の２つです。

QuickTime　：QuickTime ファイルフォーマット
MP4　：MP4 ファイルフォーマット※

※"MP4" が選択できるのは、KA-MR100G (Memory Recorder) 接続時のみ。

ビデオフォーマットを選択する

[Record Format] をフォーマット一覧の中から選択します。選択できる [Frame & Bit Rate] は、[File Format]、[Camera Resolution] の設定によって変化します。
記録ビットレートは、"HQ" を選択した場合 35 Mbps VBR、"SP" を選択した場合 18.3 Mbps（1080i は 25 Mbps）CBR になります。

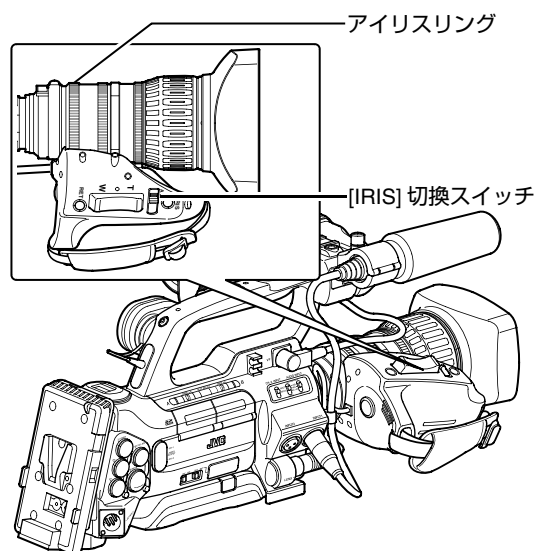
■フォーマット一覧

本機で選択できるファイルフォーマット、およびビデオフォーマットの一覧です。

Record Format			備考
File Format	Camera Resolution Horizontal × Line	Frame & Bit Rate	
QuickTime	1280x720	60p(HQ)	
		60p(SP)	HDV 互換
		30p(HQ)	
		30p(SP)	HDV 互換
		24p(HQ)	
		24p(SP)	HDV 互換
		50p(HQ)	
		50p(SP)	HDV 互換
		25p(HQ)	
		25p(SP)	HDV 互換
	1440x1080	60i(HQ)	
		60i(SP)	HDV 互換
		50i(HQ)	
		50i(SP)	HDV 互換
	1920x1080	60i(HQ)	Full HD
		30p(HQ)	Full HD
		50i(HQ)	Full HD
		25p(HQ)	Full HD
		24p(HQ)	Full HD

Record Format			備考
File Format	Camera Resolution Horizontal × Line	Frame & Bit Rate	
MP4	1280x720	60p(HQ)	
		60p(SP)	HDV 互換
		30p(HQ)	
		30p(SP)	HDV 互換
		24p(HQ)	
		24p(SP)	HDV 互換
		50p(HQ)	
		50p(SP)	HDV 互換
		25p(HQ)	
		25p(SP)	HDV 互換
	1440x1080	60i(SP)	HDV 互換
		50i(SP)	HDV 互換
	1920x1080	60i(HQ)	Full HD
		30p(HQ)	Full HD
		50i(HQ)	Full HD
		25p(HQ)	Full HD
		24p(HQ)	Full HD

アイリスを調節する

被写体の明るさに応じてレンズアイリスの開放度を手動または自動で調整します。

マニュアルアイリス（手動調整）モード

レンズの [IRIS] スイッチを “M” の位置にするとマニュアルアイリスモードになります。

レンズのアイリスリングをまわしてアイリスを手動で調整します。

メモ :

- マニュアルアイリスモード時でも、[IRIS AUTO] ボタンを押してるあいだは強制オートアイリスモードになります。

オートアイリス（自動調整）モード

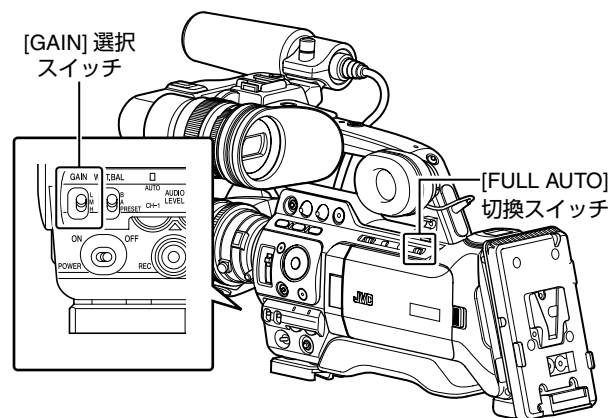
レンズの [IRIS] スイッチを “A” の位置にするとオートアイリスモードになり、被写体の明るさに応じて自動的にアイリスを調整します。

また、本機の [FULL AUTO] スイッチを “ON” するとオートアイリスモードになり、被写体の明るさに応じて自動的にアイリスを調整します。

メモ :

- [Camera Function]➔[FULL AUTO] メニューの [Iris Control] 項目を “Off” に設定すると、カメラ本体の [FULL AUTO] スイッチを “ON” にしてもアイリスを手動で調整することができます。（☞ 75 ページ）
- 本機では、オートアイリスの制御目標レベル（明るめ / 暗め）を十字ボタン（◀ ▶）で設定することができます。また、オートアイリスの追従感度をメニューで設定することもできます。（☞ 73 ページ）

ゲインを設定する

被写体の照度が不足しているとき、電気的に感度をあげます。被写体の明るさに応じて映像アンプのゲイン（利得）を設定できます。撮影状況に応じて設定モードを選んでください。

固定ゲインモード（手動ゲイン切り換え）

本機の [GAIN] スイッチで映像アンプのゲインを選択します。スイッチの各ポジションは工場出荷時に下記のように設定されています。

[L] ：0 dB（電子増感は行いません。）
[M] ：9 dB（約 2.8 倍に増感します。）
[H] ：18 dB（約 8 倍に増感します。）

メモ :

- 各ポジションのゲイン値は、メニューで “0dB” ～ “18dB” の範囲（3 dB ステップ）および “ALC” に設定変更することができます。感度が上がるほど画面はザラついた感じになります。（☞ 74 ページ）

自動ゲインモード（自動ゲイン調整）

本機の [FULL AUTO] スイッチを “ON” にすると自動ゲイン調整モード（“ALC” 固定）となり、被写体の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動的に設定します。

この場合、本機の [GAIN] スイッチの切り換え操作は無効となります。

メモ :

- [Camera Function]➔[FULL AUTO] メニューの [Gain] 項目を “SW Set” に設定すると、カメラ本体の [FULL AUTO] スイッチを “ON” にしても [GAIN] スイッチでゲインを切り換えることができます。（☞ 75 ページ）

電子シャッターを設定する

電子シャッター機能を使用すると、シャッター速度（撮像フレームあたりの蓄積時間）を切り換えることができます。電子シャッターは手動または自動で調整することができます。

固定シャッターモード（手動シャッター切り換え）

セットボタン（●）でシャッターモード、十字ボタン（▲▼）でシャッタースピードを切り換えることができます。

■シャッターモードの切り換え

セットボタン（●）（十字ボタンの中心）を押すごとにシャッター ON、シャッター OFF に切り換わります。

メモ：
- シャッター ON 時に “Step”、“Variable” または、“EEI”（自動シャッターモード）に設定するかは [Camera Function] メニューの [Shutter] 項目で設定します。工場出荷時には “Step” に設定されています。（☞ 73 ページ）

■シャッタースピードの切り換え

シャッター ON の時、十字ボタン（▲▼）でシャッタースピードを設定します。設定できるシャッタースピードは、設定されているビデオフォーマットやバリアブルフレームレート設定によって異なります。

■ バリアブルフレームレック以外の場合

	Shutter	Camera Resolution/ Frame & Bit Rate	720/60p 720/30p 1080/60i 1080/30p	720/50p 720/25p 1080/50i 1080/25p	720/24p 1080/24p
▲ ボタン	Step				1/10000
			1/10000	1/10000	1/4000
			1/4000	1/4000	1/2000
			1/2000	1/2000	1/1000
			1/1000	1/1000	1/500
			1/500	1/500	1/250
			1/250	1/250	1/100
			1/100	1/120	1/60
		（標準）	1/60	1/50	1/48
			1/30	1/25	1/24
			1/15	1/12.5	1/12
▼ ボタン			1/7.5	1/6.25	1/6
▲ ボタン	Variable	（上限）	1/10489.5		
			～		
		（標準）	1/60.00	1/50.00	1/48.00
			～		
▼ ボタン		（下限）	1/30.03	1/25.04	1/24.01

■ バリアブルフレームレック時

	Shutter	Camera Resolution/ Frame & Bit Rate	720/30p 720/24p		
		Frame Rate	60, 30, 15	48, 24, 12	40, 20, 10
▲ ボタン	Step				1/10000
				1/10000	1/4000
			1/10000	1/4000	1/2000
			1/4000	1/2000	1/1000
			1/2000	1/1000	1/500
			1/1000	1/500	1/250
			1/500	1/250	1/100
			1/250	1/100	1/60
			1/100	1/60	1/48
		（標準）	1/60	1/48	1/40
			1/30	1/24	1/20
			1/15	1/12	1/10
▼ ボタン			1/7.5	1/6	1/5
▲ ボタン	Variable	（上限）	1/10489.5		
			～		
▼ ボタン		（下限）	1/60.00	1/48.00	1/40.00

	Shutter	Camera Resolution/ Frame & Bit Rate	720/25p	
		Frame Rate	50, 25, 12.5	40, 20, 10
▲ ボタン	Step			1/10000
			1/10000	1/4000
			1/4000	1/2000
			1/2000	1/1000
			1/1000	1/500
			1/500	1/250
			1/250	1/120
			1/120	1/50
		(標準)	1/50	1/40
			1/25	1/20
			1/12.5	1/10
▼ ボタン			1/6.25	1/5
▲ ボタン	Variable	(上限)	1/10489.5	
			～	
▼ ボタン		(下限)	1/50.00	1/40.00

メモ：

- Shutter スピードの表示は通常秒 (SEC) ですが、[Frame & Bit Rate] 項目の設定が "24p(SP)"、"24p(HQ)"、"25p(SP)"、"25p(HQ)" の場合のみ、角度 (DEG) にすることができます。
 (☞ 71 ページ [Frame & Bit Rate])
 (☞ 85 ページ [Shutter Disp.])

自動シャッターモード（自動シャッター調整）

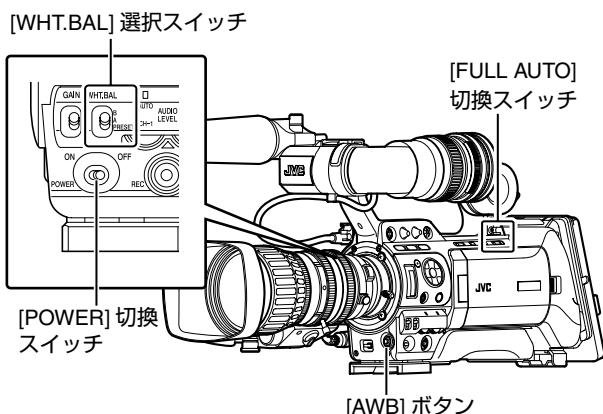
本機の [FULL AUTO] スイッチを "ON" にすると自動シャッター調整モードとなり、被写体の明るさに応じてシャッター速度を自動的に調整します。

この場合、十字ボタン（▲▼）によるシャッタースピードの切り換え、セットボタン（●）によるシャッターモードの切り換え操作は無効となります。

メモ：

- [Camera Function]➜[FULL AUTO] メニューの [Shutter] 項目を "SW Set" に設定すると、カメラ本体の [FULL AUTO] スイッチを "ON" にしても、セットボタン（●）でシャッターモード、十字ボタン（▲▼）でシャッタースピードを切り換えることができます。
 (☞ 75 ページ)
- [Camera Function]➜[FULL AUTO] メニューの [Shutter] 項目を "EEI" に設定すると自動シャッター調整モードとなり、セットボタン（●）によるシャッターモードの切り換え、十字ボタン（▲▼）によるシャッタースピードの切り換え操作は無効となります。(☞ 75 ページ)

ホワイトバランスの調整

照明の色温度に応じてホワイトバランスを調整します。撮影の状況に応じて調整モードを選択できます。
光源により光の色（色温度）が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。

手動ホワイトバランスモード（手動切り換え）

[WHT.BAL] 選択スイッチでホワイトバランスを選択します。[WHT.BAL] 選択スイッチで、“PRESET”（プリセットモード）、“A”（メモリー A モード）、“B”（メモリー B モード）を選択できます。

メモ :
- [Camera Function] メニュー画面 [Switch Set] 項目で [FAW]（フルオートホワイトバランス）機能を [A]、[B] または [PRESET] ボタンのいずれかに割り付けられます。（☞ 74 ページ）
- [FAW] モードの場合は常時、映像の色温度をサンプリングして適切なホワイトバランスになるように自動的に調整されます。
- [Camera Function]➔[FULL AUTO] メニューの [White Balance] 項目が “FAW” であり、本機の [FULL AUTO] スイッチが “ON” のときは、“FAW” 固定になります。

■プリセットモード (PRESET)

プリセットモードでの色温度は、“3200K”（出荷設定）の設定になっています。
プリセットの色温度は、[Main Menu]➔[Camera Process]➔[White Balance] メニュー➔[Preset Temp.] 項目にて変更することができます。（“3200K” または “5600K”）
（☞ 79 ページ）

メモ :
- プリセットの色温度切り換えは、[Camera Function] メニュー画面 [Switch Set] 項目で [USER1]、[USER2]、[USER3] ボタンに割り付けることができます。
（☞ 74 ページ）

■メモリー A モード (A)、メモリー B モード (B)

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランス状態になります。
[WHT.BAL] 選択スイッチが [A] または [B] にあるとき、[AWB] ボタンを押しオートホワイトを実行すると、ホワイトバランスが自動調整され、調整値がメモリー A またはメモリー B に保存し直されます。

1 カメラの準備をする

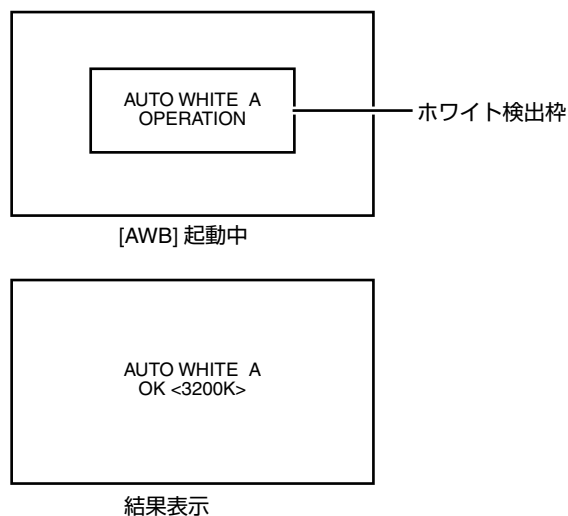
①[POWER] スイッチを “ON” に設定
②レンズのアイリスモードスイッチを “A”（自動）にします
③[FULL AUTO] スイッチを “OFF” に設定

2 照明に合わせて、[ND FILTER] スイッチを設定する
（☞ 43 ページ）

3 [WHT.BAL] スイッチを “A” か “B” に設定する

4 画面の中心付近に被写体と同じ照明条件で白いものを置き、ズームアップして画面に白を映す

5 [AWB]（オートホワイトバランス）ボタンを押す

- オートホワイトが起動するとにホワイト検出枠が表示されます。枠いっぱいに白が映るようにしてください。
- オートホワイト起動中は “AUTO WHITE A, B OPERATION” とビューファインダーに表示されます。
- 正しくホワイトバランスがとれると概略の色温度を表示すると共に約 3 秒間 “AUTO WHITE A, B OK” と表示されます。

ご注意 :
- 金属など、反射光の強い被写体を置かないでください。正しくホワイトバランスがとれないことがあります。
- 被写体の色が一色しかない場合や、白が少ないなどオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。

■ エラーメッセージ

オートホワイト調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージが約 5 秒間表示されます。

エラーメッセージ	状況
NG : OBJECT	被写体不良です。 被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。 白い被写体に変更し、ホワイトバランスを取り直してください。
ERROR : LOW LIGHT	光量不足です。 照明が暗いときに表示されます。照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
ERROR : OVER LIGHT	光量過剰です。 照明が明るすぎるときに表示されます。照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

■ホワイトペイント調整

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスを微調整することができます。

※[Main Menu]➡[Camera Process]➡[White Balance] メニュー [White Paint R]/[White Paint B] 項目にて調整
(☞ 79 ページ)

[AWB] を実行すると、通常ホワイトペイント調整値はクリアされますが、[AWB] を実行してもクリアされない設定も可能です。(☞ 79 ページ)

自動ホワイトバランスモード (FAW：Fulltime Auto White balance)

[WHT.BAL] 選択スイッチの３ポジションのいずれかに、“FAW”（自動ホワイトバランス）を割るつけることができます。どのポジションに割り付けるかは、[Camera Function]➡[Switch Set] メニューの [FAW] 項目で設定します。(☞ 74 ページ)

本機の [FULL AUTO] スイッチを “ON” にすると自動ホワイトバランスモードとなり、被写体の照明色温度に応じてホワイトバランスを自動的に調整します。

この場合、[WHT.BAL] 選択スイッチでのホワイトバランス切り換え操作は無効となります。

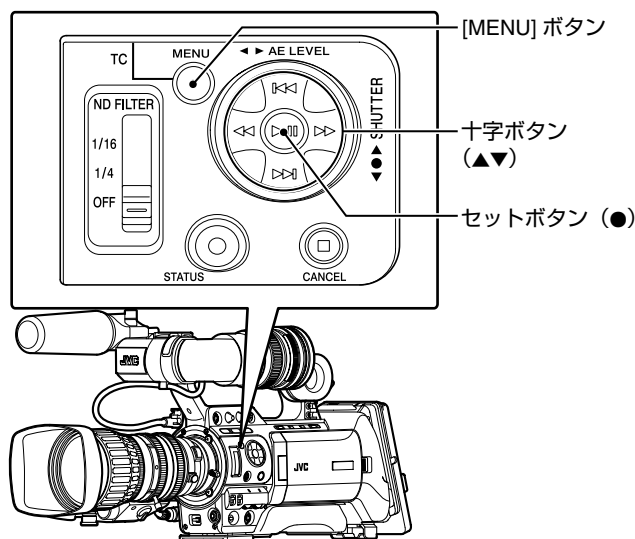
メモ :

- [Camera Function]➡[FULL AUTO] メニューの [White Balance] 項目を “SW Set” に設定すると、カメラ本体の [WHT.BAL] スイッチでホワイトバランスを切り換えることができます。(☞ 75 ページ)

ご注意 :

- [FAW] の精度はオートホワイトバランスより劣ります。
- [FAW] モードで電源を入れると、色合いが安定するまで約 15 秒かかります。

ホワイトシェーディングの調整

レンズを変更した場合などに行う必要があります。
画面中央でホワイトバランスが取れている場合でも、画面の上や下で取れていないことがあります。
その場合、画面上に緑や黄の色がつくことがあります。これはレンズの特性によるものです。この現象の補正を、ホワイトシェーディング調整といいます。
ホワイトバランス調整後にこの調整を行なってください。

1 **光源が均一のパターンボックスまたは、照明を均一に照らした、白色（無地）の紙を、モニター画面いっぱいに写す**

2 **下記のようにカメラレンズのコントロールを設定する**

①アイリスを適正な明るさになるように F4 またはそれより絞ります。F4 でも明るさが足りない場合、照明などで適正な明るさにしてください。

②ズームレンズの場合は、ズーム調整範囲の真ん中にセットします。

3 **カメラのホワイトバランスを取る**
(☞ 40 ページ [メモリー A モード (A)、メモリー B モード (B)])

4 **モニターのクロマレベルを最大に設定する**

5 **モニター画面を確認する**

- 画面上面と画面下面に色がついてなければ調整の必要はありません。
- 画面上面が緑っぽく下面が赤っぽい、または画面上面が赤っぽく下面が緑っぽい場合は、この調整を続けます。

6 **ホワイトシェーディングの調整をする**

調整は G（緑）のみ行うことをおすすめします。

①[Main Menu]➔[Camera Process]➔[White Balance]➔[Shading Mode] 項目を "Manual" に設定します（☞ 79 ページ）

②[White Balance] メニューで、[Adjust] を選択しセットボタン（●）を押す

③十字ボタン（▲▼）で変更する項目を選択し、セットボタン（●）を押す

④LCD モニターまたは、ビューファインダー画面右下の評価値を見ながら、十字ボタン（▲▼）で設定値を変更する

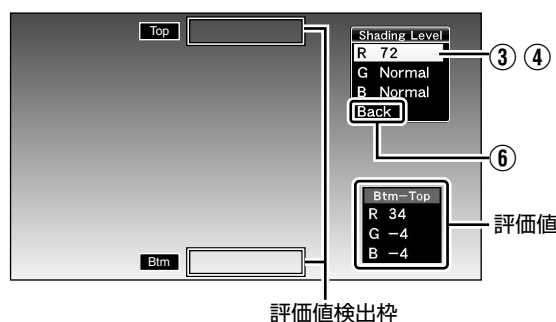
- 調整しているチャンネルの評価値が0より大きい場合は十字ボタン（▼）で、0 より小さい場合は十字ボタン（▲）で評価値がおおよそ "Even" になるように設定値を変更します。
（☞ 42 ページ [評価値とは]）

[R]	赤の調整
[G]	緑の調整
[B]	青の調整

（調整範囲：Min (-128) ～ Normal ～ Max(127)）

メモ：
- 評価値が変化するのは十字ボタン（▲▼）を押してから多少遅れがあります。
- 設定値を大きくすると、底面の色が抑えられ、上面の色が強調されます。

⑤変更が完了したら、セットボタン（●）を押して記憶させる

⑥[Back] を選択し、セットボタン（●）を押し [White Balance] メニューに戻ります

7 **[MENU] ボタンを押し、通常画面に戻す**

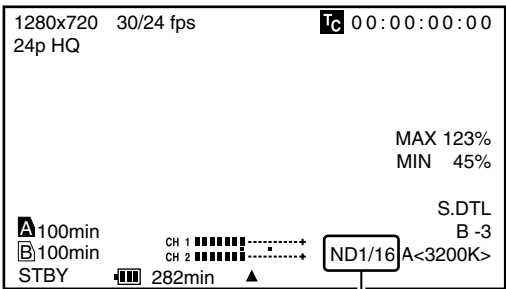
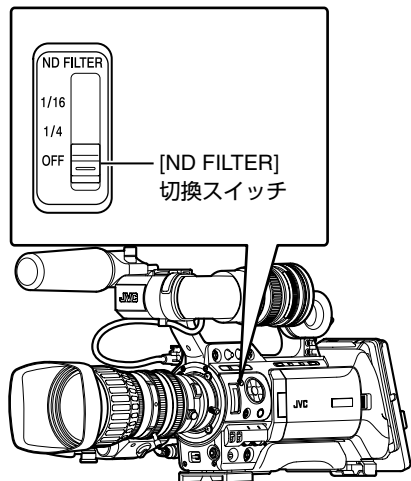
8 **ホワイトバランスを再度調整する（☞ 40 ページ）**

ご注意：
- レンズのセットアップが正しくない場合、ホワイトシェーディング調整によって、補正しすぎとなることがあります。この調整を行うときは、レンズを推奨される設定にしてください。（アイリスを F4 よりひらかない。ズームレンズは広角側や望遠側では調整しない。）
- ホワイトシェーディングは、取り付けたレンズの光学的特性によっておこります。カメラの故障ではありません。

評価値とは

LCD モニターまたはビューファインダーの上部 (Top) と下部 (Btm) の評価値検出枠内の R、G、B 各チャンネルの平均値を比較した値（[Top] と [Btm] の差分）です。
[Top] が [Btm] より大きいと - の値が表示され、[Top] が [Btm] より小さいと + の値が表示されます。
[Top] と [Btm] の差がない場合 "Even" と表示されます。評価値がおおよそ "Even" になるように設定します。

ND フィルターの設定

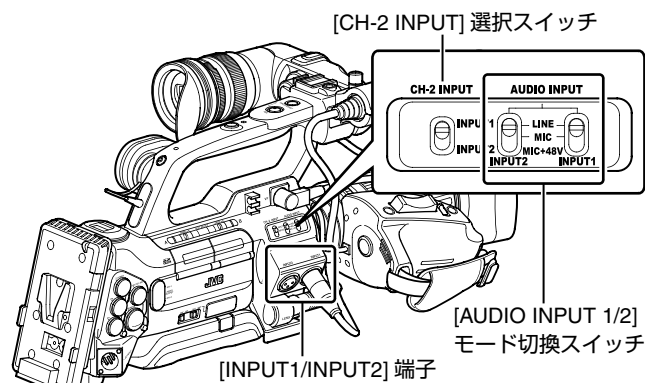
レンズの絞りを適切な範囲に保つため、ND フィルダーを使用します。
被写体の明るさに応じて切り換えてください。スイッチを切り換えると、LCD モニターやビューファインダー画面に切り換えた ND フィルターのポジションが表示されます。（ステータス 1 画面）

ND フィルターのポジションを表示

[1/16]	光量を約 1/16 にカットします。極端に明るい屋外の場合に設定。
[1/4]	光量を約 1/4 にカットします。良く晴れた屋外の場合に設定。
[OFF]	室内および暗い屋外。

メモ：

- ND フィルターのポジション表示は、出荷時、“Off” に設定されています。ND フィルターのポジションを表示したい場合には、[LCD/VF]➔[Status Display] メニューの [Filter] 項目を “On” に設定してください。（☞ 84 ページ）
- ND フィルターを活用し、レンズの絞りが F5.6 より絞らないようにすることをおすすめします。

音声入力設定および記録レベルの調整

本機では、映像と同期して２チャンネル（CH-1/CH-2）の音声を記録することができます。
音声入力用として [INPUT1] 端子と [INPUT2] 端子を備えており、記録チャンネル、調整モード（手動 / 自動）などを選択することができます。

音声入力の設定

[INPUT1] 端子と [INPUT2] 端子に入力する音声を [AUDIO INPUT 1/2] モード切換スイッチで選択します。

[LINE]	オーディオ機器などを接続するとき、この設定にします。入力基準レベルは +4dBu になります。
[MIC]	ダイナミックマイクを使用するとき、この設定にします。
[MIC+48V]	+48 V の電源供給が必要なマイク（ファントムマイク）を接続するとき、この設定にします。

ご注意 :

- +48 V の電源供給が不要な機器を接続するときは、“MIC+48V” の位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。
- [AUDIO INPUT 1/2]モード切換スイッチを“MIC”に設定した場合、[INPUT1/INPUT2] 端子にマイクが接続されていることを確認してください。マイクが接続されていない状態で、録音レベルあげると、入力端子からのノイズが記録されることがあります。
- [INPUT1/INPUT2] 端子にマイクを接続しない場合は、[AUDIO INPUT 1/2] モード切換スイッチを “LINE” に設定するか [AUDIO LEVEL CH1/CH2] 録音レベル調節つまみで音量を絞ってください。

メモ :

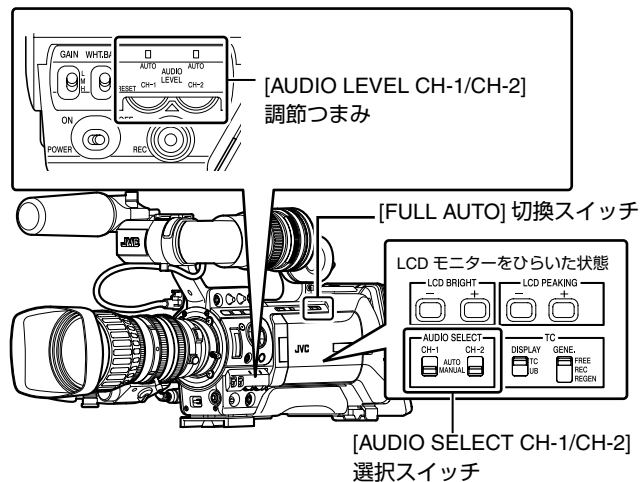
- “MIC” および “MIC+48V” に設定時の入力基準レベルは、[Main Menu]➔[Record Set]➔[Audio Set] メニューの [Input1 Mic Ref.]/[Input2 Mic Ref.] 項目で設定します。（☞ 72 ページ）

■[CH-2 INPUT] 選択スイッチの設定

CH-2 に記録する音声を [CH-2 INPUT] 選択スイッチで選択します。

[INPUT1]	[INPUT1] 端子の音声を CH-2 に記録します。
[INPUT2]	[INPUT2] 端子の音声を CH-2 に記録します。

音声記録レベルの調整

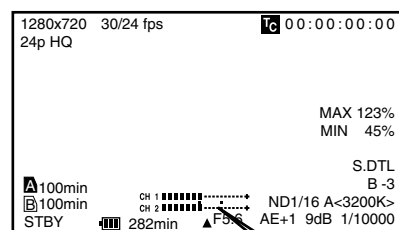
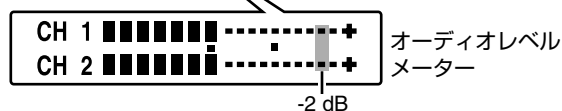
２チャンネル（CH-1/CH-2）の音声記録レベルをチャンネルごとに手動で調整するか自動で調整するかを選択します。

■手動調整モード（手動調整）

本機の [AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチを “MANUAL” 側に設定にすると手動調整モードとなり、[AUDIO LEVEL CH-1/CH-2] 調整つまみでレベルを設定します。
レベルの設定は、記録時、記録ポーズ時、停止モード時に手動で調節できます。

1 **録音レベルを手動で調節したいチャンネルの [AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチを “MANUAL” 側に設定**

2 **該当する [AUDIO LEVEL CH-1/CH-2] 調整つまみをまわし、レベルを調整する**

大きな音が入った場合でも、オーディオレベルメーターの -2 dB が点灯しないように調節してください。

メモ :

- [Main Menu]➔[Record Set]➔[Audio Set] メニューの [Audio Limiter] 項目を “On” に設定すると、マニュアル調整モードのオーディオリミッターが動作します。過大なオーディオが入力されると記録レベルを抑えます。（☞ 72 ページ）
- SDHC カードに記録する基準レベルは、[Main Menu]➔[Record Set]➔[Audio Set] メニューの [Audio Ref. Level] 項目で “-20dB” または “-12dB” に設定します。（CH-1、CH-2 共通です）（☞ 72 ページ）

ご注意：
- 本機の [FULL AUTO] スイッチを “ON” にしている場合、[AUDIO LEVEL CH-1/CH-2] 調整つまみでの録音レベルの調整はできません。

■自動調整モード

本機の [AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチを “AUTO” 側に設定、または [FULL AUTO] スイッチを “ON” にすると自動調整モードとなり、入力レベルに応じて自動的に音声記録レベルを設定します。
[FULL AUTO] スイッチを “ON” に設定した場合、[AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチでのモード切り換え操作は無効となります。

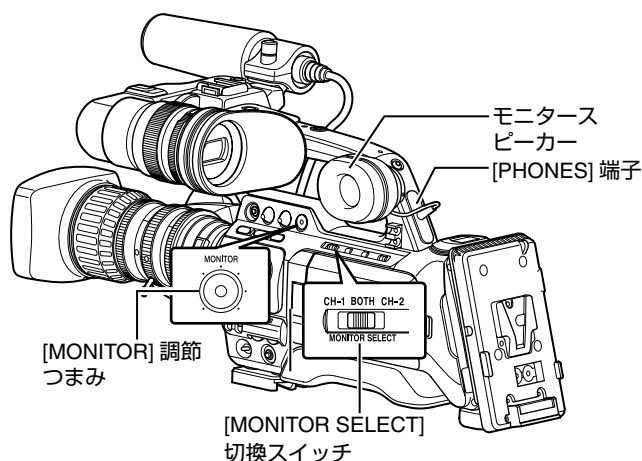
メモ：
- [FULL AUTO] スイッチを “ON” に設定した場合でも、[Camera Function]➜[FULL AUTO] メニューの [Audio] 項目を “SW Set” に設定すると、カメラ本体の [AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチで記録レベルモードを切り換えることができます。（☞ 75 ページ）

記録時の音声モニターについて

入力される音声をモニタースピーカーまたはイヤホンで確認できます。

1 モニターするチャンネルを [MONITOR SELECT] スイッチで選択する

[CH-1]	[INPUT1] 端子から入力する音声を出力します。
[BOTH]	[INPUT1/INPUT2] 両方の端子から入力する音声をミックスして出力します。
[CH-2]	[INPUT2] 端子から入力する音声を出力します。

2 [MONITOR] 調節つまみでモニター音声の音量を調節する

メモ：
- 本機に異常があった場合、アラーム音を出力します。SDHC カードの容量がいっぱいになったときやバッテリーが容量不足のときもアラーム音を出力します。（☞ 123 ページ）
- 記録中はアラーム音を出力しません。

ご注意：
- モニターの音量をあげすぎると、カメラマイクとハウリングを起こすことがあります。

■ステレオタイプのイヤホンジャックを使う場合

ステレオタイプのイヤホンジャック接続時、ステレオ音声を出力させる場合は、次のように設定します。

1 [MONITOR SELECT] スイッチを “BOTH” に設定

2 [Main Menu]➜[A/V Out]➜[Audio Monitor] 項目を “Stereo” に設定します**（☞ 87 ページ）**

このとき、モニタースピーカーからは [CH-1] の音声のみ出力されます。

メモ：
- アラーム音の音量は [Main Menu]➜[Others] メニューの [Alarm Level] 項目で設定できます。（“Off”/“Low”/“Middle”/“High”）（☞ 87 ページ）

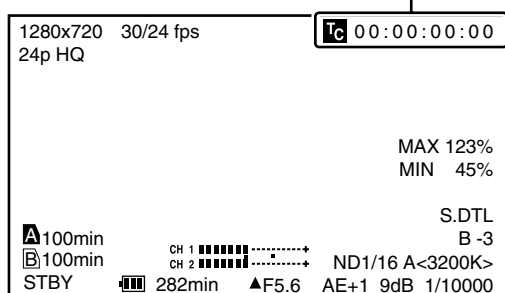
タイムコードとユーザーズビットを設定する

本機では、タイムコードおよびユーザーズビットのデータが、映像に付随して記録されます。
再生または記録時、タイムコードおよびユーザーズビットをビューファインダー画面や液晶画面に表示します。
(ステータス画面)

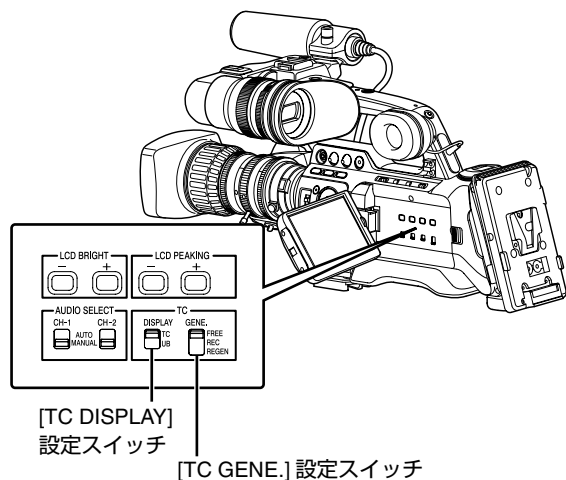
タイムコードとユーザーズビットの表示

再生または記録時、タイムコードおよびユーザーズビットをビューファインダー画面や液晶画面に表示します。
表示は、メニュー設定によって異なります。

1 [Main Menu]➔[LCD/VF]➔[Status Display]➔[TC/UB] 項目を "On" に設定する（☞ 85 ページ）

ステータス画面にタイムコードまたはユーザービットデータが表示されます。

ステータス 1 画面

2 LCD モニター部にある [TC DISPLAY] スイッチで表示を選択する

タイムコード表示 (TC) かユーザーズビット表示 (UB) かを選択します。

メモ：
- 内蔵タイムコードジェネレータの値が表示されます。
- [IEEE1394] 入力のタイムコード表示は対応していません。
- メディアモードでは、SDHC カードに記録された値が表示されます。

設定	表示	LCD/VF 表示	VIDEO 出力表示
TC	タイムコード	[Main Menu]➔[LCD/VF]➔[Status Display]➔[TC/UB] 項目を "On" に設定した場合、下記ステータス表示および、LCD 画面の情報表示モード時に表示されます。 ● カメラモード時のステータス 1 画面 ● メディアモード（SD）時のステータス 1、ステータス 2 画面	[A/V Out] メニューの [Analog Out Char.]、[SDI Out Char.] を "On" に設定した場合で、左記の LCD/VF 表示設定のとき、それぞれのビデオ出力映像にタイムコードかユーザーズビットが表示されます。
UB	ユーザーズビット		

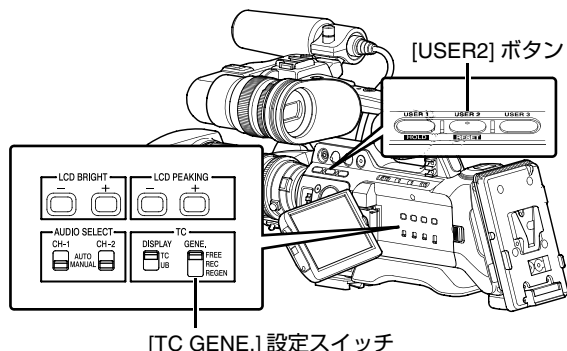
タイムコードの動作モード

タイムコードの動作は、[TC GENE.] 切換スイッチで、“FREE”、“REC”、“REGEN” ３種類の歩進モードから選択します。

設定	モード	説明
FREE	FreeRun モード	記録状態に関係なく、常に歩進します。 本機の電源を切っても歩進を続けます。※
REC	RecRun モード	タイムコードは記録時に歩進します。 SDHC カードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続します。SDHC カードを取り出して別のカードで記録を行うと、前のカードで記録したタイムコードの続きから記録します。
REGEN	Regen モード	タイムコードは記録時に歩進します。 SDHC カードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録します。 (☞ 49 ページ)

※[Record Set] メニュー [Rec Mode] 項目が、“Variable Frame” の場合、RecRun モードとなります。

タイムコードのプリセット

記録時、内部タイムコードジェネレーターからのタイムコードおよびユーザーズビットのデータを記録します。
ここでは [TC/UB] メニュー画面 [TC Preset] 項目からの設定方法について説明します。（☞ 82 ページ）

メモ：
- [Main Menu]➔[Record Set]➔[Record Format]➔[Frame & Bit Rate] 項目のフレームレートの設定が "50、25、24" の場合、[Drop] には設定はできません。（☞ 71 ページ）
- [TC/UB] メニュー画面をひらかずに、設定することもできます。（☞ 48 ページ）

■プリセット前に必要な設定

1 [TC GENE.] スイッチを "REC" か "FREE" に設定する

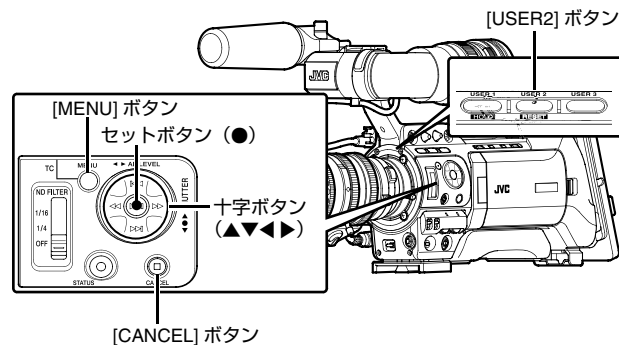
[REC]	タイムコードジェネレーターにプリセットしたデータが記録モード時歩進します。つなぎ部で連続したタイムコードを記録する場合に設定します。
[FREE]	タイムコードジェネレーターにプリセットした時点から歩進を始めます。

2 タイムコードジェネレータへのフレーミングモードを選択する（フレームレートの設定が "60" または "30" の場合のみ）

[Main Menu]➔[TC/UB]➔[Drop] 項目で設定します。
（☞ 82 ページ）

[Drop]	タイムコードジェネレーターの歩進のしかたをドロップフレームモードにします。 記録した時間を重視するとき、この設定にします。
[Non Drop]	タイムコードジェネレーターの歩進のしかたをノンドロップフレームモードにします。 フレーム数を重視するとき、この設定にします。

メモ：
ドロップフレーム／ノンドロップフレームモード
- [Main Menu]の[Record Set]メニューの[Record Format]の[Frame & Bit Rate] 項目のフレームレートの設定が 60（30）の場合、１秒間の実際のフレーム数は約 59.94（29.97）ですが、タイムコードの処理基準となるフレーム数は 60（30）です。このフレーム数のズレを補正するため、10 で割り切れない分の桁が上がるときに 00 フレームと 01 フレームをドロップすることでつじつまを合わせるモードをドロップフレームモード (Drop) といいます。
- また、フレームをドロップせず、実時間とのズレを無視するモードをノンドロップフレームモード (Non Drop) といいます。

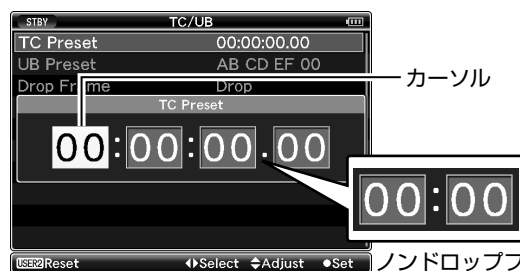
■タイムコードの設定

1 [Main Menu]➔[TC/UB]➔[TC Preset] 項目を選択しセットボタン（●）を押す（☞ 82 ページ）

[TC Preset] 画面が表示されます。

[TC/UB] メニュー画面

メモ：
- [TC GENE.] スイッチを "REGEN" に設定した場合、パラメーターは "Regeneration" と表示され選択できません。

2 タイムコード（時、分、秒、フレーム）を設定する

十字ボタン（◀ ▶）で設定する項目にカーソルを合わせ、十字ボタン（▲▼）で数値を変更します。

[TC Preset] 画面
（ドロップフレーム時）

メモ：
- [USER2] ボタンを押すと各桁がリセットされ "0" になり、カーソルが時間の桁（左端）に移動します。

3 数値が確定したらセットボタン（●）を押す

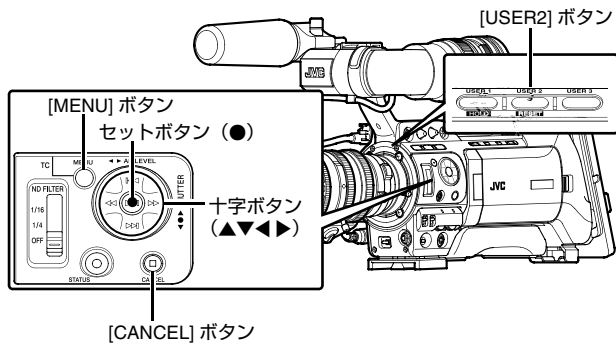
- タイムコードが設定され [TC/UB] 画面に戻ります。
- 設定をキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します。

4 [MENU] ボタンを押す

通常画面に戻ります。

タイムコードとユーザーズビットを設定する (つづき)

ユーザーズビットのプリセット

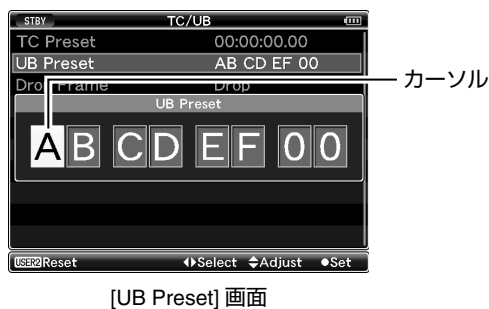
8 桁の 16 進数をユーザーズビットとして記録映像に付加できます。

1 **[Main Menu]➔[TC/UB]➔[UB Preset] 項目を選択しセットボタン（●）を押す**（☞ 82 ページ）

[UB Preset] 設定画面が表示されます。

[TC/UB] メニュー画面

メモ :
- [TC GENE.] スイッチを “REGEN” に設定した場合、パラメーターは “Regeneration” と表示され選択できません。

2 **十字ボタン（◀▶）で設定する項目にカーソルを合わせ、十字ボタン（▲▼）で数値を変更する**

ユーザーズビットは各桁を 0 ～ 9、A ～ F の数字またはアルファベットで指定します。

[UB Preset] 画面

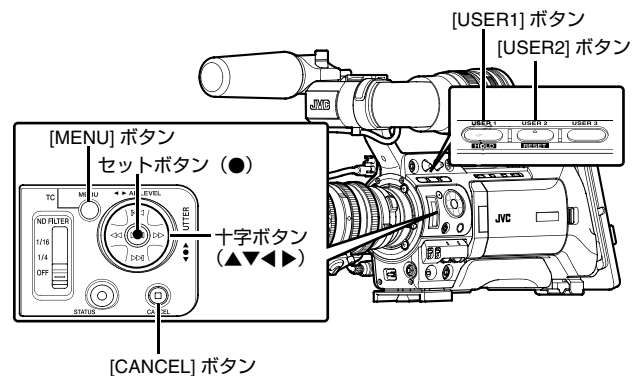
メモ :
- [USER2] ボタンを押すと各桁がリセットされ “0” になり、カーソルが左端に移動します。

3 **数値が確定したらセットボタン（●）を押す**

- タイムコードが設定され [TC/UB] 画面に戻ります。
- 設定をキャンセルする場合は [CANCEL] ボタンを押します。

4 **[MENU] ボタンを押す**

通常画面に戻ります。

メニューをひらかずにタイムコードを設定する

メモ :
- 下記の場合は設定できません。
  - [TC GENE.] スイッチを “REGEN” に設定している
  - メニュー画面が表示されている
  - カメラモードではない

■プリセット前に必要な設定（☞ 47 ページ）

- [TC DISPLAY] スイッチを “TC” に設定
- [TC GENE.] スイッチを “REGEN” 以外に設定

■タイムコードの設定

1 **[MENU] ボタンを押しながら [USER1] ボタンを押す**

[TC Preset] 設定画面が表示されます。

[TC Preset] 画面
（ドロップフレーム時）

2 **タイムコード（時、分、秒、フレーム）を設定する**

十字ボタン（◀▶）で設定する項目にカーソルを合わせ、十字ボタン（▲▼）で数値を変更します。

メモ :
- [USER2] ボタンを押すと各桁がリセットされ “0” になり、カーソルが時間の桁（左端）に移動します。

3 **数値が確定したらセットボタン（●）を押す**

- タイムコードが設定され通常画面に戻ります。
- 設定をキャンセルする場合は [CANCEL] ボタンを押します。

ご注意 :
- 以下の場合編集は中止となり画面がとじます。
  - 編集中に [TC DISPLAY] スイッチが切り換わったとき。
  - メディアモードに切り換えたとき。
- タイムコードの編集中、[Main Menu]➔[Camera Function]➔[Switch Set] メニューで設定された [USER1]、[USER2]、[USER3] ボタンの動作は無効となり、[USER2] は数値のリセットボタンとして機能します。（☞ 74 ページ）

メニューをひらかずにユーザーズビットを設定する

メモ :
- 下記の場合は設定できません。
  - [TC GENE.] スイッチを “REGEN” に設定している。
  - メニュー画面が表示されている。
  - カメラモードではない。

■プリセット前に必要な設定（☞ 47 ページ）

- [TC DISPLAY] スイッチを “UB” に設定
- [TC GENE.] スイッチを “REGEN” 以外に設定

■ユーザーズビットの設定

1 **[MENU] ボタンを押しながら [USER1] ボタンを押す**

[UB Preset] 設定画面が表示されます。

[UB Preset] 画面

2 **ユーザーズビットを設定する**

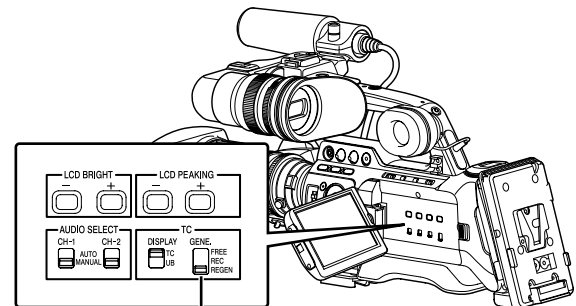
十字ボタン（◀▶）で設定する項目にカーソルを合わせ、十字ボタン（▲▼）で数値を変更します。

メモ :
- [USER2] ボタンを押すと各桁がリセットされ “0” になり、カーソルが左端に移動します。

3 **数値が確定したらセットボタン（●）を押す**

- ユーザーズビットが設定され通常画面に戻ります。
- 設定をキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します。

ご注意 :
- 以下の場合編集は中止となり画面がとじます。
  - 編集中に [TC DISPLAY] スイッチが切り換わったとき。
  - メディアモードに切り換えたとき。
- タイムコードの編集中、[Main Menu]➔[Camera Function]➔[Switch Set] メニューで設定された [USER1]、[USER2]、[USER3] ボタンの動作は無効となり、[USER2] は数値のリセットボタンとして機能します。（☞ 74 ページ）

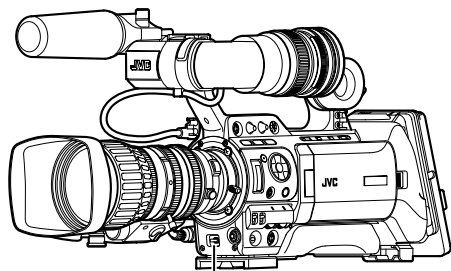
SDHC カードに記録されているタイムコードに続けてタイムコードを記録する

[TC GENE.] 設定スイッチ

本機はタイムコードリーダーも備えています。
LCD ドア内にある [TC GENE.] スイッチを “REGEN” 側に設定してください。
撮影スタンバイ状態から記録モードに入るとき、SDHC カードに記録されているタイムコードデータを読み取り、その値に続けてタイムコードを記録します。
ユーザーズビットは SDHC カードに記録されているユーザーズビットと同じデータを記録します。

メモ :
- [TC GENE.] スイッチを “REGEN” 側に設定した場合、タイムコードのフレーミングモードは、クリップではなく [TC/UB] メニューの [Drop] 項目での設定に従います。（☞ 82 ページ）

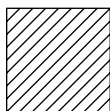
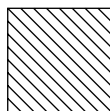
ゼブラパターンの設定

ゼブラパターンを表示する明るさの範囲を指定すると、撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様（ゼブラパターン）が表示されます。

ゼブラパターンを表示する明るさ（輝度）の範囲を指定する

[ZEBRA ON/OFF] 切換スイッチ

明るさの上限値（Top1、Top2）と下限値（Bottom1、Bottom2）を指定します。

1 ゼブラ表示パターンを設定する

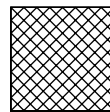
- [LCD/VF] メニュー ➔[Shooting Assist]➔[Zebra] 項目で表示パターンを選択します。

[Zebra1] の表示例

[Zebra2] の表示例

2 ゼブラパターンを表示する明るさ（輝度）の範囲を指定する

[LCD/VF] メニュー ➔[Shooting Assist]➔[Zebra] 項目で明るさの上限値（Top1、Top2）と下限値（Bottom1、Bottom2）を指定します。

項目	設定内容	選択肢
Zebra	ゼブラ表示パターンの設定	1Pattern 2Patterns
Top1	[Zebra1] を表示する輝度レベルの上限の設定	5 % 〜 100 %、Over （5 % 刻み）
Bottom1	[Zebra1] を表示する輝度レベルの下限の設定	0 % 〜 100 % （5 % 刻み）
Top2	[Zebra2] を表示する輝度レベルの上限の設定	5 % 〜 100 %、Over （5 % 刻み）
Bottom2	[Zebra2] を表示する輝度レベルの下限の設定	0 % 〜 100 % （5 % 刻み）

メモ :

- [Zebra] 項目を “1Pattern” に設定した場合、“Top2” と “Bottom2” は設定できません。
- ２つのゼブラパターンの指定範囲が重なる範囲は、両方のゼブラパターン表示が重なり、格子状の表示となります。

3 ゼブラパターンを表示する

本機前面部の [ZEBRA ON/OFF] スイッチを “ON” にすると指定した範囲にゼブラパターンが表示されます。

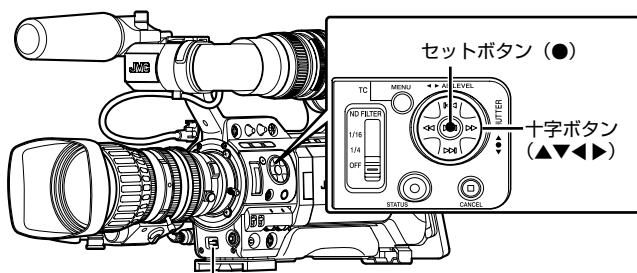
ゼブラパターン

スポットメーターの設定

撮影時の被写体の明るさを表示します。映画や舞台などのライティング設定や、カメラの露出を決定するときに役立つ機能です。
LCD モニターとビューファインダー画面の映像に場所を示すカーソルと、その場所の明るさ（%）を表示します。

- 映像信号の明るさ表示にはゼブラ表示があり、出力映像の明るさを表示します。(☞ 50 ページ)
- 本機能では、ガンマカーブなど映像処理に依存せず、レンズからの入力映像そのものの明るさを確認することができます。カメラのダイナミックレンジを 300 %とし、0 % ～ 300 %以上の明るさを表示します。

メモ :

- ゼブラ表示の範囲とは、一致しないことがあります。
  [Camera Process] メニューの [Gamma] 項目を、“Cinema”、“Film Out” に設定している場合、出力の 100IRE と、表示の 100 %は一致しません。
  (☞ 77 ページ)
  300 % 以上の光量の被写体を検出した場合は、300 % と表示されます。

[SKIN AREA/SPOT METER] 切換スイッチ

1 **[Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set] メニューの [SKIN A./SPOT M.] 項目で “Spot Meter” を選択する（☞ 75 ページ）**

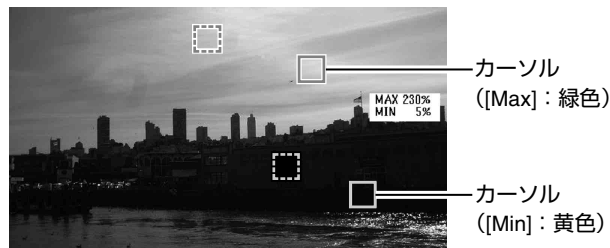
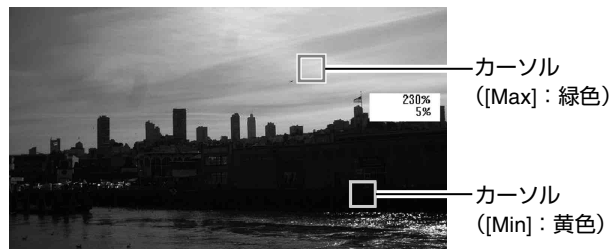
2 **[SPOT METER] 項目で下記を選択する（☞ 75 ページ）**

項目	設定内容	位置を表示する枠の色
[Max&Min]	画面の中で最も明るい場所と最も暗い場所の位置と明るさ（%）を表示します。また、枠を停止させることができます。	[Max]　：緑色 [Min]　：黄色
[Max]	画面の中で最も明るい場所の位置と明るさ（%）を表示します。また、枠を停止させることができます。	緑色
[Min]	画面の中で最も暗い場所の位置と明るさ（%）を表示します。また、枠を停止させることがます。	黄色
[Manual]	指定した位置の明るさ（%）を表示します。	緑色 （位置指定時は赤色に点滅）

3 **本機 [SKIN AREA/SPOT METER] スイッチを倒す**

[SKIN AREA/SPOT METER] スイッチを倒すごとに下記のように動作が切り換わります。

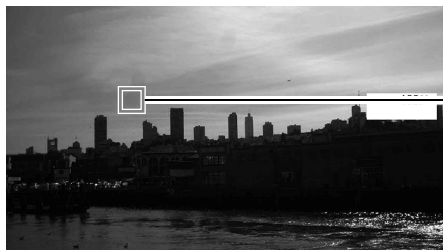
■ [Max&Min]/[Max]/[Min] に設定した場合

① スイッチを倒すと [SPOT METER ON] と表示されます。設定に従ってカーソルが表示され、被写体の変化に応じて、画面の中での最大輝度（Max）、及び最小輝度（Min）の位置自動検出し、その場所の明るさを表示します。

② スイッチを倒すと [SPOT METER FIXED] と表示されます。自動位置検出を停止し、その位置で枠表示を固定し、明るさを表示します。

③ スイッチを倒すと [SPOT METER OFF] と表示され、カーソルおよび明るさ表示が消えます。

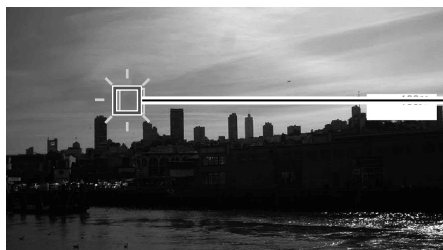
④ ① の状態に戻ります。

スポットメーターの設定 (つづき)

■ **[Manual] に設定した場合**

① スイッチを倒すと [SPOT METER FIXED] と表示されます。カーソルの位置の明るさが表示されます。

② スイッチを倒すと [SPOT METER OFF] と表示され、カーソルおよび明るさ表示が消えます。

③ スイッチを倒すと [SPOT METER SELECT] と表示され、カーソルが赤色に点滅します。

十字ボタン（▲▼◀▶）でカーソルを動かし、明るさを表示する位置の指定します。位置が決まったら、セットボタン（●）、またはスイッチを倒して位置を確定させます。

④ ① の状態に戻ります。

メモ :

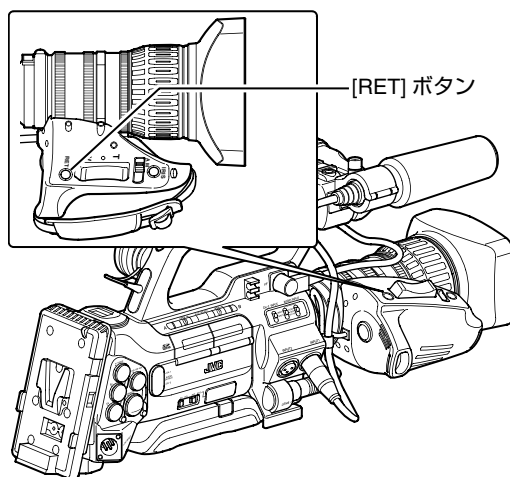
- カーソル位置の移動中、[SHUTTER]/[AE LEVEL] の制御はできなくなります。
- カーソル位置の決定はセットボタン（●）でも可能です。
- 全ての画面の明るさが０%の場合、枠は真ん中に固定されます。

記録した映像をすぐに見る（クリップレビュー）

一番最後に記録したクリップの映像を画面で確認（レビュー）することができます。
ただし、本機を確認するクリップのビデオフォーマット（Camera Resolution/Frame & Bit Rate）と違う設定に変更した場合は再生できません。（☞ 71 ページ）

メモ :

- この機能を使用する場合は、レンズの [RET] ボタン、[USER1] ボタン、[USER2] ボタン、または [USER3] ボタンのいずれかに “Clip Review” を割り当ててください。

※[Main Menu]➔[Camera Function]➔[Switch Set]➔[LENS RET]/[USER1]/[USER2]/[USER3]➔“Clip Review” (☞ 74 ページ)

1 **記録待機（“STBY” 表示）中に “Clip Review” 機能を割り当てたボタンを押す**

設定した部分の再生が始まります。

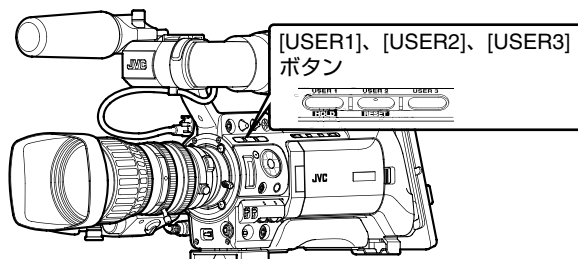
メモ :

- クリップレビューでは、[Camera Function] メニューの [Clip Review] 項目の設定に従って、クリップを再生します。出荷設定 (Last 5 sec) ではクリップの最後の５秒間を再生します。(☞ 74 ページ)
- 設定期間の再生が終了するとクリップレビューは終了し、“STBY”（記録待機）に戻ります。

ご注意 :

- クリップレビュー中は､[CANCEL] ボタンおよび [REC] ボタン以外は操作できません。[CANCEL] ボタンを押すと、クリップレビューを中止して、“STBY”（記録待機）に戻ります。[REC] ボタンを押すと、クリップレビューを中止して、記録に入ります。ボタンを押してから記録開始まで多少時間がかかります。
- 最後に記録されたクリップが５秒未満の場合はクリップ全体が再生されます。
- レビュー対象クリップは、現在選択されているスロット内に限ります。
- 選択スロット内にクリップが存在しない場合、クリップレビューは機能しません。
- クリップコンティニュアスレック記録一時停止中 STBYC（赤文字）はクリップレビューできません。クリップレビューを実行するときは [CANCEL] ボタンで “STBYC”（白文字）にしてから操作してください。(☞ 55 ページ)
- 外部機器を接続した場合で外部機器が記録状態になっているときは、機能しません。

ユーザーボタンの機能割付

[USER1]、[USER2]、[USER3] ボタンに機能を割り付けます。
[USER1]、[USER2]、[USER3] ボタンは、使い勝手に応じて機能を割付けて使用できます。

1 **メニューから [USER1]、[USER2]、[USER3] の各ボタンに機能を割り付ける（☞ 74 ページ）**

[Main Menu]➔[Camera Function]➔[Switch Set] メニューで、[USER1]、[USER2]、[USER3] の各項目を設定します。

メモ :

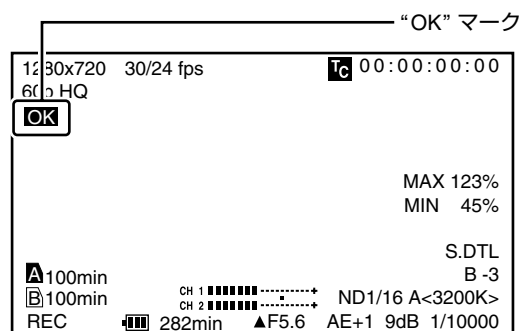
- [USER1]、[USER2]、[USER3] ボタンの操作は、メニュー設定値と連動します。
- メニュー画面表示中は、メニュー操作ボタンとしても機能します。(☞ 66 ページ [メニュー画面での基本操作])

重要なシーンを保護（OK マーク機能）

重要なシーンを撮影した場合など、クリップに OK マークをつけることができます。
OK マークを付加したクリップは削除ができなくなり、重要なクリップを保護することができます。また、メディアモードのサムネイル表示で OK マークのついたクリップのみを表示することができます。

記録中に OK マークをつける

1 メニューからレンズの [RET] ボタンに "OK Mark" 機能を割り付ける

- [Main Menu]➔[Camera Function]➔[Switch Set]➔[LENS RET]➔"OK Mark" に設定します。（☞ 74 ページ）
- [RET] ボタンを押すたびに、[OK] マークの付加、削除を繰り返します。
- OK マークが付加されている場合は、ビューファインダー/LCD モニターのステータス画面の左上に "OK" と表示されます。（☞ 96 ページ）（☞ 103 ページ）

ステータス 1 画面

メモ :

- [OK Mark] を付加したクリップは、本機の [Delete Clip]（クリップの削除）では削除ができなくなります。（ただし、SDHC カードをフォーマットすると削除されます。）
- メディアモード（SD カードモード）では、記録中に付加した [OK] マークを削除したり、撮影後に [OK] マークを付加・削除することができます。（☞ 64 ページ [OK マークの付加と削除]）

ご注意 :

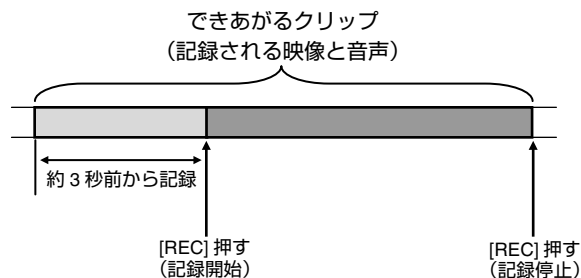
- SDHC カードの書き込み禁止スイッチがセットされている（🔒 が表示）場合は [OK] マークの付加・削除はできません。

特殊記録について

通常の記録モードのほかに、プリレック、クリップコンティニュアスレック、バリアブルフレームレックの 3 つの特殊な記録方法があります。
[Record Set] メニューの [Rec Mode] で各モードを選択してください。

※[Main Menu]➔[Record Set]➔[Rec Mode] 項目で設定します。(☞ 71 ページ)

プリレックについて

記録開始した時点より約 3 秒前からの映像と音声を記録することができます。
記録待機状態 (STBYP) から記録を開始するときに、記録開始の約 3 秒前から記録が可能です。
プリレックを使うことによって、記録開始操作が遅れてしまっても冒頭が欠けることなく記録することができます。

1 [Rec Mode] 項目を "Pre Rec" に設定する（☞ 71 ページ）

- [Main Menu]➔[Record Set]➔[Rec Mode] 項目を "Pre Rec" に設定します。
- ステータス表示が "STBY"➔"STBYP" に変わります。

2 [REC] ボタンを押すとプリレックモードで記録が開始される

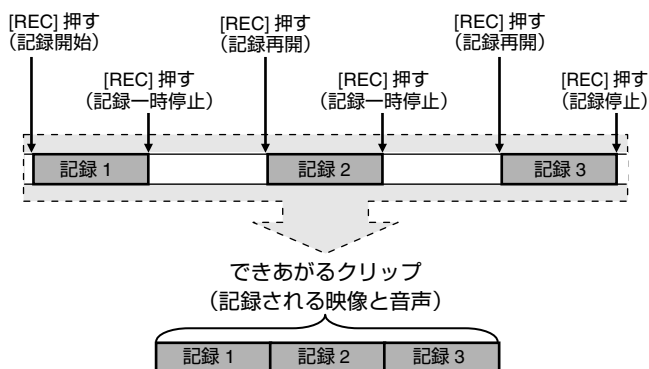
- ステータス表示が "STBYP"➔"RECP" に変わり、カードスロット状態表示ランプが赤色に点灯します。
- 再度 [REC] ボタン押すと記録を一時停止し、"RECP"➔"STBYP" 表示に変わり、カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

ご注意 :

- 記録開始から記録終了までの時間が短い場合、記録終了してもすぐに "STBYP" 表示にならない場合があります。"RECP"➔"STBYP"（STBY が赤く点滅）➔"STBYP" が表示。
- 記録中に記録 SDHC カード残量がなくなった場合は記録を停止し、"STOPP" 表示になります。
- 以下の場合は、記録を開始しても上記記載時間前の映像と音声が記録できない場合があります。
  - 電源投入直後
  - メディアモードからカメラモードへの切り換え直後
  - [Rec Mode] 項目の設定をした直後
  - クリップレビュー終了直後
  - ファイルフォーマットを変更した直後
  - ビデオフォーマットを変更した直後

クリップコンティニュアスレック

通常記録では、記録を停止すると記録開始から記録停止までの画像・音声とそれに付随するデータが、ひとつの“ クリップ ” として SDHC カードに記録されます。
このモードでは、“ 記録開始から記録停止まで ” を数回分まとめてひとつのクリップにすることができます。

例）通常記録では、記録 1 、記録 2、記録 3 と、3 つのクリップが生成されますが、このモードで記録するとひとつのクリップになります。

1 [Rec Mode] 項目を “Clip Continuous” に設定する

- [Main Menu]➔[Record Set]➔[Rec Mode] 項目を “Clip Continuous” に設定します。（☞ 71 ページ）
- ステータス表示が “STBY”➔“STBY[C]” に変わります。

2 記録を開始する（記録 1）

- [REC] ボタンを押すとクリップコンティニュアスモードで記録が開始されます。
- ステータス表示が “STBY[C]”➔“REC[C]” に変わり、カードスロット状態表示ランプが赤色に点灯します。

3 記録を一時停止する

- 再度 [REC] ボタン押すと記録が一時停止し、“REC[C]”➔“STBY[C]”（赤文字）表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは赤色点灯のままです。

メモ :

- 一時停止の状態(STBY[C])で[CANCEL]ボタン押した場合、“STBY[C]”（赤文字）➔“STBY[C]”（赤文字点滅）➔“STBY[C]”（白文字）表示となり、“ クリップ ” を生成します。カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

4 記録を再開する（記録 2）

- 再度 [REC] ボタン押すと、記録が再開され “STBY[C]”（赤文字）➔“REC[C]” 表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは赤色点灯のままです。

5 記録を一時停止する

- 再度 [REC] ボタン押すと記録が一時停止し、“REC[C]”➔“STBY[C]”（赤文字）表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは赤色点灯のままです。

6 記録を再開する（記録 3）

- 再度 [REC] ボタン押すと、記録が再開され “STBY[C]”（赤文字）➔“REC[C]” 表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは赤色点灯のままです。

7 [REC] ボタンを長押しする

- 記録が停止され“REC[C]”➔“STBY[C]”表示になり“ クリップ ” が生成されます。
- カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

8 再度 [REC] ボタン押す

- ステータス表示が “STBY[C]”➔“REC[C]” に変わり、カードスロット状態表示ランプが赤色に点灯します。
- これ以降は新しい “ クリップ ” となります。

メモ :

- 記録中（REC[C]・赤文字）または記録一時停止中（“STBY[C]”、赤文字）は SDHC カードを抜かないでください。
  - クリップレビュー動作中（☞ 52 ページ）
  - SDHC カードスロットの切り換え
  - 動作モードの切り換え（☞ 7 ページ）
- メニューの設定にかかわらず、4 GB（あるいは 30 分）でファイル分割をします。

ご注意 :

- 記録中（REC[C]・赤文字）または記録一時停止中（STBY[C]、赤文字）は SDHC カードを抜かないでください。
- “Clip Continuous”モード中にSDHCカードを抜く場合は、[CANCEL] ボタン押し、“STBY[C]”（白文字）の表示および、カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯することを確認した後に抜いてください。
- 記録中に記録 SDHC カード残量がなくなった場合は記録を停止し、“STOP[C]” 表示になります。
- 記録中または記録一時停止中に[POWER]スイッチで電源を切った場合、記録が停止してクリップが生成されたあと、電源が切れます。
- バッテリーの残量低下により電源が切れた場合、クリップがきちんと生成されないことがあります。

特殊記録について (つづき)

バリアブルフレームレック

このモードで撮影すると、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

これは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる設定にして撮影することによるもので、通常の速度で撮影した映像を低速再生や高速再生するよりも滑らかな映像となります。

バリアブルフレームレックを有効にするには、下記２つの設定が同時に必要です。

- [Record Format] メニューの [Camera Resolution] 項目が、“1280x720” に設定されている。
- [Record Format] メニューの [Frame & Bit Rate] 項目が “30p(HQ)”、“24p(HQ)”、“25p(HQ)” のいずれかに設定されている。

■設定できるフレーム数

1 [Camera Resolution] 項目を、“1280x720”、[Frame & Bit Rate] 項目を設定 (☞ 71 ページ)

[Frame & Bit Rate] 項目を “30p(HQ)”、“24p(HQ)”、“25p(HQ)” のいずれかに設定します。

2 [Rec Mode] 項目を “Variable Frame” に設定する（☞ 71 ページ）

[Main Menu]➡[Record Set]➡[Rec Mode] 項目を “Variable Frame” に設定します。

3 [Frame Rate] 項目で撮影フレームレートを選択する（☞ 71 ページ）

選択できる撮影フレームレートは下記になります。

Record Format		選択できる撮影フレームレート									
1280x720	30p(HQ)	10	12	15	20	24	30	40	48	60	—
	24p(HQ)	—	10	12	15	20	24	30	40	48	60
	25p(HQ)	—	—	10	12.5	20	25	40	50	—	—
再生時の効果		クイックモーション					標準	スローモーション			

メモ :

- [Main Menu]➡[Camera Function]➡[Switch Set] メニューで、[AE LEVEL] 項目を “AE LEVEL/VFR” に設定すると、バリアブルフレームレック時は十字ボタン（◀ ▶）でフレームレートを選択できます。十字ボタン（◀ ▶）はバリアブルフレームレックモード以外のときは [AE LEVEL] の設定ボタンになります。(☞ 75 ページ)

ご注意 :

- 記録中は、記録フレームレートを変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してから行なってください。
- タイムコードについては、LCD モニターのドア内の [TC GENE.] スイッチ位置が “FREE” に設定されている場合は、REC（RecRun）で記録されます。
- 音声は記録できません。オーディオレベルメーター表示には、⊘マークが表示されます。（☞ 96 ページ）
- 設定によって記録停止操作位置より多く画像が記録され “STBY” まで時間がかかることがあります。

記録したクリップの再生

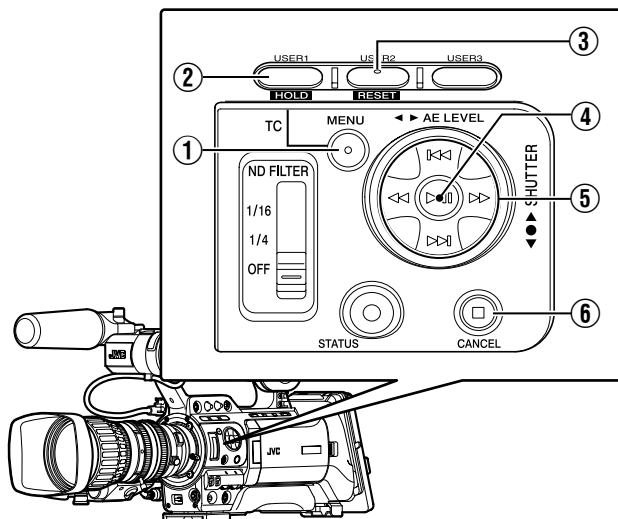
SDHC カードに記録したクリップを再生するには、メディアモード（SD カードモード）に切換えます。

カメラモード時に [CAM/MEDIA] 切換ボタンを押すと、本機は SD カードモードとなり、SDHC カードに収録されているクリップがサムネイル（縮小画）画面に表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。

メモ :
- クリップが収録されていないSDHCカードを入れた場合、“No Clips” と表示されます。

操作ボタン

サムネイル画面での操作は、本機側面操作パネル部の操作ボタンを使用します。

名称	説明
① [MENU] ボタン	サムネイル画面のメニューを表示します。メニュー表示中に押すとメニュー画面をとじ、通常画面に戻ります。
② [USER1] ボタン	選択されているクリップに OK マークを付加（または削除）します。
③ [USER2] ボタン	選択しているクリップを削除します。
④ セット（プレイ）ボタン	数値、項目を設定します。（決定） 選択したクリップを再生します。
⑤ 十字ボタン（▲▼◀▶）	▲ ：カーソルを上に移動します。 ▼ ：カーソルを下に移動します。 ◀ ：前の項目に移動、戻ります。 ▶ ：次の項目に移動、進みます。（サブメニューに入り、ポップアップメニューを表示する。）
⑥ [CANCEL]（停止）ボタン	設定をキャンセルし、前の画面に戻ります。 再生中の映像を停止します。

サムネイル画面

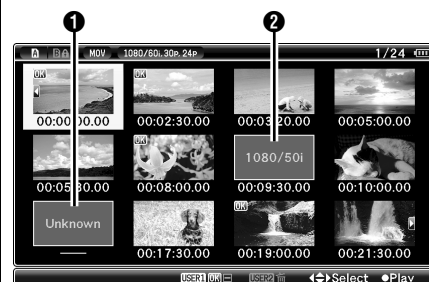
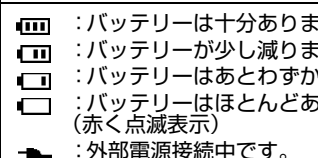
サムネイルメイン画面には「詳細プロパティなし（4 × 3 サムネイル）」と「詳細プロパティあり（4 × 1 サムネイル）」があります。

表示の切り換えはサムネイルメニュー [Detailed Properties] で行います。(☞ 61 ページ)

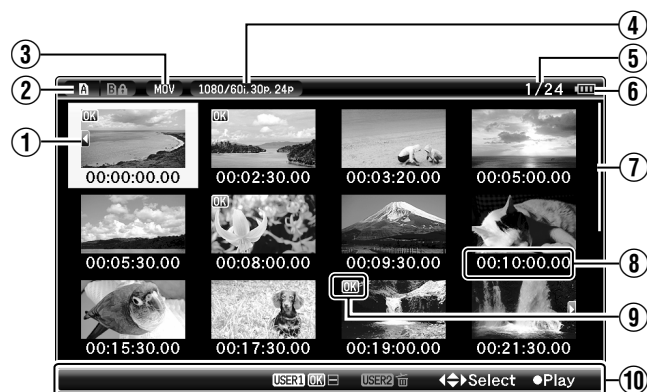
SDHC カードに記録されているクリップの先頭の 1 フレームがサムネイル（縮小画）として表示されます。

サムネイル表示は記録日時が古い順に表示されます。

■詳細プロパティなし（4 × 3 サムネイル）画面

名称	説明
① カーソル	選択されているクリップです。十字ボタン（▲▼◀▶）で移動します。 電源入力後、SDHC カード挿入後、またはメディアモード（SD カードモード）に切り換わったときのカーソル位置は最新のクリップ上にあります。 再生途中にサムネイルメイン画面に移行したとき、カーソルの位置は再生していたクリップにあります。その後、再び同じクリップを再生すると、続きから再生されます。 SDHC カードスロットを切り換えたときのカーソル初期位置は、SDHC カードを入れ換えていなければ前回選択されていたクリップを示します。 ■ カーソル移動順の例（クリップ総数 22 の場合） ページ送りをする

記録したクリップの再生 (つづき)

サムネイル画面 (つづき)

■詳細プロパティなし(4 × 3 サムネイル)画面 (つづき)

名称	説明
② SDHCカード	挿入されている SDHC カードと選択されている SDHC カード、書込み禁止スイッチの状態、修復の必要性の状態を表示します。 スロットは [SLOT SELECT] スイッチで切り換えます。スロット A、スロット B のクリップを同時に表示することはできません。 A🔒 ：スロット A の SDHC カードは書き込み禁止スイッチがセットされています。 B! ：スロット B の SDHC カードは修復、フォーマットが必要、または未対応の SDHC カードです。
③ ファイルフォーマット	現在表示対象となっているファイルフォーマットです。 ここに表示されている [File Format] 以外のクリップは表示されません。 ※ [Main Menu] 画面の [Record Set]➔[Record Format]➔[File Format] 項目の設定に依存します。(☞ 71 ページ)
④ ビデオフォーマット	再生およびサムネイル画像表示が可能であるビデオフォーマット（Camera Resolution/Frame Rate）を表示します。 [1080/60i, 30p, 24p]、[1080/50i, 25p]、[720/60p, 30p, 24p]、[720/50p, 25p] の 4 種類。ここに表示されているビデオフォーマット以外のクリップは代替表示されます。代替表示されているクリップは現在のビデオフォーマット設定では再生できません。 ❶ 管理情報が壊れてるクリップです。再生ボタンを押しても再生できません。 ❷ 現在のビデオフォーマット設定ではサムネイルの表示および再生ができないクリップです。再生ボタンを押しても再生できません。クリップのフォーマットを表す文字が表示されます。 ※ [Main Menu] 画面の [Record Set]➔[Record Format]➔[Frame & Bit Rate] 項目の設定に依存します。(☞ 71 ページ)
⑤ クリップ数	表示対象となっているクリップの [通し番号 / トータルクリップ数] を表示します。
⑥ バッテリー残量表示	：バッテリーは十分あります。 ：バッテリーが少し減りました。 ：バッテリーはあとわずかです。 ：バッテリーはほとんどありません。(赤く点滅表示) ：外部電源接続中です。 **メモ :** ● 推奨バッテリーを使用しない場合、容量を示す電池マークが表示されない場合があります。
⑦ スクロールバー	スクロール位置をあらわします。 スクロールバー（白い部分）の下に黒いスペースがある場合、続きのページがあります。 スクロールバー（白い部分）が下まできたら、最終ページです。
⑧ サムネイルテキスト	クリップ記録開始のタイムコードまたは日時を表示します。日時は撮影した場所のローカル時間で表示されます。 サムネイルメニュー [Thumbnail Text] で “TC”、“ Date/Time” どちらを表示するか設定します。(☞ 61 ページ) 日時の表示は、[Main Menu] 画面の [LCD/VF]➔[Status Display]➔[Date Style] 項目の設定に依存します。(☞ 85 ページ) ただし、時間は [Time Style] 項目の設定に依存せず必ず 24 時間表示となります。

名称	説明
⑨ クリップマーク	クリップの情報（プロパティ）が表示されます。 ❶ OK ❷ ❸ 00:02:30.00 ❶ **OK マーク** クリップに OK マークがついています。 メモ： ● OK マークの付いたクリップは本機では削除できません。 ❷ **続きマーク** 複数の SDHC カードに分割されて記録された場合、別の SDHC カードから続くクリップであることをあらわします。 ❸ **続くマーク** 複数の SDHC カードに分割されて記録された場合、別の SDHC カードへ続くクリップであることをあらわします。
⑩ 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。
◀⇔▶Select	クリップのカーソルを上下左右に動かします。
●Play	選択したクリップを再生します。
USER1 OK ⊞	選択したクリップに OK マークを付加します。クリップに OK マークがついていない場合に表示されます。(☞ 64 ページ) メモ： ● SDHC カードがロックされている場合、無効となります。（グレー表示）
USER1 OK ⊟	選択したクリップの OK マークを削除します。クリップに OK マークがついている場合に表示されます。(☞ 65 ページ) メモ： ● SDHC カードがロックされている場合、無効となります。（グレー表示）
USER2 🗑	選択しているクリップを削除します。 (☞ 62 ページ)

記録したクリップの再生 (つづき)

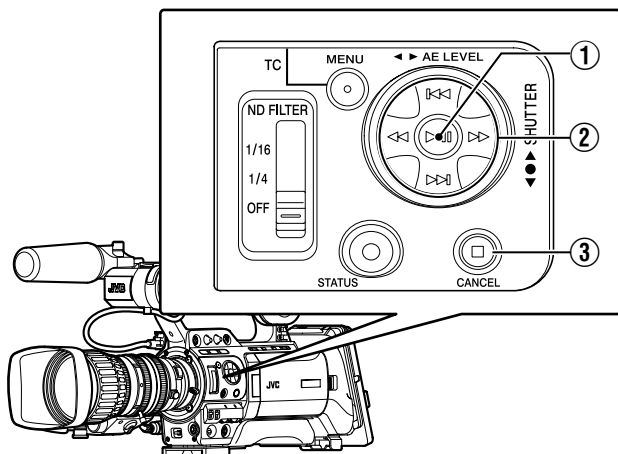
サムネイル画面 (つづき)

■詳細プロパティあり（4 × 1 サムネイル）画面

名称	説明
① カーソル	選択されているクリップです。十字ボタン（◀ ▶）で移動します。 電源入力後、SDHC カード挿入後、またはメディアモード（SD カードモード）に切り換わったときのカーソル位置は最新のクリップ上にあります。 再生途中にサムネイルメイン画面に移行したとき、カーソルの位置は再生していたクリップにあります。その後、再び同じクリップを再生すると、続きから再生されます。 SDHC カードスロットを切り換えたときのカーソル初期位置は、SDHC カードを入れ換えていなければ前回選択されていたクリップを示します。 ■ カーソル移動順の例（クリップ総数 6 の場合） 6 ◀ 1 ◀▶ 2 ◀▶ 3 ◀▶ 4 ◀▶ 5 ◀▶ 6 ▶ 1 ページ送りをする
② スクロールバー	スクロール位置をあらわします。 スクロールバー（白い部分）の右に黒いスペースがある場合、続きのページがあります。 スクロールバー（白い部分）が右端まできたら最終ページです。

名称	説明
③ 詳細プロパティ	選択されているクリップの詳細プロパティです。表示内容は下記です。 File Format ：ファイルフォーマット Clip Name ：クリップ名 Resolution ：映像サイズ Frame Rate ：フレームレート Bit Rate ：ビットレート Audio ：オーディオフォーマット Start TC ：記録を開始したときのタイムコード End TC ：記録を終了したときのタイムコード Duration ：クリップの長さ UB ：ユーザーズビット Creation Date ：作成日時 **メモ：** ● 作成日時は、年、月、日、時、分、秒、タイムゾーンの順に表記します。 ● 年、月、日の区切りは "-"、時、分、秒の区切りは ":"、日付と時間の区切りは "T" です。 ● タイムゾーンを "UTC+00:00" に設定した場合、現在時刻の最後に "Z" と表記されます。 （表示例） 2009 年 3 月 4 日 21 時 18 分 50 秒 、[UTC+09:00]（日本標準時）のとき： 2009-03-04T21:18:50+09:00 2009 年 3 月 4 日 21 時 18 分 50 秒 、[UTC+00:00]（西ヨーロッパ時間）のとき： 2009-03-04T21:18:50Z Variable Frame ：バリアブルフレーム（バリアブルフレームレック時のみ）
④ 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。
◀▶Select	クリップのカーソルを左右に動かします。
●Play	選択したクリップを再生します。
USER1 OK ⊞	選択したクリップに OK マークを付加します。クリップに OK マークがついていない場合に表示されます。(☞ 64 ページ) **メモ：** ● SDHC カードがロックされている場合、無効となります。（グレー表示）
USER1 OK ⊟	選択したクリップの OK マークを削除します。クリップに OK マークがついている場合に表示されます。(☞ 65 ページ) **メモ：** ● SDHC カードがロックされている場合、無効となります。（グレー表示）
USER2 🗑	選択しているクリップを削除します。 (☞ 62 ページ)

再生する

再生は、本機側面操作パネル部の操作ボタンで行います。

名称	説明
① ▷ǁ ボタン	選択しているクリップの再生 / 一時停止を行います。
② ⏮/⏭ ボタン	逆方向、順方向にスキップします。
◁◁/▷▷ ボタン	逆方向、順方向に倍速再生します。
③ □ ボタン	再生を停止します。

1 サムネイル画面で、再生したいクリップを選択する

十字ボタン（▲▼◀ ▶）で再生したいクリップを選択します。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す

選択したクリップの再生が始まります。

■タイムコード再生

SDHC カードに記録されたタイムコードまたはユーザーズビットを LCD モニターおよびビューファインダーに表示できます。

メモ :

- [A/V Out] メニュー画面で [HD/SD-SDI Out] 項目を “HD-SDI” か “SD-SDI” に設定した場合、タイムコードは [HD/SD-SDI] 出力端子からも出力されます。（☞ 86 ページ）
- [HD/SD-SDI] 出力端子から出力されるユーザーズビットは、有効画像信号判別フラグとして利用されるため、正確な値が出力されません。
- 再生中にタイムコードの記録されてない部分があった場合、タイムコードはとまります。ただし再生は継続します。

サムネイルメニュー

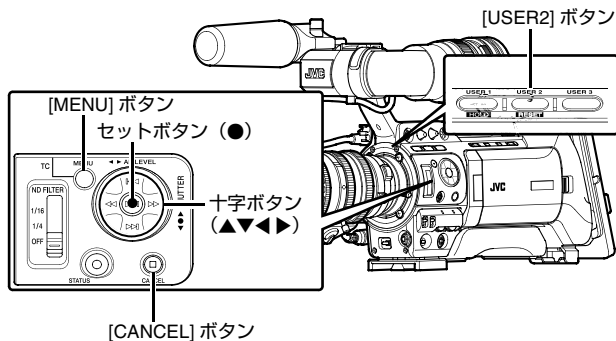
サムネイル表示中に [MENU] ボタンを押すと、サムネイルメニューが表示されます。

メニュー表示中に、[MENU] ボタンを押すと、設定をキャンセルし、メニュー画面を終了します。

サムネイルメニュー画面

項目		機能
Media info		SDHC カードの情報画面が表示されます。
Detailed Properties		サムネイル画面の表示方法を選択します。 チェックをつけると、サムネイル画面は、[詳細プロパティあり（4 × 1 サムネイル）画面] 表示となります。(☞ 60 ページ)
Thumbnail Text...		サムネイル画面に表示される、サムネイルテキストの表示方法を選択します。
	TC	サムネイルテキスト表示部（サムネイルの下）に記録開始タイムコードを表示します。
	Date/Time	サムネイルテキスト表示部（サムネイルの下）に記録開始日時を表示します。
Delete Clip...		クリップの削除を行います。(☞ 62 ページ)
	One Clip	選択しているクリップを削除します。
	All Clips	表示対象となっているクリップすべてを削除します。
Main Menu...		[Main Menu] 画面をひらきます。(☞ 70 ページ)
Exit		メニューを終了してとじます。

クリップの削除

クリップの削除を行います。

ご注意：
- OK マークの付いたクリップは本機では削除できません。
- パソコンなどで、読み込み専用にしたクリップは削除できます。

ひとつのクリップを削除する

下記どちらかの操作で、選択されているクリップ（１つ）を削除できます。

① メニュー非表示中に [USER2] ボタンを押す。

② サムネイルメニューの[Delete Clip]➔[One Clip]を実行する。

メモ：
- 下記の場合、[USER2] ボタンおよびメニュー操作（[Delete Clip]➔[One Clip]）によるクリップ削除はできません。
  - OKマークが付加されているクリップを選んでいるとき。
  - 書き込み禁止スイッチがセットされている（🔒が表示）SDHC カード。

■サムネイル画面時

■ [USER2] ボタンで削除する

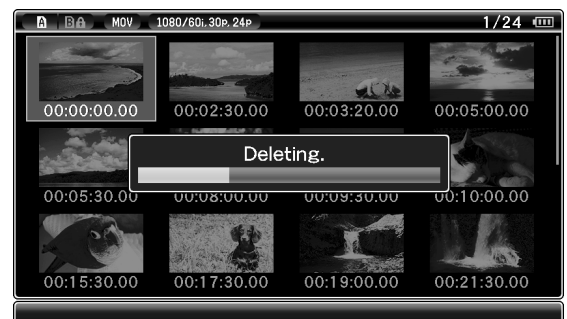
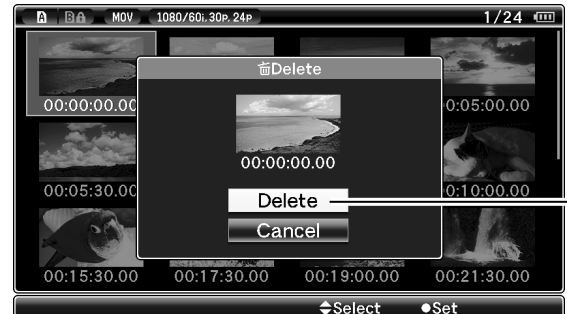
1 削除するクリップを選択する

十字ボタン（▲▼◀ ▶）で、削除したいクリップを選択します。

2 [USER2] ボタンを押す。

削除確認画面が表示されます。

3 十字ボタン（▲▼）で [Delete] を選択しセットボタン（●）を押す

削除が実行されます。

メモ：
- 削除実行中は操作できません。削除をキャンセルすることもできません。
- 削除後、カーソルは次のクリップ（存在しなければ前のクリップ）に移動します。

■ メニューの [Delete Clip]➔[One Clip] で削除する

1 削除するクリップを選択する

十字ボタン（▲▼◀ ▶）で、削除したいクリップを選択します。

2 [MENU] ボタンを押す

サムネイルメニュー画面が表示されます。

3 [Delete Clip]➔[One Clip] 項目を選択しセットボタン（●）を押す

削除確認画面が表示されます。

4 十字ボタン（▲▼）で [Delete] を選択し、セットボタン（●）を押す

削除が実行されます。

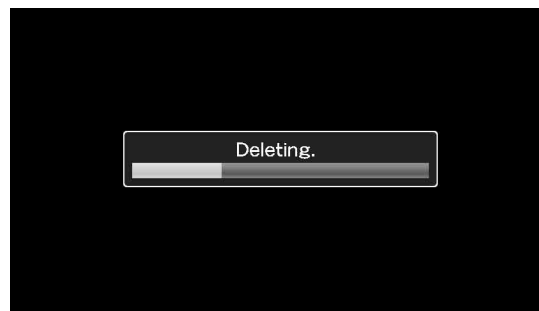
メモ：
- 削除実行中は操作できません。削除をキャンセルすることもできません。
- 削除後、カーソルは次のクリップ（存在しなければ前のクリップ）に移動します。

■再生または一時停止画面時

■ [USER2] ボタンで削除する

1 クリップ再生中に [USER2] ボタンを押す

削除確認画面が表示されます。

2 [Delete] を選択し、セットボタン（●）を押す

削除が実行されます。

すべてのクリップを削除する

表示対象となっているクリップすべてを削除します。

1 [MENU] ボタンを押す

サムネイルメニュー画面が表示されます

2 メニューの [Delete Clip]➔[All Clips] を選択する

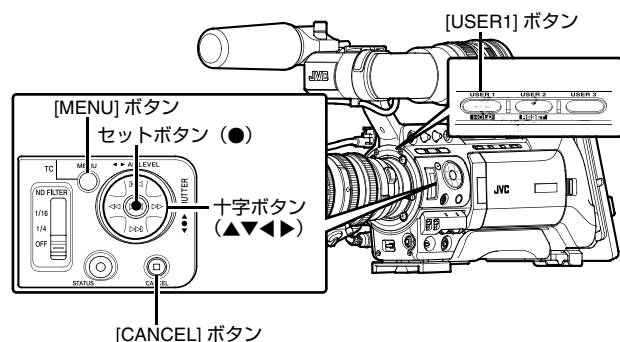
削除確認画面が表示されます。

3 [Delete] を選択しセットボタン（●）を押す

削除が実行されます。

メモ：
- 削除実行中は操作できません。削除をキャンセルすることもできません。
- 削除の処理時間は削除対象のクリップ数によります。

OK マークの付加と削除

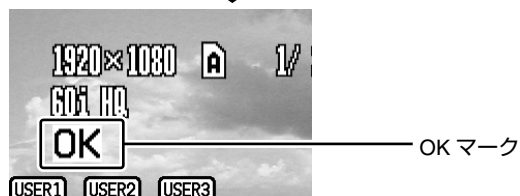
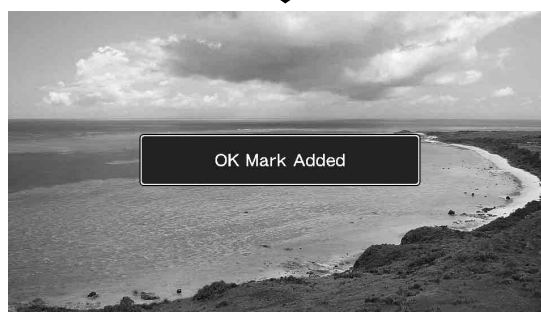
重要なシーンを撮影した場合など、クリップに OK マークをつけることができます。
OK マークを付加したクリップは削除ができなくなり、重要なクリップを保護することができます。
メディアモード（SD カードモード）では、記録中に付加したマークを削除したり、撮影後にマークを付加・削除することができます。

OK マークの付加

■サムネイル画面時

1 OK マークが付加されていないクリップを選択し、[USER1] ボタンを押す
OK マークが付加されます。

メモ：
- 書き込み禁止スイッチがセットされている（🔒が表示）SDHC カードの場合、[USER1] ボタンが無効（グレー表示）となり OK マークの付加はできません。
- マーク変更中は “OK Mark Added...” と表示されて他の操作ができません。

■再生または一時停止画面時

1 クリップ再生中に [USER1] ボタンを押す
OK マークが付加されます。

メモ：
- クリップ再生中に OK マークの付加や削除を行なった場合、クリップは一時停止状態になります。

OK マークの削除

■サムネイル画面時

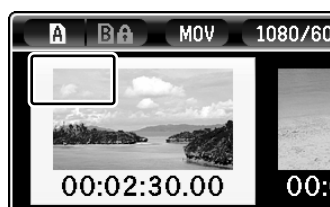
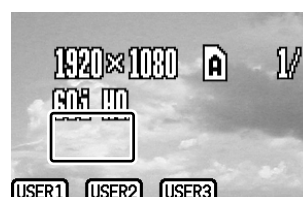
1 OK マークを削除するクリップを選択し、[USER1] ボタンを押す

OK マークが削除されます。

■再生または一時停止画面時

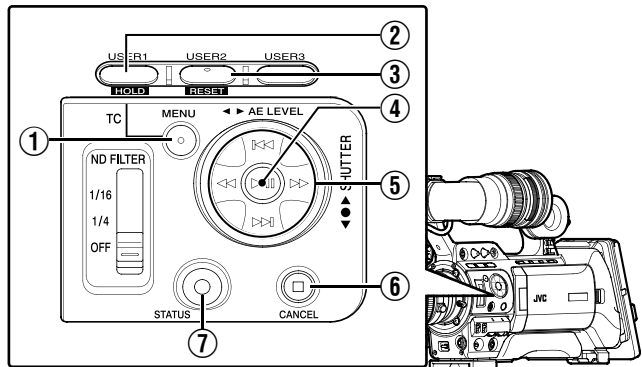
1 OK マークがついたクリップの再生中に [USER1] ボタンを押す

OK マークが削除されます。

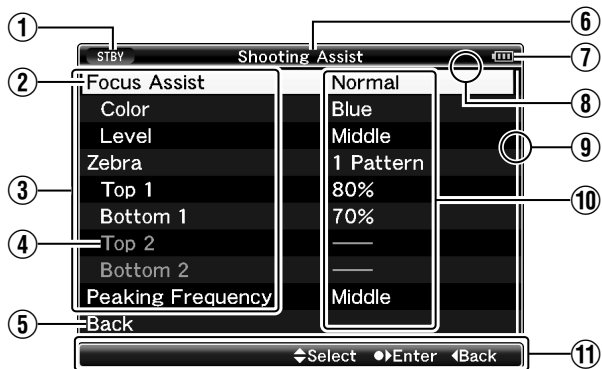
メモ :

- 書き込み禁止スイッチがセットされている（ が表示）SDHC カードの場合、[USER1] ボタンが無効（グレー表示）となり OK マークの削除はできません。
- マーク変更中は “OK Mark Added...”/“OK Mark Deleted...” と表示され、他の操作ができません。

メニュー画面での基本操作

本機側面操作パネル部の [MENU] ボタンを押すと、LCD モニターやビューファインダーにメニュー画面が表示されます。
メニュー画面では、撮影・再生などに必要なさまざまな設定を行います。
メニュー画面には、[Main Menu] 画面と [Favorites Menu] 画面の 2 種類があります。
[Main Menu] はカメラレコーダーすべての設定項目を機能・用途別に分類したメニューであり、[Favorites Menu] はユーザーが自由にメニュー項目をカスタマイズできるメニューです。(☞ 90 ページ)
操作方法や主な画面表示に関しては、両メニュー画面とも同じです。
メニュー画面は、映像信号出力端子に接続した外部モニターに表示することもできます。
(☞ 86 ページ [Analog Out Char.])
(☞ 86 ページ [SDI Out Char.])

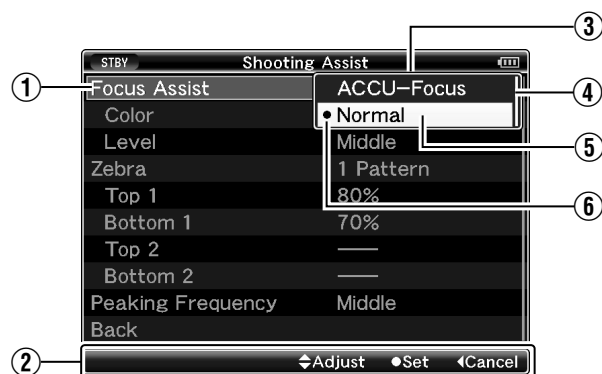
操作ボタン

メニュー操作は、本機側面操作パネル部の操作ボタンを使用します。

名称	説明
① [MENU] ボタン	メニュー画面を表示させせます。(工場出荷状態では、[Main Menu] が表示される) 通常使用時、前回のメニュー操作が [Main Menu]で終了した場合には[Main Menu] が表示され、[Favorites Menu] で終了した場合には [Favorites Menu] が表示されます。 メニュー表示中に押すとメニュー画面をとじ、通常画面に戻ります。
② [USER1] ボタン	選択しているメニュー項目またはサブメニュー項目を [Favorites Menu] に登録します。(☞ 90 ページ)
③ [USER2] ボタン	[TC Preset]、[UB Preset] 設定画面のとき、設定をリセットします。それ以外の画面のときは無効です。
④ セットボタン (●)	数値、項目を設定します。
⑤ 十字ボタン (▲▼◀ ▶)	▲:カーソルを上に移動します。 ▼:カーソルを下に移動します。 ◀:前の項目に移動、戻ります。 ▶:次の項目に移動、進みます。
⑥ [CANCEL] ボタン	設定をキャンセルし、前の画面に戻ります。
⑦ [STATUS] ボタン	[Main Menu] 画面と [Favorites Menu] 画面を切り換えます。

メニュー画面の表示と説明

■メニュー項目選択中の画面

名称	説明
① 状態表示	記録・再生など。現在の状態を表示します。ステータス画面と同じ表示です。 ■ カメラモード時: [STBY]、[REC] など。(☞ 94 ページ) ■ メディアモード(SD カードモード)時: [PLAY]、[STILL] など。(☞ 101 ページ)
② カーソル	選択されている項目です。十字ボタン (▲▼)で移動します。
③ メニュー項目	メニュー項目名、サブメニュー名を表示します。 メニュー項目のあとに [...] と表示されているメニューはサブメニューがあります。
④ 変更不可項目	変更できない項目は、グレーで表示され、選択できません。
⑤ [Back] バック項目	[Back] を選択し、セットボタン(●)を押すと前の階層にもどります。
⑥ メニュータイトル	現在表示されているメニューのタイトルです。
⑦ バッテリー残量表示	:バッテリーは十分あります。 :バッテリーが少し減りました。 :バッテリーはあとわずかです。 :バッテリーはほとんどありません。(赤く点滅表示) :外部電源接続中です。 **メモ:** ● 推奨バッテリーを使用しない場合、容量を示す電池マークが表示されない場合があります。

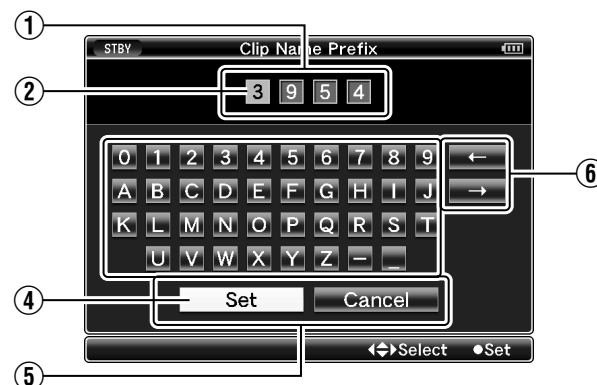
名称	説明
⑧ ヘッダー	ラインの色で現在のメニュー画面の種類を表します。 青　：[Main Menu] 緑　：[Favorites Menu](操作画面) 赤紫　：[Favorites Menu](編集画面)
⑨ スクロールバー	スクロール位置をあらわします。
⑩ 設定値	メニュー項目の設定値です。 サブメニューがあるメニューの場合は表示されません。
⑪ 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。

■設定値変更中

名称	説明
① 変更中メニュー項目	これから変更しようとするメニュー項目です。 ポップアップで設定値一覧 ③ が表示されます。
② 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。
③ 設定値一覧	設定可能な設定値が一覧表示されるポップアップです。 ポップアップ部の高さは設定値の項目数により変わります。スクロールバー ④ で現在の表示状態を確認できます。
④ スクロールバー	スクロール位置をあらわします。
⑤ カーソル	選択されている項目です。十字ボタン（▲▼）で移動します。
⑥ 変更前の設定値	変更前の設定値です。項目の先頭に ● が表示されます。

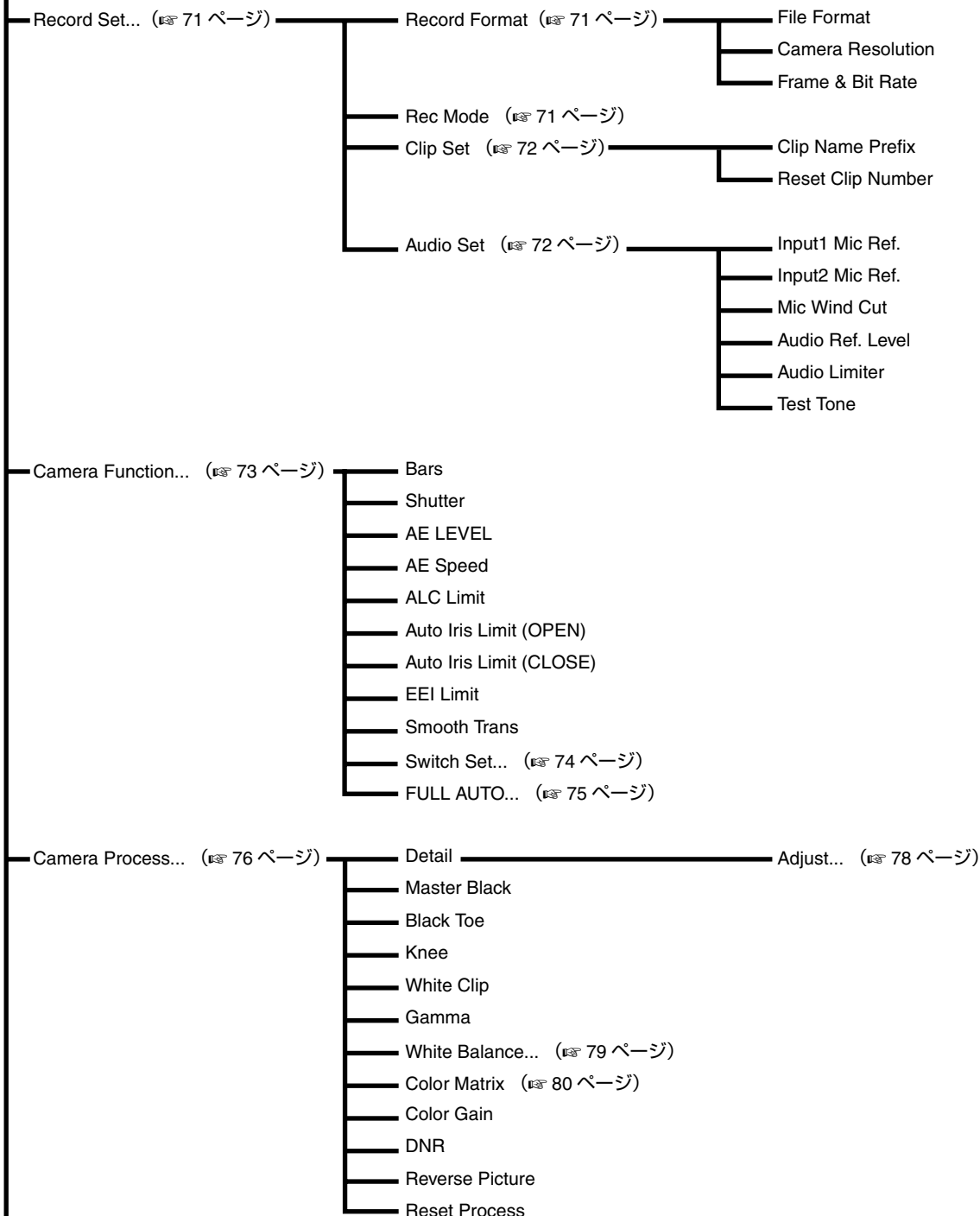
ソフトウェアキーボードでの文字入力

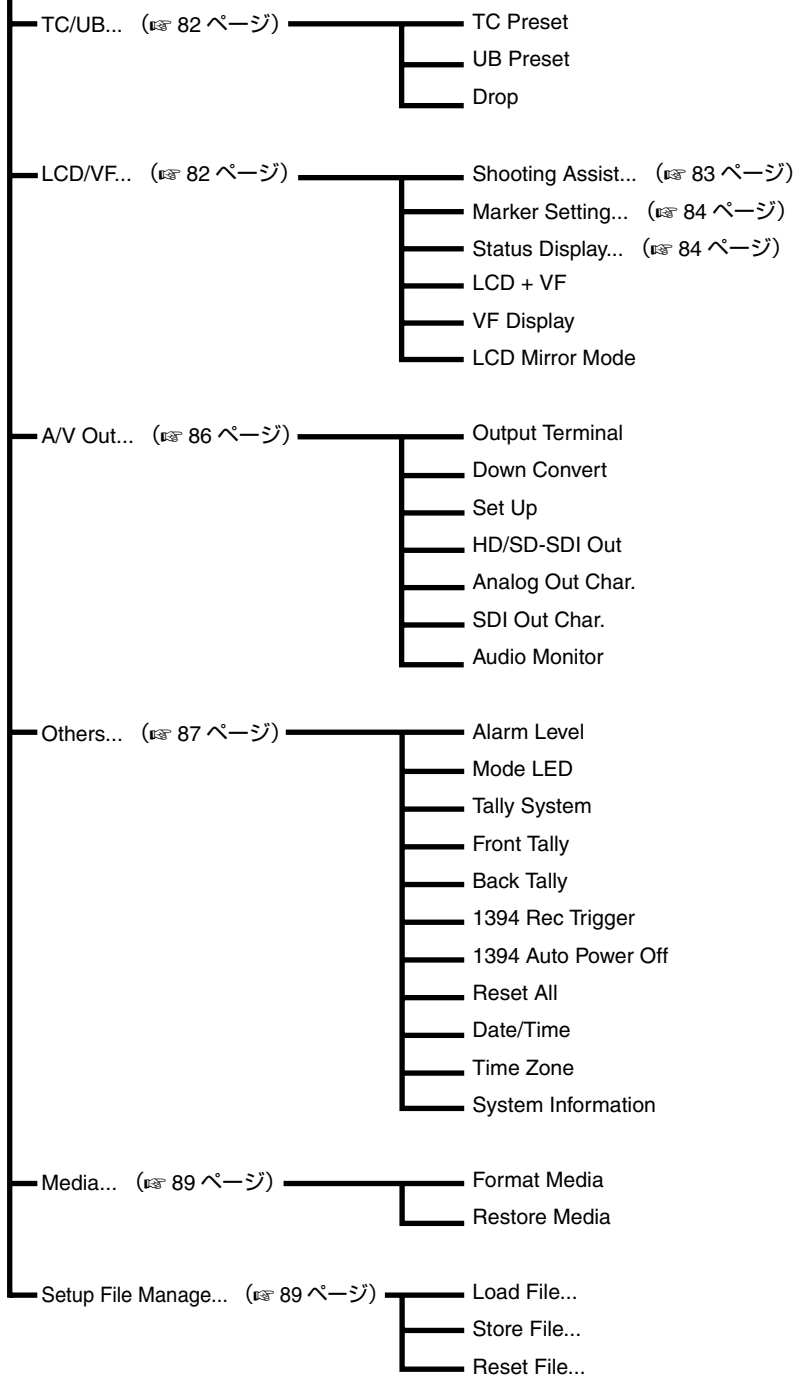
[Scene File]/[Picture File] のサブネームの入力、[Clip Name Prefix] の入力に使用します。

■[Scene File]/[Picture File]（☞ 112 ページ）

■[Clip Name Prefix]（☞ 72 ページ）

名称	説明
① 文字入力枠	タイトル入力枠です。 [Scene File]/[Picture File] のサブネームは 8 文字、[Clip Name Prefix] は 4 文字まで入力できます。
② 文字カーソル	ボタンカーソル ④ を移動して文字を選択し、セットボタン（●）を押すと文字カーソルがある位置に文字が入力され、文字カーソルが右に移動します。 文字カーソル移動ボタン ⑥ でカーソルの位置を移動できます。
③ 文字ボタン	十字ボタン（▲▼◀▶）でボタンカーソル ④ を移動させ、入力する文字を選択します。
④ ボタンカーソル	選択されている文字・項目です。十字ボタン（▲▼◀▶）で移動します。
⑤ 動作決定ボタン	[Set]/[Store] を選択しセットボタン（●）を押すとタイトルが決定されます。 [Cancel] を選択し、本体側面操作パネルのセットボタン（●）を押すと文字入力が破棄され、前の画面に戻ります。
⑥ 文字カーソル移動ボタン	文字カーソル ② の位置を移動します。
⑦ [BS] バックスペースボタン	[BS] を選択し、本体側面操作パネルのセットボタン（●）を押すと、文字カーソル ② の左にある文字が削除されます。
⑧ [SP] スペースボタン	[SP] を選択し、本体側面操作パネルのセットボタン（●）を押すと、文字カーソル ② にスペースが入力されます。

メニュー画面の階層一覧

メモ：

● 省略してありますが、すべての項目の最後に [Back] 項目があります。[Back] を選択し、セットボタン（●）を押すと前の階層にもどります。

メモ :

- 省略してありますが、すべての項目の最後に [Back] 項目があります。[Back] を選択し、セットボタン（●）を押すと前の階層にもどります。

Main Menu 画面

カメラの動作モードや動作の状態によって、設定できないメニューはグレー表示となり選択できません。

項目	機能
Record Set...	撮影および再生時の映像、音声に関する設定をするためのメニュー画面です。 本機が記録動作中・メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。（☞ 71 ページ）
Camera Function...	カメラ撮影時の操作モードを設定するためのメニュー画面です。 カメラモード時以外、カーソルはこの項目に移動しません。（☞ 73 ページ）
Camera Process...	カメラ映像の画質調整に関するメニュー画面を表示します。 メディアモード時はカーソルはこの項目に移動しません。 （☞ 76 ページ）
TC/UB...	タイムコード、ユーザーズビットを設定するためのメニュー画面です。 本機が記録動作中、カーソルはこの項目に移動しません。 （☞ 82 ページ）
LCD/VF...	LCD モニター画面やビューファインダー画面に関する設定を行います。 フォーカスアシストモード、ゼブラ設定画像表示、画面サイズ、マーカー、セーフティーゾーンの設定、LCD モニター画面やビューファインダー画面へのキャラクター表示の選択や LCD モニター画面の画質調整に関するメニュー画面です。 メディアモード時はカーソルはこの項目に移動しません。 （☞ 82 ページ）
A/V Out...	外部機器との接続に関する設定を行います。 （☞ 86 ページ）
Others...	その他の機能に関する設定をするためのメニュー画面です。 アラーム音量、フロント・バックタリーランプの設定、状態表示ランプ、1394 入力に関する設定、日付・時刻、タイムゾーンなどを設定します。また、メニュー設定内容を初期設定値にリセットすることもできます。 （☞ 87 ページ）
Media...	SDHC カードのフォーマットや修復を行います。（☞ 89 ページ）
Setup File Manage...	[Setup File Manage] メニュー画面を表示します。 メニュー画面の設定内容をファイルとして本機または SDHC カードに保存したり、保存したファイルのメニュー画面の設定を呼び出します。 本機が記録動作中・メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。 （☞ 89 ページ）
Exit	この項目を選択し、セットボタン（●）を押すと、通常画面に戻ります。

Record Set メニュー

Record Format メニュー

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
File Format	**QuickTime** MP4	SDHC カードに記録するファイル形式を選択します。 **ご注意 :** ● “MP4” は KA-MR100G (Memory Recorder) を接続したときのみ選択できます。
Camera Resolution	**1920x1080** 1440x1080、1280x720	記録画像のサイズを選択します。(水平×垂直) 本項目の設定によって、[Frame & Bit Rate] 項目の設定値の選択肢がかわります。
Frame & Bit Rate		フレームレートおよびエンコードのビットレートを選択します。 フレームレート (60p, 50p, 30p, 25p, 24p, 60i, 50i) とビットレート (HQ(35Mbps) VBR)、(SP(25 Mbps/19 Mbps) CBR) の 19 種類の組み合わせの中から選択します。 [File Format] および [Camera Resolution] の設定によって、選択できる項目がかわります。
[Camera Resolution] が “1280x720” の場合	**60p(HQ)** 、 60p(SP)、30p(HQ)、30p(SP)、50p(HQ) 50p(SP) 、25p(HQ)、25p(SP)、24p(HQ)、24p(SP)	
[Camera Resolution] が “1440x1080” で、[File Format] が “QuickTime” の場合	**60i(HQ)** 、 60i(SP)、50i(HQ)、50i(SP)	
[Camera Resolution] が “1440x1080” で、[File Format] が “MP4” の場合	**60i(SP)** 50i(SP)	
[Camera Resolution] が “1920x1080” の場合	**60i(HQ)** 、 30p(HQ)、50i(HQ)、 25p(HQ)、24p(HQ)	

Rec Mode メニュー

項目	設定値	機能
Rec Mode	**Normal** Pre Rec Clip Continuous Variable Frame	SDHC カードへの記録モードを選択します。(☞ 54 ページ) **メモ :** ● [Variable Frame] は、[Camera Resolution] 項目が “1280x720”、[Frame & Bit Rate] 項目が “30p(HQ)”、“24p(HQ)”、“25p(HQ)” の場合、有効になります。
Frame Rate		[Rec Mode] 項目を [Variable Frame] に設定した場合、記録時の [Frame Rate] を設定します。 **メモ :** ● [Main Menu]➡[Camera Function]➡[Switch Set] メニューで、[AE LEVEL] 項目を “AE LEVEL/VFR” に設定すると、バリアブルフレームレック時は十字ボタン（◀▶）でフレームレートを選択できます。十字ボタン（◀▶）はバリアブルフレームレックモード以外のときは [AE LEVEL] の設定ボタンになります。(☞ 75 ページ) ● [Frame Rate] 項目を変更することによって、現在の [Frame Rate] では設定できないシャッタースピードとなった場合は、強制的に現在の [Frame Rate] で設定可能なシャッタースピードに変更されます。
[Frame & Bit Rate] が “30p(HQ)” の場合	60、48、40、 **30**、 24、20、15、12、10	
[Frame & Bit Rate] が “24p(HQ)” の場合	60、48、40、30、 **24**、 20、15、12、10	
[Frame & Bit Rate] が “25p(HQ)” の場合	50、40、 **25**、 20、15、12.5、10	

Record Set メニュー (つづき)

Clip Set メニュー

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Clip Name Prefix	**xxxG** （xxx の初期値はシリアル番号の下 3 桁。）	SDHC カードへ記録するクリップのファイル名の前 4 文字を設定します。 英字アルファベット（大文字）、数字（0 から 9）、_（アンダースコア）、－（ハイフン）の 38 文字から、ソフトウエアキーボードを使って入力します。 (☞ 67 ページ [ソフトウェアキーボードでの文字入力])
Reset Clip Number	―	クリップ番号 (Clip Number) をふりなおしたいときに、クリップ番号をリセット (0001) できます。[Reset] を選択しセットボタン（●）を押すと、番号がリセットされます。 SDHC カードにすでにクリップが存在するときは、空き番号の中で一番小さな数値が設定されます。 設定例） [Clip Name Prefix] が “ABCD” で SDHC カードに “ABCD0001” が存在する場合、“ABCD0002” が設定されます。

Audio Set メニュー

項目	設定値	機能
Input1 Mic Ref.	-50dB **-60dB**	[AUDIO INPUT1] ボタンの設定が “MIC” または “MIC+48V” の場合、入力レベルの基準を設定します。 -50dB ：-50 dB を基準とします。 -60dB ：-60 dB を基準とします。
Input2 Mic Ref.	-50dB **-60dB**	[AUDIO INPUT2] ボタンの設定が “MIC” または “MIC+48V” の場合、入力レベルの基準を設定します。 -50dB ：-50 dB を基準とします。 -60dB ：-60 dB を基準とします。
Mic Wind Cut	Both Input2 Input1 **Off**	[AUDIO INPUT 1/2] ボタンの設定が “MIC” または “MIC+48V” の場合、オーディオ入力信号のロー（低域部）をカットするかどうかを設定します。マイクの風切り音を小さくしたい場合に設定します。 Both ：[INPUT1]/[INPUT2] 両方の端子の音声をローカットします。 Input2 ：[INPUT2] 端子の音声のみローカットします。 Input1 ：[INPUT1] 端子の音声のみローカットします。 Off ：ローカットしない。
Audio Ref. Level	-12dB **-20dB**	SDHC カードへの録音基準レベルを設定します。([CH1/CH2] 共通です。) -20dB：メータが -20 d BFS 振れたとき基準レベルの信号を出力します。 -12dB：メータが -12 d BFS 振れたとき基準レベルの信号を出力します。
Audio Limiter	**On** Off	[AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチが “MANUAL” のとき、リミッターをはたらかせるかどうかを設定します。 On ：過大オーディオ信号が入力された場合、リミッターがはたらき、録音レベルが圧縮されます。 Off ：リミッターをはたらかせません。
Test Tone	On **Off**	カラーバー出力時、オーディオテスト信号（1 kHz）を出力するかどうかを設定します。 On ：オーディオテスト信号を出力します。 Off ：オーディオテスト信号を出力しません。

Camera Function メニュー

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Bars	On **Off**	カラーバーを出力するかどうか設定します。 On　：カラーバーが出力されます。 Off　：カラーバーを出力しません。 **メモ：** ● 本機の [FULL AUTO] スイッチが “ON” で、[FULL AUTO] メニューの [Bars] 項目が “Off” のときは “Off” に固定されます。（☞ 75 ページ）
Shutter	EEI Variable **Step**	シャッターに関する設定を行います。 本機、右側面部の十字ボタン（▲▼）で操作する場合、可変する値を “Step”（固定値）か “Variable” に設定します。自動制御にする場合は “EEI” に設定します。 EEI　：自動制御に設定します。 Variable ：バリアブルスキャンに設定します。コンピューターモニターなどを撮影するときなどに設定します。 Step　：固定値でシャッタースピードを切り換える、ステップシャッターに設定します。
AE LEVEL	+3 ～ +1、 **Normal、** -1 ～ -3	AE（AUTO EXPOSURE）時の収束レベルを設定します。 本機、右側面部の十字ボタン（◀▶）でも調節可能です。
AE Speed	**Fast** Middle Slow	AE（AUTO EXPOSURE）時の収束スピードを設定します。
ALC Limit	**18dB** 12dB 6dB	明るさによって電気増感レベルを自動的に切り換える “ALC” 動作の最大ゲイン値を設定します。 18dB ：ALC 最大ゲイン値を +18 dB とします。 12dB ：ALC 最大ゲイン値を +12 dB とします。 6dB　：ALC 最大ゲイン値を +6 dB とします。
Auto Iris Limit (OPEN)	F5.6、F4、F2.8、F2、 **F1.6、** F1.4	オートアイリス動作時の OPEN 側の限界値を設定します。
Auto Iris Limit (CLOSE)	F16、 **F11、** F8、F5.6、	オートアイリス動作時の CLOSE 側の限界値を設定します。
EEI Limit	4F-stop **3F-stop** 2F-stop	EEI 動作時のシャッタースピード制御範囲を設定します。 4F-stop：EEI をアイリス制御 4 絞り分動作させます。 3F-stop：EEI をアイリス制御 3 絞り分動作させます。 2F-stop：EEI をアイリス制御 2 絞り分動作させます。
Smooth Trans	Fast Middle Slow **Off**	[GAIN] 選択スイッチや [WHT.BAL] 選択スイッチの急激な変化をやめ徐々に変化させる、切り換えショック軽減機能の設定を行います。 ただし、本機の [FULL AUTO] スイッチが “ON” のときおよび “ALC” に設定した感度選択スイッチを切り換えたときははたらきません。 Fast　：スムーストランス機能を高速動作させます。 Middle ：スムーストランス機能を中速動作させます。 Slow　：スムーストランス機能を低速動作させます。 Off　：スムーストランス機能を動作させません。
Switch Set...	本機、スイッチに関する設定を行います。（☞ 74 ページ）	
FULL AUTO...	本機の [FULL AUTO] スイッチが “ON” の場合の動作に関する設定を行います。（☞ 75 ページ）	

Camera Function メニュー (つづき)

Switch Set 項目

※工場出荷値は太字。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定値</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>FAW</td><td>None
PRESET
A
B</td><td>FAW（フルタイムオートホワイトバランス）の機能を [WHT.BAL] 選択スイッチのどこに割り付けるかを設定します。
本機の [FULL AUTO] スイッチが “ON” のときは “FAW” 固定となります。
None　　：FAW 機能を割り付けません。
PRESET：PRESET ポジションに FAW を割り付けます。
A　　　：A ポジションに FAW を割り付けます。
B　　　：B ポジションに FAW を割り付けます。</td></tr>
<tr><td>GAIN L
GAIN M
GAIN H</td><td>ALC、18dB、15dB、12dB、9dB、6dB、3dB、0dB</td><td>[GAIN] 感度選択スイッチの各ポジションにゲインの値を設定します。
本機の [FULL AUTO] スイッチが “ON” のときは “ALC” 固定となります。
（初期値　GAIN L：0dB、GAIN M：9dB、GAIN H：18dB）</td></tr>
<tr><td>USER1
USER2
USER3</td><td colspan="2">[USER1]/[USER2]/[USER3] ボタンに下記メニュー機能をそれぞれのボタンに 1 つ割り付けることで、設定した機能の操作（オン / オフ、起動、切り換え）が可能となります。
撮影条件に合わせて設定してください。カメラモード時のみ使用できます。
（初期値　USER1：Bars、USER2：B.Compress3、USER3：Load File）
<table>
<tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>None</td><td>機能を割り付けません。</td></tr>
<tr><td>Preset Temp.</td><td>[Camera Process] メニュー [White Balance] の [Preset Temp.] 項目の機能を割り付けます。(☞ 79 ページ)</td></tr>
<tr><td>Bars</td><td>[Camera Function] メニューの [Bars] 項目の機能を割り付けます。（☞ 73 ページ）</td></tr>
<tr><td>Load File</td><td>[Setup File Manage] メニューの [Load File] 項目の機能を割り付けます。（☞ 89 ページ）</td></tr>
<tr><td>Clip Review</td><td>クリップレビュー機能を割り付けます。(☞ 52 ページ)</td></tr>
<tr><td>B.Stretch1
B.Stretch2
B.Stretch3
B.Stretch4
B.Stretch5
B.Compress1
B.Compress2
B.Compress3
B.Compress4
B.Compress5</td><td>[Camera Process] メニュー [Black Toe] の [Stretch Level] と [Compress Level] 項目の機能を割り付けます。(☞ 76 ページ)</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>LENS RET</td><td>Clip Review
OK Mark
Focus Assist</td><td>レンズの [RET] ボタンに機能を割り付けます。ご使用のレンズに [RET] ボタンが無い場合は、機能しません。
Clip Review　：[RET] ボタンにクリップレビュー機能を割り付けます。(☞ 52 ページ)
OK Mark　　：[RET] ボタンに OK マーク機能を割り付けます。撮影時に操作します。(☞ 54 ページ)
Focus Assist　：[RET] ボタンにフォーカスアシスト機能を割り付けます。(☞ 35 ページ)</td></tr>
<tr><td>　Clip Review</td><td>Last 5 sec
Top 5 sec
CLIP</td><td>[LENS RET] 項目を “Clip Review” に設定した場合の動作設定を行います。
Last 5 sec ：クリップの最後の約 5 秒間を見ます。
Top 5 sec ：クリップの先頭から約 5 秒間を見ます。
CLIP　　　：クリップ全体を見ます。
メモ :
● [LENS RET] 項目を “Clip Review” に設定時、または [USER1]/[USER2]/[USER3] 項目のいずれかが “Clip Review” に設定されている場合に選択可能です。</td></tr>
</table>

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
SKIN A./SPOT M.	**Skin Area** Spot Meter	本機 [SKIN AREA/SPOT METER] スイッチの機能を割り付けます。 Skin Area ：スキンディテール機能とそのエリア表示機能を割り付けます。 Spot Meter ：スポットメーター表示機能を割り付けます。 **メモ:** ● "Skin Area" を選択した場合、[Skin Detect] 項目を "Off" に設定しても、[SKIN AREA/SPOT METER] スイッチを倒しているあいだは [Skin Detect] は強制的に "On" となります。[Skin Detect] 項目を "Off" にし、必要なときだけレバーを倒すことで、スキンディテール機能の On/Off 動作をすばやく切り換えることができます。(☞ 78 ページ)
SPOT METER	**Max&Min** Min Max Manual	[Spot Meter] の動作設定を行います。(☞ 51 ページ) Max&Min ：画像の最も明るいところと暗いところのエリアを表示します。 Min ：画像の最も暗いところのエリアを表示します。 Max ：画像の最も明るいところのエリアを表示します。 Manual ：任意の場所の画像の明るさを表示します。 **メモ:** ● [SKIN A./SPOT M.] 項目を "Spot Meter" に設定した場合に選択可能です。"Skin Area" に設定時は、"---" と表示され選択できません。 ● 本項目を、"Max&Min"、"Min"、"Max" に設定した場合、位置自動検出として動作、"Manual" に設定した場合、固定位置として動作します。
AE LEVEL	AE LEVEL/VFR **AE LEVEL** Disable	本機、右側面部の十字ボタン（◀ ▶）の動作設定をします。 AE LEVEL/VFR：バリアブルフレームレック時、フレーム数設定として、それ以外は AE LEVEL 設定機能として動作します。(☞ 56 ページ) AE LEVEL ：常に AE LEVEL 設定ボタンとして動作します。 Disable ：ボタン操作を無効にします。

FULL AUTO 項目

本機の [FULL AUTO] スイッチが "ON" の場合、どの機能をオートにするかを設定します。

項目	設定値	機能
Gain	SW Set **ALC**	SW Set ：ゲインの動作は、[GAIN] 選択スイッチの設定に従います。 ALC ：ゲインを "ALC"（強制オート）にします。 **メモ:** ● リモートコントロールユニットに FAS 機能がある場合、"ALC" に固定され選択不可となります。(☞ 119 ページ)
Iris Control	Off **Auto**	Off ：アイリス制御を行いません。 Auto ：アイリス制御を強制オートにします。 **メモ:** ● リモートコントロールユニットに FAS 機能がある場合、"Auto" に固定され選択不可となります。(☞ 119 ページ) ● レンズのアイリスモードスイッチが "A"（オート）の場合、本項目を "Auto" から "Off" に変更した時点で、アイリスは固定されます。
Shutter	SW Set **EEI**	SW Set：シャッター動作は、スイッチの設定に従います。 EEI ：シャッターを強制オートにします。 **メモ:** ● リモートコントロールユニットに FAS 機能がある場合、"EEI" に固定され選択不可となります。(☞ 119 ページ)
White Balance	SW Set **FAW**	SW Set：ホワイトバランス動作は、[WHT.BAL] スイッチの設定に従います。 FAW ：ホワイトバランスを強制オートにします。 **メモ:** ● リモートコントロールユニットに FAS 機能がある場合、"FAW" に固定され選択不可となります。(☞ 119 ページ)
Bars	Menu Set **Off**	Menu Set ：カラーバー出力はメニュー（スイッチ操作による）設定に従います。 Off ：カラーバー出力を強制 Off にします。 **メモ:** ● リモートコントロールユニットに FAS 機能がある場合、"Off" に固定され選択不可となります。(☞ 119 ページ)
Audio	SW Set **Auto**	SW Set：オーディオ記録レベルは、スイッチの設定に従います。 Auto ：オーディオ記録レベルを強制オートにします。

Camera Process メニュー

※工場出荷値は太字。

項目		設定値	機能
Detail		Max、9 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -9、Min、Off	輪郭（ディテール）強調レベルの調整を行います。 数字を大きく　：輪郭をシャープにする。 数字を小さく　：輪郭をソフトにする。 Off　：運動しません。
	Adjust...	輪郭（ディテール）の詳細設定を行います。（☞ 78 ページ） メモ : ● [Detail] 項目を “Off” に設定時は選択できません。	
Master Black		Max、9 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -9、Min	黒の基準となるペデスタルレベル（マスターブラック）の調整を行います。 数字を大きく　：ペデスタルを上げる。 数字を小さく　：ペデスタルを下げる。
Black Toe		Compress Stretch **Normal**	暗部のゲインを変えます。撮影されたビデオ信号の状況によって調整します。（☞ 110 ページ） Compress　：映像が全体に明るく、コントラストが不足した場合は、暗い部分のゲインを圧縮して、コントラストを強くします。[Compress Level] で圧縮量を設定します。 Stretch　：映像の暗い部分のゲインを上げて、暗い部分のみ信号をストレッチすることにより、暗い部分と明るい部分とのコントラストをより見やすくします。STRECH LEVEL でストレッチ量を設定します。 Normal　：通常の状態です。
	Stretch Level	Level 5 Level 4 **Level 3** Level 2 Level 1	ストレッチ量は、数字が大きくなるに従って増加します。 メモ : ● [Black Toe] 項目を “Stretch” に設定した場合にのみ表示されます。それ以外に設定した場合 “---” と表示され、選択できません。
	Compress Level		コンプレス量は、数字が大きくなるに従って増加します。 メモ : ● [Black Toe] 項目を “Compress” に設定した場合にのみ表示されます。それ以外に設定した場合 “---” と表示され、選択できません。
	Point Level	15% ～ 11% **10%**、 9% ～ 5%	暗部をストレッチまたコンプレスする、輝度点を設定します。 メモ : ● [Black Toe] 項目が “Normal” に設定されている場合、“---” と表示され選択できません。
Knee		Manual **Auto**	ハイライト部分の階調を表現するために映像信号のあるレベル以上を圧縮する “Knee” 動作の設定をします。明るい部分を確認したいときは “Manual” に設定し、ニーポイントを手動で調整してください。 Manual：ニーポイント（ニー動作開始点）を “Level” 項目で変更できます。 Auto　：輝度レベルに応じ自動でニーポイント（ニー動作開始点）を調整します。
	Level	**100%** 95%、90%、85%、 80%、75%、70%	ニーの圧縮を始める点（ニーポイント）を設定します。 数字を大きく　：ニーポイントのレベルを上げる。 数字を小さく　：ニーポイントのレベルを下げる。 メモ : ● [Knee] 項目が “Auto” に設定されている場合、“---” と表示され選択できません。
	Sensitivity	**Fast** Middle Slow	[Knee] 項目を “Auto” に設定した場合の “Knee” 動作の応答スピードを設定します。 光量が、はげしく変わる被写体を撮影する場合は、“Slow” に設定します。 メモ : ● [Knee] 項目が “Manual” に設定されている場合、“---” と表示され選択できません。

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
White Clip	100% **108%**	輝度レベルの大きい入力映像信号に対して、ホワイトクリップさせるポイントを設定します。 100% ：輝度レベルが 100 %のポイントでホワイトクリップさせます。“108%” に設定しても、画面が白すぎる場合、“100%” に設定します。また出力 Y 信号を 100 %以内で管理するシステムで運用する場合に設定します。 108% ：輝度レベルが 108 %のポイントでホワイトクリップさせます。
Gamma	Film Out Cinema **Standard** Off	階調表現を決定するガンマカーブの補正をします。 Film Out ：映画フィルム出力のためのポスト処理をしやすいように、暗部の階調表現を重視したガンマカーブになります。 Cinema ：映画の画面特性に近い階調のガンマカーブになります。 Standard：標準のガンマカーブにします。 Off ：ガンマカーブは補正されません。
Master Level	Max、4 ～1、 **Normal、** -1 ～ -4、Min	[Gamma] 項目を “Standard”、“Cinema” または “Film Out” に設定したとき、それぞれに設定できます。 数字を大きく ：黒の階調をよくします。ただし、明るい部分の階調は悪くなります。 数字を小さく ：明るい部分の階調をよくします。ただし、黒の階調は悪くなります。 メモ： ● [Gamma] 項目が “Off” に設定されている場合、“---” と表示され選択できません。
R Level **G Level** **B Level**	Max、4 ～1、 **Normal、** -1 ～ -4、Min	R、G、B それぞれにガンマカーブの調整ができます。 [Color Matrix] 項目の設定では表現できない色のトーンを調整します。 メモ： ● [Gamma] 項目が “Off” に設定されている場合、“---” と表示され選択できません。
White Balance...	ホワイトバランスに関するメニューです。(☞ 79 ページ)	
Color Matrix	Cinema Subdued Cinema Vivid **Standard** Off	カラーマトリクス設定をします。 Cinema Subdued ：映画の画面特性に近い落ち着いたカラーマトリクスになります。 Cinema Vivid ：映画の画面特性に近いあざやかなカラーマトリクスになります。 Standard ：標準のカラーマトリクスにします。 Off ：カラーマトリクス機能を Off にします。
Adjust...	[Color Matrix] を好みの色に調整します。 [Color Matrix] 項目を “Off” に設定時は選択できません。(☞ 80 ページ)	
Color Gain	Off、Min、-1 ～ -9、 **Normal** 9 ～ 1、Max	映像信号の色レベルを調整します。 Off ：白黒にします。 数字を大きく ：色を濃くします。 数字を小さく ：色を薄くします。 メモ： ● “Off” に設定されている場合、白黒映像となります。
DNR	On **Off**	DNR（Digital Noise Reduction）機能の設定を行います。[DNR] を “On” にすることで、映像の S/N 比を改善することができます。 On ：ノイズ軽減処理を効かせます。 Off ：ノイズ軽減処理を無効にします。 メモ： ● “On” に設定すると薄く残像が出る場合があります。
Reverse Picture	Rotate **Off**	レンズ像が上下左右が逆転する場合、記録画像を上下左右に反転 (Rotate) に設定し正しく記録します。 Rotate ：記録を上下左右に反転する。 Off ：記録を上下左右に反転しない。
Reset Process	—	[Camera Process] メニューの全項目を初期値に戻します。

Camera Process メニュー (つづき)

Detail/Adjust 項目

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
V/H Balance	H-Max、4 ～1、 **Normal**、 -1 ～ -4、H-Min	輪郭（ディテール）の強調を水平方向（H）と垂直方向（V）どちら側により強くかけるか、H/V のバランスを設定します。 数字を大きく　：水平方向に強くかける。 数字を小さく　：垂直方向に強くかける。
H Frequency	High **Middle** Low	輪郭（ディテール）の水平輪郭補正周波数を変えます。被写体によって設定してください。 High　：低い周波数帯域を強調します。細かな模様の被写体を撮影するときに使用します。 Middle　：中間周波数帯域を強調します。 Low　：低域の周波数帯を強調します。大がらな模様の被写体を撮影するときに使用します。
V Frequency	**High** Low	輪郭（ディテール）の垂直輪郭補正周波数を変えます。被写体によって設定してください。 Low　：低域の周波数帯を強調します。 High　：低い周波数帯域を強調します。 **メモ :** ● [Record Set] メニュー [Record Format] の [Camera Resolution] 項目が “1920x1080”、“1440x1080” に設定されている場合は選択できません。(☞ 71 ページ)
Skin Detect	On **Off**	[Skin Color Adjust] メニューで取り込んだ色の輪郭補正を抑えるスキンディテール機能のオン・オフを設定します。 On　：スキンディテールを機能させます。(肌色検出部のディテールをソフトにします。) Off　：スキンディテールを機能させません。 **メモ :** ● [Skin Detect] 項目を “Off” に設定しても、[SKIN AREA/SPOT METER] スイッチを倒しているあいだは [Skin Detect] は強制的に “On” となります。[Skin Detect] 項目を “Off” にし、必要なときだけレバーを倒すことで、スキンディテール機能の On/Off 動作をすばやく切り換えることができます。
Level	-3 **-2** -1	スキンディテール機能の輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）を設定します。 [Skin Detect] 項目を “On” に設定した場合にのみ選択できます。 -3　：輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）大 -2　：輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）中 -1　：輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）小
Skin Color Adjust...	スキンディテール機能の設定をします。(☞ 106 ページ)	
Skin Color Detect	Execute **Stop**	スキンカラーの色の取り込みをします。 Execute　：スキンディテールを機能させる色を取り込みます。 Stop　：スキンディテールを機能させる色の取り込みをやめます。
Skin Color Range	Wide、9 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -9、Narrow	スキンディテールが機能する肌色の範囲を調整します。色の範囲を確認しながら調整します。 数字を大きく　：範囲を広く。 数字を小さく　：範囲をせまく。 **メモ :** ● [Camera Process] メニュー画面の [Color Gain] 項目が “Off” に設定されている場合、スキンディテールが機能している部分のみ肌色で表示されます。(☞ 77 ページ)

White Balance 項目

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Preset Temp.	5600K **3200K**	本機の [WHT.BAL] スイッチを “PRESET” に設定した場合の色温度を設定します。
White Paint R	Max、30 ～ 1、 **Normal、** -1 ～ -31、Min	AWB（オートホワイトバランス）時の R（赤）の成分を調整します。 数字を大きく　：赤味を強くします。 数字を小さく　：赤味を弱くします。 **メモ：** ● 本機右側面部の [WHT.BAL] スイッチを “A” または “B” に設定したときに選択できます。“PRESET” に設定時は、“---” と表示され選択できません。 ● 設定は、“A”、“B” それぞれにできます。 ● [Clear Paint After AWB] 項目が “On” のとき、[AWB]（オートホワイトバランス）ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、[White Paint R] 項目は “Normal” になります。
White Paint B	Max、30 ～ 1、 **Normal、** -1 ～ -31、Min	AWB（オートホワイトバランス）時の B（青）の成分を調整します。 数字を大きく　：青味を強くします。 数字を小さく　：青味を弱くします。 **メモ：** ● 本機右側面部の [WHT.BAL] スイッチを “A” または “B” に設定したときに選択できます。“PRESET” に設定時は、“---” と表示され選択できません。 ● 設定は、“A”、“B” それぞれにできます。 ● [Clear Paint After AWB] 項目が “On” のとき、[AWB]（オートホワイトバランス）ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、[White Paint B] 項目は “Normal” になります。
Clear Paint After AWB	**On** Off	AWB（オートホワイトバランス）実行後、[White Paint R]/[White Paint B] の設定をクリアするかどうかの設定をします。 On　：AWB（オートホワイトバランス）実行した後、[White Paint R]/[White Paint B] の設定を “Normal” にします。 Off　：AWB（オートホワイトバランス）実行しても、[White Paint R]/[White Paint B] の設定を変更しません。
Shading Mode	Manual **Preset**	ホワイトシェーディング調整の設定をします。（☞ 42 ページ） Preset ：ホワイトシェーディング調整を固定に設定します。手動で調整はできません。 Manual：ホワイトシェーディングを手動で調整します。
Adjust...		ホワイトシェーディングの調整を行ないます。 **メモ：** ● [Shading Mode] 項目を “Preset” に設定時は選択できません。

Camera Process メニュー (つづき)

Shading Mode/Adjust 項目

※工場出荷値は太字。

- [Shading Mode] 項目を “Manual” に設定した場合にのみ選択できます。“Preset” に設定した場合は、[R Level]、[G Level]、[B Level] 項目は選択できません。
- 画面がカラー表示となり、Bars 表示、Zebra 表示、マーカー表示（Aspect Marker/Safety Zone/Center Mark）、Focus Assist モード、[VF Display] メニューの “B” モードは一時的に OFF となります。

項目	設定値	機能
R Level	Max、126 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -127、Min	[Shading Mode] 項目を “Manual” に設定した場合に、ホワイトシェーディングの赤を調整します。 数字を大きく：画面下の赤を抑え、画面上の赤を伸張します。 数字を小さく：画面上の赤を抑え、画面下の赤を伸張します。
G Level	Max、126 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -127、Min	[Shading Mode] 項目を “Manual” に設定した場合に、ホワイトシェーディングの緑を調整します。 数字を大きく：画面下の緑を抑え、画面上の緑を伸張します。 数字を小さく：画面上の緑を抑え、画面下の緑を伸張します。
B Level	Max、126 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -127、Min	[Shading Mode] 項目を “Manual” に設定した場合に、ホワイトシェーディングの青を調整します。 数字を大きく：画面下の青を抑え、画面上の青を伸張します。 数字を小さく：画面上の青を抑え、画面下の青を伸張します。

Color Matrix/Adjust 項目

[Color Matrix] を好みの色に調整します。(☞ 108 ページ)
[Color Matrix] 項目の “Standard”、“Cinema Vivid”、“Cinema Subdued” それぞれに調整値を保持することができます。
(☞ 77 ページ)

項目	設定値	機能
Mg&R Mg Level	Max、19 ～ 1、 **Normal**、 -1 ～ -19、Min	マゼンタ～赤色の映像をマゼンタ方向に調整します。 数字を大きく：マゼンタ～赤の、マゼンタ成分を強調します。 数字を小さく：マゼンタ～赤の、マゼンタ成分を低減します。
Mg&R R Level		マゼンタ～赤色の映像を赤色方向に調整します。 数字を大きく：マゼンタ～赤の、赤成分を強調します。 数字を小さく：マゼンタ～赤の、赤成分を低減します。
R&Yl R Level		赤色～黄色の映像を赤方向に調整します。 数字を大きく：赤～黄色の、赤成分を強調します。 数字を小さく：赤～黄色の、赤成分を低減します。
R&Yl Yl Level		赤色～黄色の映像を黄色方向に調整します。 数字を大きく：赤～黄色の、黄成分を強調します。 数字を小さく：赤～黄色の、黄成分を低減します。
Yl&G Yl Level		黄色～緑色の映像を黄色方向に調整します。 数字を大きく：黄色～緑色の、緑成分を強調します。 数字を小さく：黄色～緑色の、黄成分を低減します。
Yl&G G Level		黄色～緑色の映像を緑色方向に調整します。 数字を大きく：黄色～緑色の、緑成分を強調します。 数字を小さく：黄色～緑色の、緑成分を低減します。
Yl&G Mask Range	Max、19 ～ 11、 **10**、 9 ～ 1、Min	[Yl&G Yl Level] および [Yl&G G Level] の調整をした場合に、肌色（I 軸付近の色）への影響度合いを調整します。 数字を大きく：肌色の影響度合いが減ります。 数字を小さく：肌色の影響度合いが増えます。 **メモ：** ● [Yl&G G Level] で緑を＋方向に強調した場合、[Yl&G Mask Range] の数字を上げることで、肌色が緑っぽくなることを防ぐことができます。 ● [Yl&G Yl Level] と [Yl&G G Level] が “Normal” の場合は、[Yl&G Mask Range] の値を変更しても画面に変化はありません。

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
G&Cy G Level	Max、19 ～ 1、 **Normal、** -1 ～ -19、Min	緑色～シアンの映像を、緑方向に調整します。 数字を大きく：緑色～シアンの、緑成分を強調します。 数字を小さく：緑色～シアンの、緑成分を低減します。
G&Cy Cy Level		緑色～シアンの映像を、シアン方向に調整します。 数字を大きく：緑色～シアンの、シアン成分を強調します。 数字を小さく：緑色～シアンの、シアン成分を低減します。
Cy&B Cy Level		シアン～青色の映像を、シアン方向に調整します。 数字を大きく：シアン～青の、シアン成分を強調します。 数字を小さく：シアン～青の、シアン成分を低減します。
Cy&B B Level		シアン～青色の映像を、青色方向に調整します。 数字を大きく：シアン～青の、青成分を強調します。 数字を小さく：シアン～青の、青成分を低減します。
B&Mg B Level		青色～マゼンタの映像を、青色方向に調整します。 数字を大きく：青～マゼンタの、青成分を強調します。 数字を小さく：青～マゼンタの、青成分を低減します。
B&Mg Mg Level		青色～マゼンタの映像を、マゼンタ方向に調整します。 数字を大きく：青～マゼンタの、マゼンタ成分を強調します。 数字を小さく：青～マゼンタの、マゼンタ成分を低減します。
R Rotation	Max、4 ～1、 **Normal、** -1 ～ -4、Min	R 軸（赤 / シアン）の色相を調整します。 数字を大きく：赤は黄色方向に、シアンは青色方向に、色相がまわります。 数字を小さく：赤はマゼンタ方向に、シアンは緑方向に、色相がまわります。
G Rotation		G 軸（緑 / マゼンタ）の色相を調整します。 数字を大きく：緑は青色方向に、マゼンタは赤色方向に、色相がまわります。 数字を小さく：緑は黄色方向に、マゼンタは青色方向に、色相がまわります。
B Rotation		B 軸（青 / 黄色）の色相を調整します。 数字を大きく：青はマゼンタ方向に、黄色は緑方向に、色相がまわります。 数字を小さく：青はシアン方向に、黄色は赤色方向に、色相がまわります。

TC/UB メニュー

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
TC Preset	—	タイムコード（時、分、秒、フレーム）を設定します。 表示　：Drop 設定時　02:02:25.20 　　　：Non Drop 設定時　02:02:25:20
UB Preset	—	ユーザーズビットを設定します。（一桁づつ設定） 表示　：AB CD EF 01
Drop Frame	Non Drop **Drop**	タイムコードジェネレーターのフレーミングモードを設定します。 Non Drop　：内部タイムコードジェネレーターがノンドロップフレームモードで歩進します。フレーム数を重視するとき、この設定にします。 Drop　：内部タイムコードジェネレーターがドロップフレームモードで歩進します。記録した時間を重視するとき、この設定にします。 メモ： ● [Record Set]➡[Record Format] メニューの [Frame & Bit Rate] 項目のフレームレートが "60p"、"30p"、"60i" の場合にのみ設定できます。それ以外に設定されている場合は、"Non Drop" に固定となり選択できません。(☞ 71 ページ)

LCD/VF メニュー

項目	設定値	機能
Shooting Assist...	シューティングアシスト機能に関するメニューです。(☞ 83 ページ)	
Marker Setting...	セーフティゾーンや、センターマークなどの設定を行います。(☞ 84 ページ)	
Status Display...	ステータス画面の表示に関する設定を行います。(☞ 84 ページ)	
LCD + VF	**On** Off	LCD モニターとビューファインダー画面の表示の切換方法を選択します。(☞ 29 ページ) On　：ビューファインダーには、常に映像を表示します。 Off　：LCD モニターをひらいたとき、ビューファインダー画面の表示を消します。
VF Display	B & W **Color**	ビューファインダー画面に表示する画像をカラーにするか白黒にするかを選択します。 B & W　：ビューファインダーの画像を白黒で表示します。 Color　：ビューファインダーの画像をカラーで表示します。 メモ： ● 本項目はカメラモード時のみ有効な設定です。 ● "B & W" に設定した場合、撮影画像のみ白黒表示となります。ステータス画面、メニュー画面などはカラーで表示されます。
LCD Mirror Mode	Mirror **Normal**	液晶画面を対面表示にしたときの画像表示方法を設定します。(☞ 28 ページ) Mirror　：左右反転して表示します。（鏡面表示） Normal：左右反転せずに表示します。 メモ： ● 本項目はカメラモード時のみ有効な設定です。 ● カラーバー表示中、およびステータス拡大表示中は、"Mirror" 設定は無効となります。 (☞ 107 ページ [カラーバーを出力する]) (☞ 17 ページ [LCD モニターのステータス拡大表示])

Shooting Assist 項目

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Focus Assist	ACCU-Focus **Normal**	本機の [FOCUS ASSIST] ボタンを押したときの動作を設定します。(☞ 35 ページ) ACCU-Focus　：フォーカスアシスト機能と ACCU-Focus（強制フォーカス）機能が動作します。被写界深度が浅くなり、フォーカスがより合わせやすくなります。ACCU-Focus は約 10 秒で自動的に "Off" になります。 Normal　：フォーカスアシスト機能のみ動作します。合焦部分がカラーで表示され、フォーカスが合わせやすくなります。表示色は [Color] 項目で設定します。
Color	**Blue** Green Red	フォーカスアシスト動作時の合焦部分の表示色を設定します。 Blue　：合焦部分を青色で表示します。 Green　：合焦部分を緑色で表示します。 Red　：合焦部分を赤色で表示します。
Level	High **Middle** Low	フォーカスアシスト動作時の合焦部分の表示範囲を設定します。 High　：合焦部分の表示範囲を Middle より広くします。 Middle　：合焦部分の表示範囲を標準に設定します。 Low　：合焦部分の表示範囲を Middle より狭くします。
Zebra	2Patterns **1Pattern**	ゼブラ表示するパターン数を選択します。 2Patterns：2 種類のゼブラパターン（Zebra1 と Zebra2）を表示します。 1Pattern　：1 種類のゼブラパターン (Zebra1) を表示します。
Top1	Over、 100% ～ 85%、 **80%、** 75% ～ 5% （5 % 刻み）	"Zebra1" を表示する輝度レベルの上限を設定します。 **メモ：** ● Top1 と Bottom1 の関係は必ず Top1>Bottom1 であり、Top1 設定中はこの関係を保つように Bottom1 設定値は自動的に補正されます。
Bottom1	100% ～ 75%、 **70%、** 65% ～ 0% （5 % 刻み）	"Zebra1" を表示する輝度レベルの下限を設定します。 **メモ：** ● Top1 と Bottom1 の関係は必ず Top1>Bottom1 であり、Bottom1 設定中はこの関係を保つように Top1 設定値は自動的に補正されます。
Top2	**Over、** 100% ～ 5% （5 % 刻み）	"Zebra2" を表示する輝度レベルの上限を設定します。 **メモ：** ● [Zebra] 項目を "1Pattern" に設定時は選択できません。 ● Top2 と Bottom2 の関係は必ず Top2>Bottom2 であり、Top2 設定中はこの関係を保つように Bottom2 設定値は自動的に補正されます。
Bottom2	100% ～ 85%、 **80%、** 75% ～ 0% （5 % 刻み）	"Zebra2" を表示する輝度レベルの下限を設定します。 **メモ：** ● [Zebra] 項目を "1Pattern" に設定時は選択できません。 ● Top2 と Bottom2 の関係は必ず Top2>Bottom2 であり、Bottom2 設定中はこの関係を保つように Top2 設定値は自動的に補正されます。
Peaking Frequency	High **Middle** Low	[VF PEAKING] 調整つまみ、または [LCD PEAKING +/-] ボタンで輪郭強調する周波数帯域を設定します。 High　：低い周波数帯域を強調します。 Middle　：中間周波数帯域を強調します。 Low　：低域の周波数帯を強調します。

LCD/VF メニュー (つづき)

Marker Setting 項目

(☞ 104 ページ [マーカー表示およびセーフティーゾーン表示 （カメラモード時のみ）])
※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Aspect Ratio ※1	4:3、14:9、 **16:9**、 16:9(+4:3)、 2.35:1 Center、 2.35:1C.HeadRM、 1.85:1 Center、 1.85:1C.HeadRM、 1.66:1、1.75:1	全体画角のうち、最終的に使用する画像のアスペクト比を選択します。
Aspect Marker ※1	Line+Halftone Halftone Line **Off**	[Aspect Ratio] 項目で選択したアスペクト範囲外の画像部分について、範囲外を示す境界マーカーをどのように表示するかを設定します。 Line+Halftone ：境界を線で表示し、境界外をハーフトーンで表示します。 Halftone ：境界外をハーフトーンで表示します。 Line ：境界を線で表示します。 Off ：境界を表示しません。 メモ : ● [Aspect Ratio] 項目で、“16:9” または “16:9(+4:3)” を選択した場合、[Aspect Marker] 項目は “Off” となり選択できません。
Safety Zone ※1	95%、93%、90%、 88%、80%、 **Off**	[Aspect Ratio] 項目で選択したアスペクト範囲内で有効としたいエリア (Safety Zone) を内側何 % にするかを設定します。
Center Mark ※1	On **Off**	[Aspect Ratio] 項目で選択したアスペクト比内の画面中央を示すマークを表示するかどうかを設定します。 On ：センターマークを表示します。 Off ：センターマークを表示しません。

※1：クリップレビュー中およびメディアモード時は、設定に関係なくマーカーは表示されません。

Status Display 項目

LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に関する設定を行ないます。

項目	設定値	機能
F.No/Iris Indicator	F.No+Iris Ind. F.No **Off**	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示にアイリスポジション / アイリスレベルマークの表示をするかを設定します。 F.No+Iris Ind. ：アイリスポジション / レベルを表示します。 F.No ：アイリスポジションを表示します。 Off ：アイリスポジション / アイリスレベルマークを表示しません。
Filter	On **Off**	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示にフィルターポジションの表示をするかを設定します。 On ：フィルターポジションを表示します。 Off ：フィルターポジションを表示しません。
Video Format	**On** Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に記録・再生時の映像フォーマットの表示をするかを設定します。 On ：ビデオフォーマットモードを表示します。 Off ：ビデオフォーマットモードを表示しません。
Media Remain	**On** Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に記録 SDHC カード残量の表示をするかを設定します。 On ：SDHC カード残量を表示します。 Off ：SDHC カード残量を表示しません。

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
TC/UB	**On** Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示にタイムコード / ユーザーズビットの表示をするかを設定します。 On　：タイムコードまたはユーザーズビットを表示します。どちらを表示するかは、本機、LCD モニター内側の [TC DISPLAY] 表示切換スイッチの設定によります。 Off　：タイムコードまたはユーザーズビットをを表示しません。
Audio Meter	**On** Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示にオーディオレベルメータの表示をするか設定します。 On　：オーディオレベルメータを表示します。 Off　：オーディオレベルメータを表示しません。
Battery Info	Time Capacity% **Voltage**	バッテリー装着時のステータス画面の表示を設定します。ステータス画面は、LCD モニターやビューファインダーに表示されます。 カメラモードではステータス１画面のときのみ表示されます。（☞ 96 ページ） Time　：バッテリー残量を分単位で表示する。“min” Capacity%　：バッテリー残量をパーセントで表示します。“%” Voltage　：現在のバッテリー電圧を 0.1 V 単位で表示します。“V” **メモ：** ● IDX のバッテリーを装着した場合、“Time” は表示できません。“Time” を選択した場合でも、“Voltage” で表示されます。 ● “Time” または “Capacity%” を選択したとき、数値の前に表示される電池マークは、残容量によって変化します。 RES：12 %以下　：13 %～ 29 %　：30 %～ 59 %　：60 %～ 100 % ● 残容量が 12 %未満になった時点で、“RES” 表示へ変わります。 ● バッテリーから CALIBRATION を要求されたときには、電圧表示 30 秒、“CAL” 表示２秒を繰り返します。 ● CALIBRATION とは、バッテリーが容量情報の更新を要求している状態です。キャリブレーションを行わない状態でもバッテリーとして動作しますが、正しい残容量、残時間を得にくくなるためキャリブレーションを行うことをお勧めします。詳細につきましては、Anton Bauer 社製バッテリーの [取扱説明書] をお読みください。 ● バッテリー残容量、残時間は撮影時間のめやすとしてご使用ください。
Date Style	DMY MDY **YMD**	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示の日付表示順の設定をします。 DMY　：日 / 月 / 年 MDY　：月 / 日 / 年 YMD　：年 / 月 / 日
Time Style	**24hour** 12hour	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示の時間表示について設定します。 24hour：24 時間表示します。 12hour：12 時間表示します。（AM/PM）
Shutter Disp.	DEG **SEC**	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示のシャッター表示タイプのについて設定します。 DEG　：シャッターをフィルムカメラにみたてた角度表示にします。 SEC　：シャッターを秒で表示します。 **メモ：** ● “DEG” 表示は、[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “24p(SP)”、“24p(HQ)”、“25p(SP)”、“25p(HQ)” の場合にのみ有効です。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が、これ以外のときは、“SEC” 固定となり選択できません。（☞ 71 ページ） ● リモコン接続時は[Frame & Bit Rate]項目の設定に関係なく“SEC”固定となり選択できません。

A/V Out メニュー

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Output Terminal	Composite **Component** Off	本機、側面端子部の [Y/VIDEO]/[PB]/[PR] 映像信号出力端子（BNC）から出力する信号について設定します。 Composite ：[Y/VIDEO] 映像信号出力端子にコンポジット信号を出力します。 Component：コンポーネント信号を出力します。 Off ：信号出力しません。 メモ： ● [IEEE1394] 端子から DV が入力されている場合、“Component” は選択できません。“Component” に設定されているときは、自動的に “Composite” 出力となります。
Down Convert	Side Cut **Letter Box** Squeeze	ダウンコンバートした映像をアスペクト比 4：3 の画面に表示するためのスタイルを設定します。ここでの設定はコンポジット出力 /SD-SDI/DV 出力すべてに共通です。 Side Cut ：ワイド映像の左右をカットして表示します。 Letter Box ：上下方向を黒くしたワイド映像で表示します。 Squeeze ：左右方向を圧縮した映像を表示します。
Set Up	7.5% **0.0%**	本機、側面端子部の [Y/VIDEO]/[PB]/[PR] 映像信号出力端子（BNC）から出力される映像信号にセットアップ信号を付加するかを選択します。 [IEEE1394] 端子から信号入力時も、セットアップ信号を選択できます。 7.5% ：セットアップ信号を付加します。 0.0% ：セットアップ信号を付加しません。 メモ： ● [Frame & Bit Rate] 項目の設定が “50p(SP)”、“50p(HQ)”、“50i(SP)”、“50i(HQ)”、“25p(SP)”、“25p(HQ)” の場合、この項目は “---” と表示され選択できません。（☞ 71 ページ） ● 本機のメニュー設定や本機に接続されているケーブルの状態によって、セットアップ信号が、“0.0%” に固定される場合があります。この場合グレーで “0.0%” と表示されます。
HD/SD-SDI Out	HD-SDI SD-SDI **Off**	本機、側面端子部の [HD/SD-SDI] 出力端子から SDI 信号を出力するかどうかを設定します。 HD-SDI：HD-SDI 信号を出力します。エンベディド（重畳）音声信号とタイムコードも出力します。 SD-SDI：HD をダウンコンバートした SD-SDI 信号を出力します。エンベディド（重畳）音声信号とタイムコードも出力します。 Off ：SDI 信号を出力しません。 メモ： ● [IEEE1394] 端子から DV が入力されている場合、“HD-SDI” は選択できません。 ● [HD/SD-SDI] 出力端子から出力されるユーザーズビットは、有効画像信号判別フラグとして利用されるため、正確な値が出力されません。
Analog Out Char.	On **Off**	本機、側面端子部の [Y/VIDEO]/[PB]/[PR] 映像信号出力端子（BNC）から出力される画面にステータスとメニューの文字を表示するかを選択します。 On ：表示します。 Off ：表示しません。 メモ： ● [Analog Out Char.] 項目が “On” に設定されているとき、ビューファインダーに表示されている内容は映像信号出力端子（BNC）からの映像にも表示されます。
SDI Out Char.	On **Off**	本機、側面端子部の [HD/SD-SDI] 出力端子から出力される画面にステータスとメニューの文字を表示するかを選択します。 On ：表示します。 Off ：表示しません。

※工場出荷値は太字。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定値</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Audio Monitor</td><td>Stereo
Mix</td><td>本機、側面 [MONITOR SELECT] スイッチを “Both” に設定時、[PHONES] 端子の音声をステレオ音声にするかミックス音声にするかを選択します。
Mix　：ミックス音声（CH-1 と CH-2 のミックス音声 L、R に出力）を出力します。
Stereo ：ステレオ音声（CH-1 の音声が L に、CH-2 の音声が R に出力）モニタースピーカーからは CH-1 の音声のみ出力します。
■ 本体の [MONITOR SELECT] スイッチと [Audio Monitor] 項目設定の組み合わせによる、[PHONES] 端子、スピーカーおよび RCA 出力。
<table>
<tr><th rowspan="2">[MONITOR SELECT] 設定</th><th rowspan="2">[Audio Monitor] 設定</th><th colspan="2">[PHONES] 端子からの出力</th><th rowspan="2">スピーカー出力</th><th colspan="2">RCA 出力</th></tr>
<tr><th>L</th><th>R</th><th>CH1</th><th>CH2</th></tr>
<tr><td>[CH-1]</td><td>—</td><td colspan="2">CH1</td><td>CH1</td><td rowspan="4">CH1</td><td rowspan="4">CH2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[BOTH]</td><td>[Mix]</td><td colspan="2">CH1+CH2</td><td>CH1+CH2</td></tr>
<tr><td>[Stereo]</td><td>CH1</td><td>CH2</td><td>CH1</td></tr>
<tr><td>[CH-2]</td><td>—</td><td colspan="2">CH2</td><td>CH2</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

Others メニュー

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定値</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Alarm Level</td><td>High
Middle
Low
Off</td><td>アラーム音の有無およびアラーム音の音量を選択します。
アラーム音は、モニタースピーカーまたは [PHONES] 端子から出力します。
High　：アラーム音を音量レベル大で出力します。
Middle ：アラーム音を音量レベル中で出力します。
Low　：アラーム音を音量レベル小で出力します。
Off　：アラーム音を出力しません。</td></tr>
<tr><td>Mode LED</td><td>On
Off</td><td>本機、側面操作パネル部の動作モード表示ランプの点灯について設定します。
On　：動作モードによって下記のように点灯します。（☞ 7 ページ）
Off　：点灯しません。
<table>
<tr><th>動作モード</th><th>点灯色</th></tr>
<tr><td>カメラモード</td><td>青 / 紫</td></tr>
<tr><td>メディアモード（SD カードモード）</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>メディアモード（IEEE1394 モード）</td><td>オレンジ</td></tr>
<tr><td>USB モード</td><td>オレンジ</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>Tally System</td><td>Studio
Ext
Int</td><td>本機タリーランプ（フロント / バック）の表示条件を設定します。
Studio ：リモコンなどの外部機器からの TALLY IN/PREVIEW IN 信号によって表示します。
Ext　：外部機器の状態を中心に表示します。
Int　：本機の状態を中心に表示します。</td></tr>
<tr><td>Front Tally</td><td>On
Blink
Off</td><td>記録時、本機前面部フロントタリーランプの点灯方法を設定します。
On　：記録中だけ点灯します。
Blink ：[REC] トリガーボタンを押して、記録が始まるまでは点滅、記録中は点灯します。
Off　：点灯しません。</td></tr>
<tr><td>Back Tally</td><td>On
Blink
Off</td><td>記録時、本機背面部バックタリーランプの点灯方法を設定します。
On　：記録中だけ点灯します。
Blink ：[REC] トリガーボタンを押して、記録が始まるまでは点滅、記録中は点灯します。
Off　：点灯しません。</td></tr>
</table>

Others メニュー (つづき)

※工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
1394 Rec Trigger	Ext Series Split Synchronize **Off**	[IEEE1394] 端子に接続している外部記録機器への記録トリガーに関する設定をします。 Ext　：外部のみに記録トリガーを出力します。(内部は記録しない。) Series　：内部と外部が連続記録するように記録トリガーを出力します。 Split　：内部と外部に別々に記録トリガーを出力します。 Synchronize：内部と外部に同時に記録トリガーを出力します。 Off　：外部には記録トリガーを出力しません。 メモ： ● カメラモード時にのみ選択できます。本機および外部機器のいずれかが記録中は設定できません。 ● 設定に従って [IEEE1394] 端子に接続している外部記録機器が記録状態になっている場合、[CAM/MEDIA] ボタンによる動作モードの切り換え、およびクリップレビュー操作はできません。 ● [1394 Rec Trigger] 項目を "Split" に設定したとき、本機側面操作部の [REC] ボタンは、外部機器の記録スタート／ストップボタンになります。(☞ 10 ページ) ● 電源起動直後やメニュー設定変更直後に [REC] ボタンを押した場合、外部機器での記録開始は 10 秒程度遅れることがあります。
1394 Auto Power Off	Enable **Disable**	カメラの [POWER] スイッチのオフに連動して [IEEE1394] 端子に接続している外部記録機器の電源を切るかどうかを設定します。 Enable ：連動して、電源を切ります。 Disable：連動しません。 メモ： ● IEEE1394 の制御において POWER OFF する外部機器に対してのみ有効です。
Reset All	―	メニューの設定値をすべて初期化します。 [Reset All] メニュー画面で "Reset" を選択し、セットボタン（●）を押すと、"Resetting..." と表示されます。正常に初期化が完了すると、"Complete" と約 1 秒間表示されます。[Cancel] を選択すると、リセットが実行されません。 メモ： ● [Date/Time] (☞ 88 ページ)、[Time Zone] (☞ 88 ページ) 項目の設定はリセットされません。 ● カメラモードで記録中、クリップレビュー中、メディアモード時は選択できません。
Date/Time	―	年（Year）、月（Month）、日（Day）、時（Hour）、分（Minute）を設定します。 メモ： ● 年月日の表示順序は、[Status Display] メニューの [Date Style] 項目の設定に従います。ただし、時（Hour）は [Time Style] 項目の設定に関係なく 24 時間入力となります。(☞ 85 ページ)
Time Zone	UTC-00:30 ～ UTC-12:00、 UTC、 UTC+14:00 ～ UTC+00:30 (30 分刻み)	UTC からの時差を 30 分単位で設定します。 **[初期値：UTC+09:00 (日本標準時)]** メモ： ● [Date/Time] 項目を設定済みの状態で、[Time Zone] 項目を変更すると [Date/Time] 項目の値も補正されます。
System Information **Fan Hour**	内部ファンの通電時間が表示されます。 メモ： ● 本機を長時間使用することにより、一般環境下でも内部ファンに塵埃が付着していきます。特に屋外で使用する場合は、塵埃がカメラ内部に入り込むことがあります。これらの塵埃によって、良質な画質・音質を確保できなくなる可能性があります。9000 時間をめやすに、ファンの点検、交換を行なってください。	

Media メニュー

※工場出荷値は太字。

項目	機能
Format Media	SDHC カードをフォーマット（初期化）します。 スロットを選択し（スロット A またはスロット B）、[Cancel]/[Format] から [Format] を選択し、セットボタン（●）を押してフォーマット（初期化）します。 (☞ 32 ページ [SDHC カードをフォーマット（初期化）する])
Restore Media	SDHC カードを修復します。 スロットを選択し（スロット A またはスロット B）、[Cancel]/[Restore] から [Restore] を選択し、セットボタン（●）を押して SDHC カードの修復をします。 (☞ 33 ページ [SDHC カードを修復する]) **メモ :** ● 修復が必要な SDHC カードがある場合のみ表示されます。ただし、カメラモードで記録中、クリップレビュー中は選択できません。

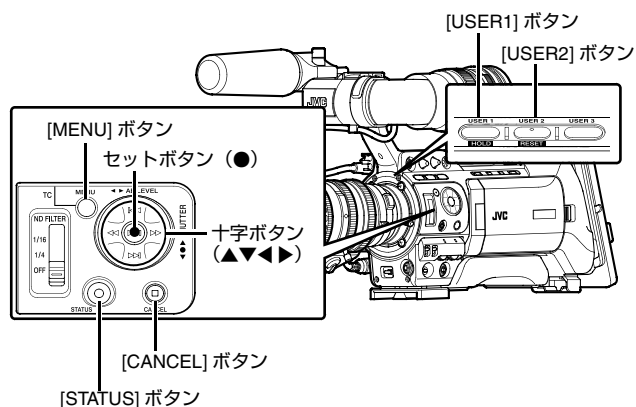
Setup File Manage メニュー

メニュー設定とボタン操作（[SHUTTER]、[AE LEVEL] など）を保存することができます。
撮影条件にあわせて、設定を保存しておくと便利です。

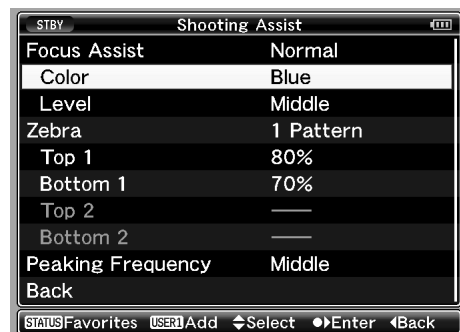
項目	設定値	機能
Load File...	—	設定を呼び出します。(☞ 113 ページ)
Store File...	—	設定を保存します。(☞ 112 ページ)
Reset File...	—	保存した設定を工場出荷値に戻します。(☞ 113 ページ)

よく使うメニュー項目を登録・編集する (Favorites Menu)

よく使うメニュー項目を自由に選んで登録・編集し、オリジナルのメニュー画面 (Favorites Menu) を作成できます。

メモ :
- カメラモードのときのみ有効であり、記録フォーマットが変化しても [Favorites Menu] は共通です。
- 登録できるメニュー項目の数は 20 項目 (画面 2 ページ分) です。
- [Favorites Menu] の登録項目は、メインメニューの [Reset All] を実行しても初期化されません。

メニュー項目を Favorites Menu に登録する

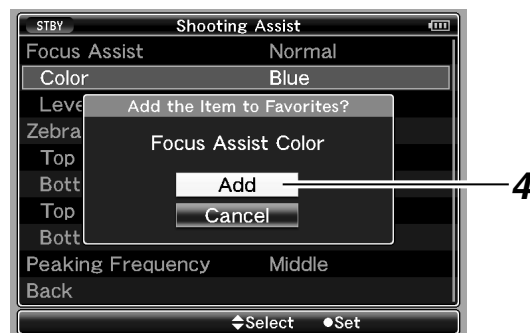
1 [MENU] ボタンを押し、[Main Menu] 画面をひらく

2 登録したいメニュー項目またはサブメニュー項目を選択する

メモ :
- 下記の場合、[Favorites Menu] への登録ができません。操作ガイドの [USER1 Add] がグレー表示となります。
  - すでに [Favorites Menu] に登録されている項目を選択した場合。
  - 登録できるメニュー項目の数（20 項目）を超えている場合。

3 [USER1] ボタンを押す

追加確認画面が表示されます。

4 [Add] を選択し、セットボタン（●）を押す

選択したメニュー項目が [Favorites Menu] に追加されます。

メモ :
- [Favorites Menu] に表示されるメニュー項目の名称は、わかりやすいように長い名称で表示される場合があります。

Favorites Menu の編集

[Favorites Menu] に追加した項目の削除・メニューの順序の並び換えを行うことができます。

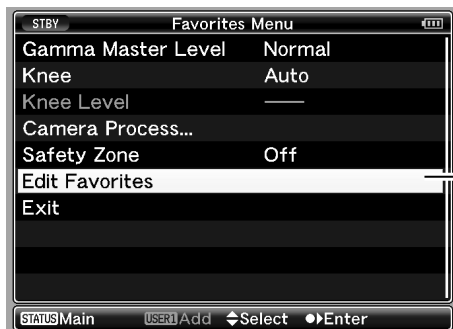
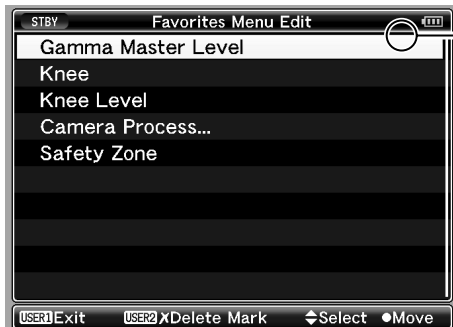
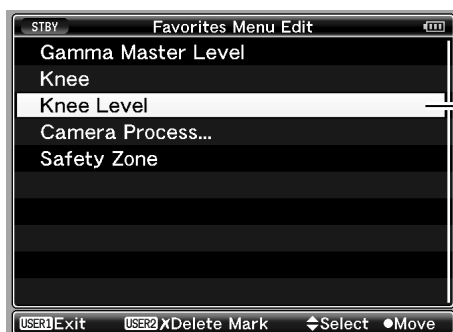
■[Favorites Menu] に追加した項目の削除

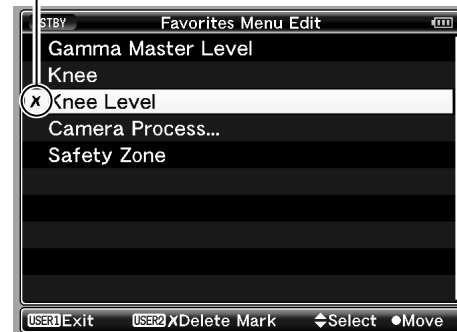
1 **[Favorites Menu] 画面をひらく**

① [MENU] ボタンを押し、[Main Menu] 画面をひらきます。

② [STATUS] ボタンを押し [Favorites Menu] 画面をひらきます。

2 **[Edit Favorites] 項目を選択し、セットボタン（●）または、十字ボタン（▶）を押す**

ヘッダーが赤紫色になり、編集モードとなります。

3 **削除したいメニュー項目またはサブメニュー項目を選択する**

4 **[USER2] ボタンを押す**

メニュー項目の先頭に [Delete Mark]（X）が表示されます。

メモ：
- [Delete Mark]（X）が付いたメニュー項目が選択されているときに、再度 [USER2] ボタンを押すと削除候補からはずれ、[Delete Mark]（X）が消えます。

5 **[USER1] ボタンを押す**

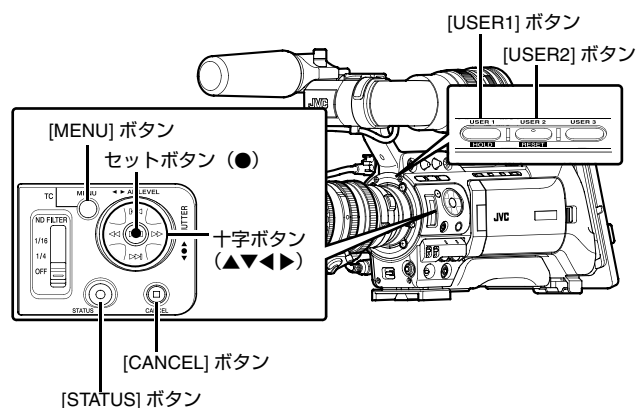
[Favorites Menu] 編集モードの終了オプション画面が表示されます。

6 **[Save & Exit] を選択し、セットボタン（●）を押す**

メモ：
- [Save & Exit] で変更を保存するまでは、削除は確定されません。
- 項目を削除せず、編集モードを終了する場合は、[Exit without Saving] を選択します。
- [Cancel] を選択すると、編集モードに戻ります。

よく使うメニュー項目を登録 ・編集する (Favorites Menu) (つづき)

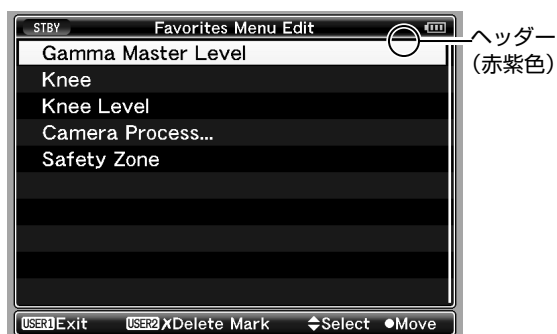
Favorites Menu の編集 (つづき)

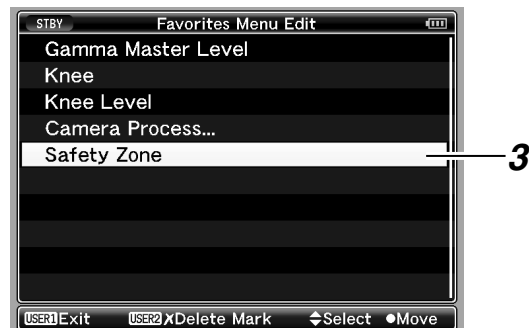
■[Favorites Menu] 項目の並び換え

1 **[Favorites Menu] 画面をひらく**

① [MENU] ボタンを押し、[Main Menu] 画面をひらきます。

② [STATUS] ボタンを押し [Favorites Menu] 画面をひらきます。

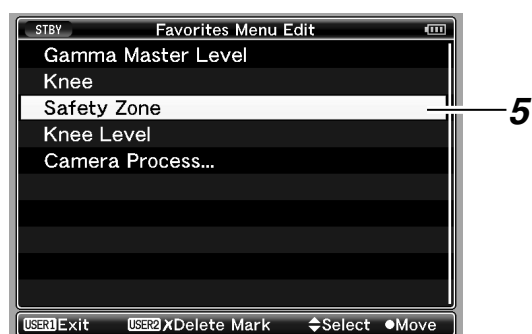
2 **[Edit Favorites] 項目を選択し、セットボタン（●）または、十字ボタン（▶）を押す**

ヘッダーが赤紫色になり、編集モードとなります。

3 **移動したいメニュー項目またはサブメニュー項目を選択し、セットボタン（●）を押す**

移動モードとなり、移動場所の選択バーが表示されます。

4 十字ボタン（▲▼）で移動先を選択する

十字ボタン（▲▼）で移動場所の選択バーを動かし、移動先を選択します。

5 セットボタン（●）を押す

移動先に選択した項目が移動します。

6 [USER1] ボタンを押す

[Favorites Menu] 編集モードの終了オプション画面が表示されます。

7 [Save & Exit] を選択し、セットボタン（●）を押す

メモ :

- [Save & Exit] で変更を保存するまでは、移動は確定されません。
- 変更を保存せず、編集モードを終了する場合は、[Exit without Saving] を選択します。
- [Cancel] を選択すると、編集モードに戻ります。

カメラモード時のステータス画面

ステータス0画面

項目	説明	
① メディアの状態	---- ：選択されたスロットにカードがない STBY ：記録スタンバイ（記録ポーズ） REC ：記録中 REVIEW：クリッププレビュー動作中（☞ 52 ページ） STBY[P] ：Pre Rec 記録スタンバイ（☞ 54 ページ） REC[P] ：Pre Rec 記録中（☞ 54 ページ） STBY[C] ：Clip Continuous 記録スタンバイ（☞ 55 ページ）	REC[C] ：Clip Continuous 記録中（☞ 55 ページ） STBY[C]（赤表示）：Clip Continuous 記録一時停止状態（☞ 55 ページ） STOP ：スロットにカードはあるが記録できない POFF ：電源 OFF 時
② アイリス状態マーク	映像の明るさが適正がどうかを表示します。 ▲ ：アイリスが標準よりオーバー ● ：アイリスが標準 ▼ ：アイリスが標準よりアンダー	
③ アイリス F 値	レンズのアイリス F 値を表示します。 レンズケーブルを取りはずした場合や、レンズ種類によっては無表示となります。 (OPEN, F2, F2.8, F4, F5.6, F8, F11, F16, CLOSE) **メモ：** ● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [F.No/Iris Indicator] 項目で、表示の種類と有無を設定できます。(☞ 84 ページ)	
④ AE レベル	AE 機能が動作中で、[Camera Function] メニューの [AE LEVEL] 項目が "Normal" 以外に設定されているときに表示されます。（☞ 73 ページ） (AE-3, AE-2, AE-1, AE+1, AE+2, AE+3)	
⑤ ゲイン	"0dB" 以外のとき、のゲイン値を表示します。 (3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB, ALC)	
⑥ シャッター	[Camera Function] メニューの [Shutter] 項目が、[Step]/[Variable] に設定されており、シャッターが ON の場合、現在のシャッタースピードが表示されます。（☞ 73 ページ） EEI ：[Shutter] 項目が、"EEI"（自動調整モード）に設定されている場合に表示。 FAS ：シャッターやゲインが自動調整モードの場合に表示。 **メモ：** ● シャッタースピードの可変範囲は、映像フォーマットの設定によって異なります。（☞ 38 ページ）	
⑦ ホワイトバランス状態	ホワイトバランスのモードを表示します。 A<※※00K>, B<※※00K>, P<※※00K>（"※※00" は色温度） （A および B の ※※ ：23, 25, 28, 30, 32, 34, 37, 43, 52, 65, 80） （P の ※※ ：32,56） FAW ：フルオートホワイトバランスモードが ON のとき MANU ：マニュアルホワイトバランスのとき（リモートコントロール制御時のみ）	
⑧ ブラック動作	[Camera Process] メニューの [Black Toe] 項目が、"Normal" 以外に設定されている場合に表示されます。（☞ 76 ページ） B+1 ～ B+5 ：[Black Toe] 項目が、"Stretch" の場合の "Stretch Level" を表示 (Level 1 ～ Level 5) B-1 ～ B-5 ：[Black Toe] 項目が、"Compress" の場合の "Compress Level" を表示 (Level 1 ～ Level 5) 表示無し ：[Black Toe] 項目が、"Normal" の場合	

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>⑨ スキンディテール動作</td><td colspan="2">スキンディテール機能が ON のときに “S.DTL” と表示されます。</td></tr>
<tr><td>⑩ 各種機能動作</td><td colspan="2">SKIN AREA　：スキンエリア表示 ON 時に点滅表示します。
FOCUS　：フォーカスアシスト動作中に表示します。“ACCU-Focus” を有効にしている場合、フォーカスアシスト起動時に “ACCU-FOCUS” を約 10 秒点滅表示後、“FOCUS” が点灯表示されます。[ACCU-Focus] 動作時、記録を開始したら [ACCU-Focus] は強制的に OFF になります。(☞ 83 ページ)</td></tr>
<tr><td>⑪ 輝度情報</td><td colspan="2">スポットメーター機能がはたらいている場合に表示します。
表示内容については [スポットメーターの設定] (☞ 51 ページ) をご覧ください。
MAX　：最高輝度
MIN　：最低輝度</td></tr>
<tr><td rowspan="29">⑫ イベント / 警告表示部</td><td colspan="2">ゲインやシャッタースピードをマニュアルで変更した場合、約 3 秒間のみ設定状態を表示します。
ここに表記している以外のメッセージは、[エラー表示と対応] (☞ 122 ページ) をご覧ください。</td></tr>
<tr><th>表示内容</th><th>設定状態</th></tr>
<tr><td>GAIN ※※dB (※※ : 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18)</td><td>ゲイン値を変更したとき</td></tr>
<tr><td>GAIN ALC</td><td>ゲインを “ALC” に設定したとき</td></tr>
<tr><td>FULL AUTO ON, FULL AUTO OFF</td><td>[FULL AUTO] を “ON/OFF” したとき</td></tr>
<tr><td>ZEBRA ON, ZEBRA OFF</td><td>[Zebra] を “ON/OFF” したとき</td></tr>
<tr><td>FOCUS ASSIST ON, FOCUS ASSIST OFF</td><td>[Focus Assist] を “ON/OFF” したとき</td></tr>
<tr><td>SHUTTER ※※
（※※※※K ：1/6, 1/6.25, 1/7.5, 1/12, 1/12.5, 1/15, 1/24, 1/25, 1/30, 1/48, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000）</td><td>シャッタースピードを変更したとき ※1</td></tr>
<tr><td>V. SHUTTER ※※※※ (※※※※ : 1/24.01 ～ 1/1998.0)</td><td>バリアブルシャッタースピードを変更したとき ※1</td></tr>
<tr><td>SHUTTER OFF ※※
（※※※※ はそれぞれのモードでの標準シャッター値です。）</td><td>シャッターを “OFF” にしたとき ※1</td></tr>
<tr><td>WHITE BAL ※ <※※※※K>
(※ : A, B, PRESET)
（※※※※K ：2300, 2500, 2800, 3000, 3200, 3400, 3700, 4300, 5200, 5600, 6500, 8000）</td><td>ホワイトバランス値を変更したとき</td></tr>
<tr><td>WHITE BAL FAW</td><td>FAW（オートホワイトバランス）動作中</td></tr>
<tr><td>FILTER ※※※※
(※※ : OFF,1/4ND,1/16ND)</td><td>[ND FILTER] の設定を変更したとき</td></tr>
<tr><td>AE LEVEL ※※
(※※※※ : -3, -2, -1, NORMAL, +1, +2, +3)</td><td>[AE LEVEL] 値を変更したとき</td></tr>
<tr><td>SPOT METER ※※※※
(※※※※ : ON, FIXED, OFF, SELECT)</td><td>スポットメーターの状態が変化したとき
(☞ 51 ページ)</td></tr>
<tr><td>BLACK NORMAL</td><td>[Black Toe] が “Normal”</td></tr>
<tr><td>BLACK STRETCH ※ (※ : 1,2,3,4,5,)</td><td>[Black Toe] の [Stretch Level] を変更したとき</td></tr>
<tr><td>BLACK COMPRESS ※ (※ : 1,2,3,4,5,)</td><td>[Black Toe] の [Compress Level] を変更したとき</td></tr>
<tr><td>WHITE BAL PRESET <3200K>, WHITE BAL PRESET <5600K></td><td>[Preset Temp.] 値を変更したとき ※2</td></tr>
<tr><td>REC SWITCH LOCKED, REC SWITCH UNLOCKED</td><td>カメラモードで、記録ボタンロックスイッチを ON/OFF したときや、ロックした状態で、本機ハンドル部の [REC] スイッチを押したとき</td></tr>
<tr><td>SLOT SWITCHED ※ (※ : A, B)</td><td>カメラモードで、[SLOT SELECT] ボタン（または自動）で動作 SDHC スロットが切り換わったとき。</td></tr>
<tr><td>TRIGGER TO HD, TRIGGER TO DV</td><td>[IEEE1394] 端子から記録コマンドを送ったとき</td></tr>
<tr><td>FRAME RATE rrrr/pp fps
（rrrr：記録フレームレート、pp：再生フレームレート）</td><td>十字ボタン（◀ ▶）で、バリアブルフレームレートの操作を行なったとき</td></tr>
<tr><td>OK MARK ADDED, OK MARK DELETED</td><td>OK マークの登録、削除が行われたとき
(☞ 64 ページ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他の表示（ ☞ 122 ページ [エラー表示と対応])</td></tr>
<tr><td>⑬ フレームレート</td><td colspan="2">[Rec Mode] メニューが “Variable Frame” に設定されている場合のみ、xx/yy fps（xx：記録フレームレート、yy：再生フレームレート）で表示されます。（☞ 71 ページ）</td></tr>
</table>

※1　：シャッタースピードの可変範囲は、映像フォーマットの設定によって異なります。（☞ 38 ページ）

※2　：[WHT.BAL] ホワイトバランス選択スイッチが “PRESET” になったとき表示します。

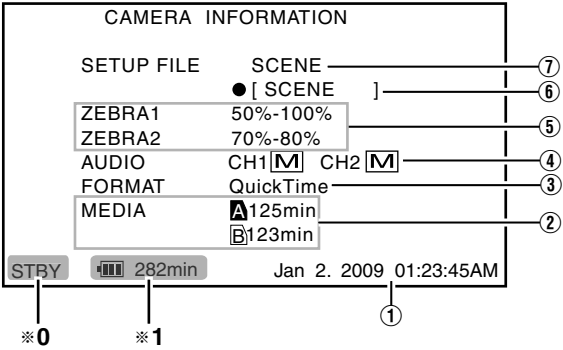
カメラモード時のステータス画面 (つづき)

ステータス 1 画面

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>① 解像度</td><td colspan="2">映像の解像度が表示されます。
(1920×1080, 1440×1080, 1280×720)</td></tr>
<tr><td>② フレームレート/ビットレート</td><td colspan="2">フレームレートとビットレートの組み合わせが表示されます。
(60p HQ, 30p HQ, 60i HQ, 60p SP, 30p SP, 60i SP, 50p HQ, 25p HQ, 50i HQ, 50p SP, 25p SP, 50i SP, 24p HQ, 24p SP)</td></tr>
<tr><td>③ OK マーク</td><td colspan="2">OK マークが付加されているとき。(☞ 64 ページ)</td></tr>
<tr><td>④ メディア残量</td><td colspan="2">A スロット、B スロットの SDHC カードごとにカードの残り記録時間を表示します。
メモ :
● ステータス 0、ステータス 4 画面では警告時のみ表示されます。(A スロット、B スロットの SDHC カードの残り時間の合計が 3 分未満の場合)
A : 現在選択されているスロットです。(白いカード)
A! : 修復またはフォーマットが必要な SDHC カード、未対応（class6 以外）の SDHC カードです。
A : 書き込み禁止スイッチがセットされている SDHC カードです。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑤ 電圧・バッテリー残量</td><td colspan="2">現在使用している電源の状態を表示します。</td></tr>
<tr><td>表示</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>12.3V</td><td>AC アダプターで駆動しています。右側は現在の電圧です。
AC アダプターの供給電圧が低下すると電圧値が赤く表示され警告します。</td></tr>
<tr><td>12.3V
200min
30%
RES</td><td>バッテリーで駆動しています。
バッテリー残量がなくなった場合は、電池マークがからになり、“RES” と表示されます。
右側の表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示項目を設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
<tr><td>⑥ オーディオレベルメーター</td><td>-20 dB -10 dB
CH 1
CH 2
CH 1
CH 2</td><td>CH-1、CH-2 のオーディオレベルが表示されます。
[Rec Mode] メニューで [Rec Mode] が “Variable Frame” に設定されている場合、音声記録は不可となり、⊘ マークが表示されます。
-20 dB と -10 dB の位置が “■” で表示されます。
メモ :
● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Audio Meter] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
</table>

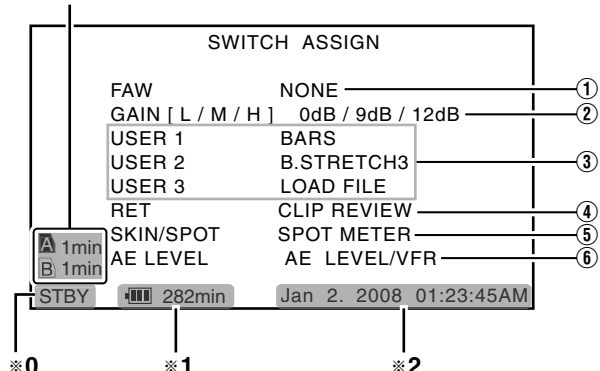
項目	説明
⑦ **ND フィルターポジション**	現在の ND フィルターポジションを表示します。 表示無し　：[ND FILTER] が “OFF” ND1/4　　：[ND FILTER] が “1/4” ND1/16　 ：[ND FILTER] が “1/16” **メモ：** ● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Filter] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(☞ 84 ページ)
⑧ **外部機器残量**	外部機器の残り記録時間を表示（0 ～ 999)、残量少の警告時、赤色表示（数字＋単位)。 **メモ：** ● ステータス 0、ステータス 4 画面では警告時のみ表示されます。
⑨ **外部機器動作**	外部機器を接続している場合に、その動作状態を表示します。詳細につきましては、外部機器の [取扱説明書] をご覧ください。 **メモ：** ● ステータス 0、ステータス 4 画面では警告時のみ表示されます。
⑩ **タイムコード（TC）/ ユーザーズビット（UB）**	タイムコード（時：分：秒：フレーム）またはユーザーズビットデータを表示します。 例）タイムコード：　TC 00:00:00:00 ノンドロップフレームはコロン（：） ドロップフレームはドット（.） ユーザーズビット：UB FF EE DD 20 **メモ：** ● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [TC/UB] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(☞ 85 ページ) ● タイムコード表示か、ユーザーズビット表示かは、LCD モニターの内側 [TC DISPLAY] スイッチで選択します。

カメラモード時のステータス画面 (つづき)

ステータス 2 画面

※0 ：ステータス 0 画面と同じ (☞ 94 ページ)
※1 ：ステータス 1 画面と同じ (☞ 96 ページ)

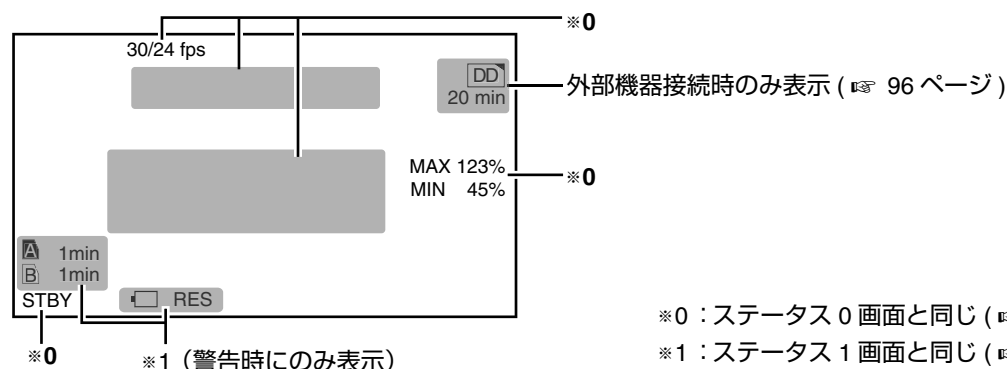
項目	説明
① 日付・時刻	現在の日付および時刻が表示されます。 **ご注意 :** ● 日付・時刻の表示スタイルは、[LCD/VF] メニュー ➔[Status Display]➔[Date Style]/[Time Style] 項目で設定できます。(☞ 85 ページ)
② MEDIA 残量	A スロット、B スロットの SDHC カードごとにカードの残り記録時間が表示されます。 A ：現在選択されているスロットです。(白いカード) A! ：修復またはフォーマットが必要な SDHC カード、未対応（class6 以外）の SDHC カードです。 A🔒 ：書き込み禁止スイッチがセットされている SDHC カードです。
③ FORMAT	[Record Format] メニュー画面 [File Format] で設定した、SDHC カードに記録するファイル形式 (File Format) が表示されます。(☞ 71 ページ)
④ AUDIO	[AUDIO SELECT CH-1/CH-2] スイッチの状態を表示します。(A：“AUTO”/M：“MANUAL”)
⑤ ZEBRA1/ZEBRA2 値	[Zebra] 項目で設定した “Bottom1” から “Top1” の設定値、[Zebra] 項目で設定した “Bottom2” から “Top2” の設定値が表示されます。(☞ 83 ページ) **メモ :** ● メニューで [Zebra] 項目を “1Pattern” に設定した場合、ZEBRA2 は “---” と表示されます。(☞ 83 ページ)
⑥ セットアップファイルのサブネーム	セットアップファイルのサブネームが表示されます。 **メモ :** ● 呼び出したファイルを変更した場合、先頭に “●” が表示されます。(☞ 111 ページ)
⑦ SETUP FILE	呼び出されているファイルの種類を表示します。(SCENE/PICTURE)

ステータス 3 画面

スイッチへの機能割付状態を一覧で表示します。

※0 ：ステータス 0 画面と同じ (☞ 94 ページ)
※1 ：ステータス 1 画面と同じ (☞ 96 ページ)
※2 ：ステータス 2 画面と同じ (☞ 98 ページ)

項目	説明
① **[FAW] 機能割り付け**	FAW 機能が [WHT.BAL] スイッチのどのポジションに割り付けられているかが表示されます。 (NONE, A, B, PRESET)
② **[GAIN] 切換スイッチ設定**	[GAIN] スイッチ [L]/[M]/[H] それぞれのポジションの設定値が表示されます。 (0dB, 3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB, AGC)
③ **[USER1,USER2,USER3] ボタン機能設定**	[USER1] ボタン、[USER2] ボタン、[USER3] ボタンの設定状態が表示されます。 (NONE, BARS, PRESET TEMP., B.STRETCH※, B.COMPRESS※, RET, LOAD FILE) ※は 1 ～ 5
④ **[RET] ボタン機能設定**	レンズの [RET] ボタンの設定状態が表示されます。 (CLIP REVIEW, FOCUS ASSIST, OK MARK)
⑤ **[SKIN AREA/SPOT METER] 切換スイッチ設定**	[SKIN AREA/SPOT METER] スイッチの設定状態が表示されます。 (SKIN AREA, SPOT METER)
⑥ **十字ボタン（◀ ▶）機能割付け**	十字ボタンの左右（◀ ▶）の機能割付けが表示されます。 (DISABLE, AE LEVEL, AE LEVEL/VFR)

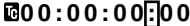
ステータス 4 画面

イベント表示またはワーニング表示のみ表示します。

※0 ：ステータス 0 画面と同じ (☞ 94 ページ)
※1 ：ステータス 1 画面と同じ (☞ 96 ページ)

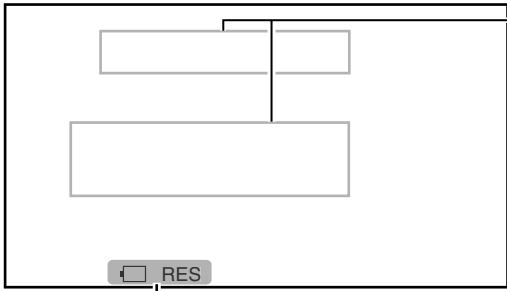
SD カードモード時のステータス画面

メディアモード（SD カードモード、メディアモード）時のステータス画面の表示です。

ステータス０画面

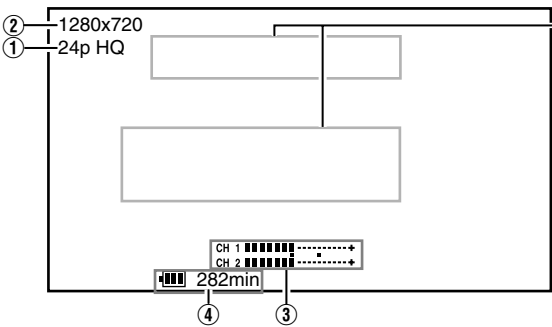
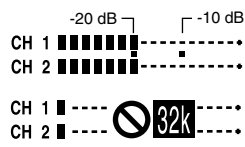
メディアの状態やイベント表示またはワーニング表示のみ表示します。

ステータス 1、2 画面

ステータス 1 画面

ステータス 2 画面

項目	説明
① **OK マーク**	OK マークが付加されているとき。(☞ 64 ページ)
② **解像度**	映像の解像度が表示されます。 (1920×1080, 1440×1080, 1280×720)
③ **フレームレート / ビットレート**	フレームレートとビットレートの組み合わせが表示されます。 (60p HQ, 30p HQ, 60i HQ, 60p SP, 30p SP, 60i SP, 50p HQ, 25p HQ, 50i HQ, 50p SP, 25p SP, 50i SP, 24p HQ, 24p SP)
④ **メディア**	再生中のクリップが入っているメディアスロット（A か B）を表示します。 SDHC カードが書き込み禁止になっている場合、鍵マークが表示されます。
⑤ **クリップ情報**	現在のクリップ番号 / 全クリップ数。
⑥ **タイムコード（TC）/ ユーザーズビット（UB）**	タイムコード（時：分：秒：フレーム）またはユーザーズビットデータを表示します。 TC　：タイムコード UB　：ユーザーズビット タイムコードのフレーミングモード表示は、下記をご覧ください。 TC00:00:00:00　ノンドロップフレームはコロン（：） ドロップフレームはドット（.） **メモ :** ● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [TC/UB] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(☞ 85 ページ) ● タイムコード表示か、ユーザーズビット表示かは、LCD モニターの内側 [TC DISPLAY] スイッチで選択します。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>⑦ 日付・時刻</td><td colspan="2">再生している SDHC カードに記録されている日付・時刻が表示されます。
ご注意 :
● 日付・時刻の表示スタイルは、[LCD/VF] メニュー ➔[Status Display]➔[Date Style]/[Time Style] 項目で設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
<tr><td>⑧ オーディオレベルメーター</td><td>-20 dB -10 dB
CH 1
CH 2</td><td>CH-1、CH-2 のオーディオレベルが表示されます。
-20 dB と -10 dB の位置が “■” で表示されます。
メモ :
● [LCD/VF]メニュー画面[Status Display]の[Audio Meter]項目で、表示のON/OFFを設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑨ 電圧・バッテリー残量</td><td colspan="2">現在使用している電源の状態を表示します。</td></tr>
<tr><th>表示</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>12.3V</td><td>AC アダプターで駆動しています。右側は現在の電圧です。
AC アダプターの供給電圧が低下すると電圧値が赤く表示され警告します。</td></tr>
<tr><td>12.3V
200min
30%
RES</td><td>バッテリーで駆動しています。
バッテリー残量がなくなった場合は、電池マークがからになり、“RES” と表示されます。
メモ :
● 右側の表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示表示項目を設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
<tr><td>⑩ メディアの状態</td><td colspan="2">PLAY　：再生中
STILL　：静止画再生モード時
FWD ※　：フォワード方向倍速再生中（※ 再生スピード 5 倍か 15 倍）
REV ※　：リバース方向倍速再生中（※ 逆再生スピード 5 倍か 15 倍）
STOP　：停止モード
POFF　：電源 OFF 時</td></tr>
<tr><td>⑪ 操作ガイド</td><td colspan="2">現在操作できるボタンの操作ガイドが表示されます。</td></tr>
</table>

IEEE1394 入力モード時のステータス画面

メディアモード（IEEE1394 入力モード）時のステータス画面の表示です。

ステータス 1 画面

ステータス 2 画面

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>① フレームレート/ビットレート</td><td colspan="2">フレームレートとビットレートの組み合わせが表示されます。
(60p HQ, 30p HQ, 60i HQ, 60p SP, 30p SP, 60i SP, 50p HQ, 25p HQ, 50i HQ, 50p SP, 25p SP, 50i SP, 24p HQ, 24p SP)</td></tr>
<tr><td>② 解像度</td><td colspan="2">映像の解像度が表示されます。(1920×1080, 1440×1080, 1280×720)</td></tr>
<tr><td>③ オーディオレベルメーター</td><td>-20 dB -10 dB
CH 1
CH 2
CH 1
CH 2 32k</td><td>CH-1、CH-2 のオーディオレベルが表示されます。
IEEE1394 モード時、入力サンプリング周波数が 48K 以外の場合、⊘マークと入力サンプリング周波数が表示されます。(32k, 44.1k)
-20 dB と -10 dB の位置が “■” で表示されます。
メモ :
● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Audio Meter] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
<tr><td>④ 電圧・バッテリー残量</td><td colspan="2">現在使用している電源の状態を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>表示</td><td>説明</td></tr>
<tr><td></td><td>12.3V</td><td>AC アダプターで駆動しています。右側は現在の電圧です。
AC アダプターの供給電圧が低下すると電圧値が赤く表示され警告します。</td></tr>
<tr><td></td><td>12.3V
200min
30%
RES</td><td>バッテリーで駆動しています。
バッテリー残量がなくなった場合は、電池マークがからになり、“RES” と表示されます。
メモ :
● 右側の表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示表示項目を設定できます。(☞ 85 ページ)</td></tr>
</table>

LCD モニターのステータス拡大表示

LCD モニター上にステータス画面のキャラクターだけを拡大表示することができます。

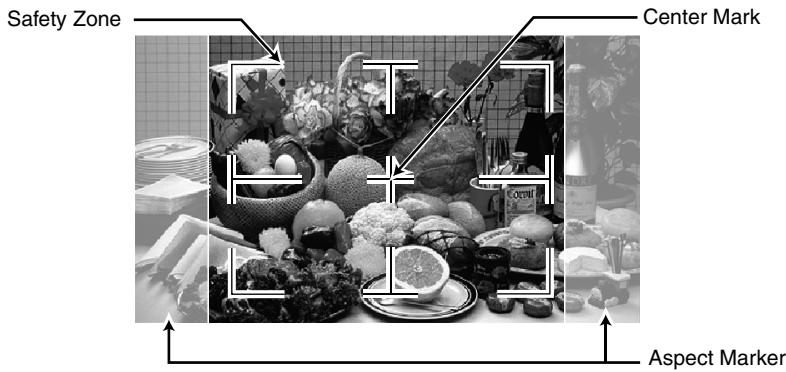
項目	説明
① オーディオレベルメーター	[CH-1]、[CH-2] のオーディオレベルが表示されます。 オーディオ基準レベル（“-20dB” または “-12dB”）以上の場合は黄色で表示、“Over” 部分は赤色で表示されます。“48k” はサンプリング周波数です。 **メモ :** ● [Rec Mode] メニューで [Rec Mode] が “Variable Frame” に設定されている場合、音声記録は不可となり、⊘マークが表示されます。
② フレーミングモード	フレーミングモードが表示されます。 [DF]　：ドロップフレーム [NDF]　：ノンドロップフレーム
③ タイムコードジェネレート	タイムコードの動作モードを表示します。（表示：[FREE]、[RECR]、[REGN]）（☞ 46 ページ）
④ メディアの状態	SDHC カードの状態が、文字と記号で表示されます。 ----　：選択されたスロットにカードがない STBY　：記録スタンバイ（記録ポーズ） REC　：記録中 REVIEW：クリップレビュー動作中（☞ 52 ページ） STBYP　：Pre Rec 記録スタンバイ（☞ 54 ページ） RECP　：Pre Rec 記録中（☞ 54 ページ） STBYC　：Clip Continuous 記録スタンバイ（☞ 55 ページ） RECC　：Clip Continuous 記録中（☞ 55 ページ） STBYC（赤表示）：Clip Continuous 記録一時停止状態（☞ 55 ページ） STOP　：スロットにカードはあるが記録できない POFF　：電源 OFF 時
⑤ メディア残量	SDHC カードの残り記録時間が表示されます。有効なスロットは白字に黒文字のカードアイコンで、拡大表示されます。SDHC カードが書き込み禁止になっている場合、鍵マークが表示されます。
⑥ OK マーク	OK マーク付きのクリップを再生している場合、[OK] と表示されます。
⑦ ビデオフォーマット	設定されている、ビデオフォーマットが表示されます。（☞ 36 ページ）
⑧ 電圧・バッテリー残量	現在使用している電源の状態を表示します。 **表示：** 12.3V（AC アダプター） **説明：** AC アダプターで駆動しています。右側は現在の電圧です。 AC アダプターの供給電圧が低下すると電圧値が赤く表示され警告します。 **表示：** 12.3V / 200min / 30% / RES（バッテリー） **説明：** バッテリーで駆動しています。 バッテリー残量がなくなった場合は、電池マークがからになり、“RES” と表示されます。 **メモ :** ● 右側の表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示表示項目を設定できます。(☞ 85 ページ)
⑨ 外部機器動作	外部機器を接続している場合に、その動作状態を表示します。 詳細につきましては、外部機器の [取扱説明書] をご覧ください。
⑩ タイムコード（TC）/ ユーザーズビット（UB）	タイムコード（時：分：秒：フレーム）またはユーザーズビットデータを表示します。 TC 00:00:00:00 ノンドロップフレームはコロン（：） ドロップフレームはドット（.）

メモ :

● LCD モニター画面にステータスを拡大表示した場合でも、ビューファインダーでは映像が表示されます。

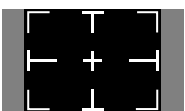
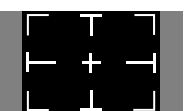
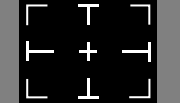
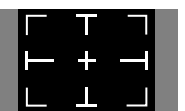
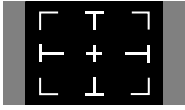
マーカー表示およびセーフティーゾーン表示（カメラモード時のみ）

撮影の目的に応じて映像の画角を決めるとき、マーカーやセーフティゾーンを表示すると便利です。

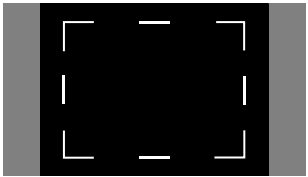
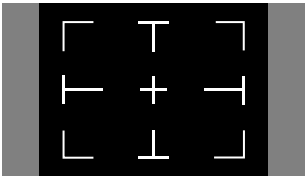
■ [Aspect Ratio] ＝ “4:3”、[Aspect Marker]=“Line+Halftone”、[Center Mark]=“On” の場合の表示例

[LCD/VF] メニュー画面 [Marker Setting] の [Aspect Ratio]、[Safety Zone] および [Center Mark] 項目の設定によって下記のようなセーフティーゾーンおよびセンターマーク表示の ON/OFF が選択できます。（☞ 84 ページ）

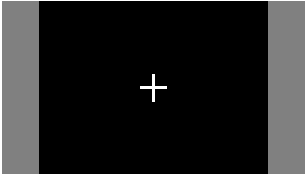
[Aspect Marker] の表示例

■ [Aspect Ratio] ＝ “4:3” の場合

[Line]	[Halftone]	[Line+Halftone]

[Aspect Ratio] の設定による [Aspect Marker] の表示例

■ [Aspect Marker] ＝ “Halftone” の場合

[4:3]	[14:9]	[16:9]/[16:9(+4:3)]	[2.35:1 Center]	[2.35:1C.HeadRM]
		※[Aspect Marker]設定不可。（“Off” 固定）		
[1.85:1 Center]	**[1.85:1C.HeadRM]**	**[1.66:1]**	**[1.75:1]**	

[Safety Zone] の表示例

■ [Aspect Ratio] = “4:3”、[Aspect Marker] = “Halftone”、[Center Mark] = “On” の場合

[Center Mark] の表示例

■ [Aspect Ratio] = “4:3”、[Aspect Marker] = “Halftone”、[Safety Zone] = “80%” の場合

■ [Aspect Ratio] = “4:3”、[Aspect Marker] = “Halftone”、[Safety Zone] = “Off” の場合

肌色をなめらかに見せる（スキンディテール機能）

スキンディテール機能を使うと、ビデオ信号の肌色部分の輪郭強調をおさえ、肌色をしっとりとなめらかに見せることができます。

スキンディテール機能を使用するための準備（スキンアジャスト機能）

1 ホワイトバランスの調整をする（☞ 40 ページ）

2 **[Skin Color Adjust]** 画面を表示させる（☞ 78 ページ）

- [Main Menu] 画面 ➡[Camera Process] メニュー ➡[Detail]/[Adjust]➡[Skin Color Adjust] を選択しセットボタン（●）を押します。
- 画像全体が白黒表示となり、スキンカラー検出部分のみカラー表示となります。

メモ：
- [Bars] 表示、[Zebra] 表示、マーカー表示（[Aspect Marker]/[Safety Zone]/[Center Mark]）、[Focus Assist] 表示、[VF Display] の [B & W] 表示は一時的に “Off” となります。

■色相範囲の検出

1 肌色検出枠内に検出する被写体を映す

2 十字ボタン（▲▼）で、**[Skin Color Detect]** にカーソルをあわせる

3 セットボタン（●）を押す

表示が “Stop” から “Execute” に変わり、検出を開始します。

メモ：
- 枠内の被写体が設定色範囲にない場合は “Error” と表示されます。

4 希望の色相範囲が検出されたら、セットボタン（●）を押す

- “Error” 表示が無ければデータをメモリーして終了します。
- “Error” 表示がでた場合は、データをメモリーしないで終了します。

5 色相範囲検出後、**[Back]** にカーソルをあわせ、セットボタン（●）を押す

[Detail] メニュー画面に戻ります。

■色範囲の設定

1 十字ボタン（▲▼）で、**[Skin Color Range]** にカーソルをあわせる

2 セットボタン（●）または十字ボタン（▶）を押しカーソルを設定値にあわせる

3 十字ボタン（▲▼）で設定値を選択しセットボタン（●）を押す

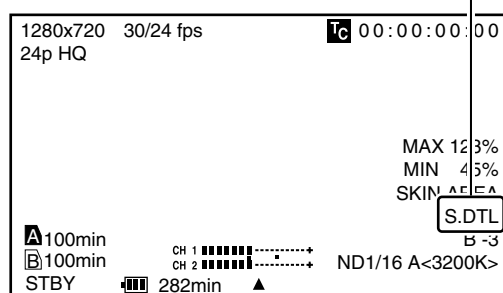
[Narrow、-1 ～ -9、Normal、9 ～ 1、Wide] の範囲で設定します。

4 設定終了後、**[Back]** にカーソルをあわせ、セットボタン（●）を押す

データがメモリーされ [Detail] メニュー画面に戻ります。

スキンディテール機能を使う

1 **[Skin Detect]** 項目を “**On**” に設定します（☞ 78 ページ）

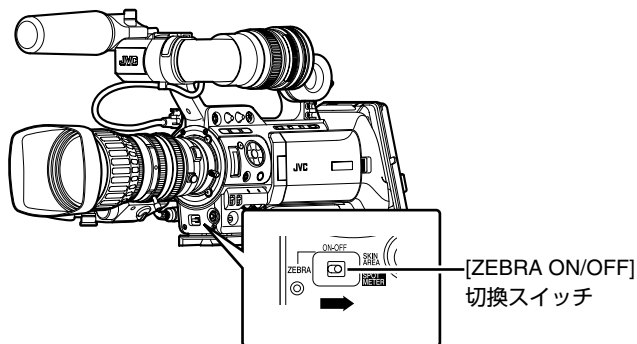
- [Main Menu] 画面 ➡[Camera Process] メニュー ➡[Detail]/[Adjust]➡[Skin Detect] を “On” に設定します。
- スキンディテール機能が動作中、LCD モニター画面やビューファインダーのステータス 0 およびステータス 1 画面に “S.DTL” と表示されます。

ステータス 1 画面

2 肌色の輪郭強調を抑えるレベルを設定する（☞ 78 ページ）

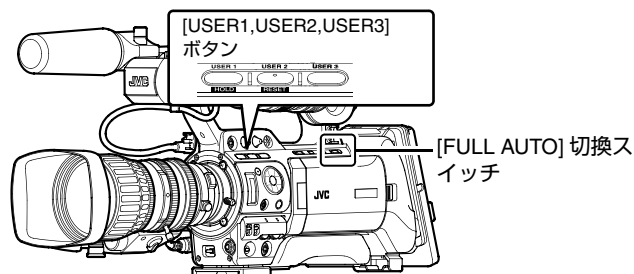
[Main Menu] 画面 ➡[Camera Process] メニュー ➡[Detail]/[Adjust]➡[Skin Color Detect]/[Level] を設定します。

設定した色相エリアを確認する

1 **本機前面部の [ZEBRA ON/OFF] スイッチを [SKIN AREA/SPOT METER] 側に倒す**

スキンアジャスト機能が一時的に強制 ON になり、LCD モニターやビューファインダーに設定した色相エリアがカラー表示されます。

メモ :
- [Camera Process] メニュー画面の [Color Gain] 項目が "Off" に設定されている場合、スキンディテールが機能している部分のみ肌色で表示されます。(☞ 77 ページ)
- [Camera Function] メニュー画面の [Switch Set] の [SKIN A./SPOT M.] 項目で "Spot Meter" を選択している場合、[SKIN AREA/SPOT METER] スイッチでの確認はできません。(☞ 75 ページ)

カラーバーを出力する

本機は、マルチフォーマットカラーバーを出力することができます。

設定

カラーバーを出力する場合は、下記の設定をします。

1 **[FULL AUTO] スイッチを "OFF" に設定する**

2 **[Camera Function] メニュー画面の [Bars] 項目を "On" に設定する(☞ 73 ページ)**

カラーバーが出力されます。

USER ボタンを使ってカラーバーを出力する場合

1 **[FULL AUTO] スイッチを "OFF" に設定**

2 **[USER1]/[USER2]/[USER3] ボタンのいずれかに "Bars" を割り付ける**

[Camera Function] メニュー画面の [Switch Set] の [USER1]/[USER2]/[USER3] 項目で設定します。
(☞ 74 ページ)

3 **"Bars" を割り付けた、[USER1]/[USER2]/[USER3] ボタンのいずれかを押す**

カラーバーが出力されます。

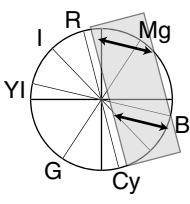
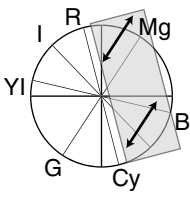
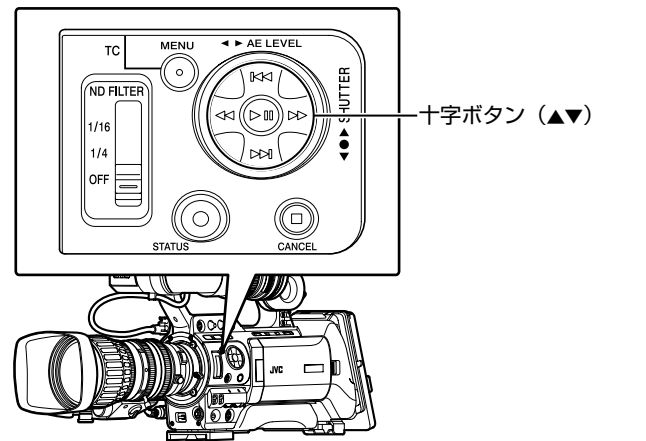
メモ :
- カラーバー出力時、オーディオ基準信号を出力するかを [Audio Set] メニュー画面の [Test Tone] 項目で選択できます。(☞ 72 ページ)
- [FULL AUTO]スイッチが"ON"で[FULL AUTO]メニューの [Bars] 項目が "Off" のとき、またはメディアモード時、カラーバーは出力しません。

カラーマトリックスの調整

本機はカラーマトリックスを好みの色に調整できます。
複数のカメラを用いて撮影する場合に、各カメラの色をあわせたり、本カメラを自分の好みの色再現に調整することができます。
彩度方向の 13 のパラメータ、色相方向の 3 つのパラメータで調整します。カラーチャートなどを使用してベクトルスコープおよび、波形モニターで色を調整してください。

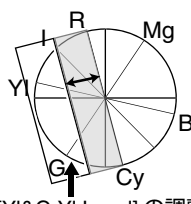
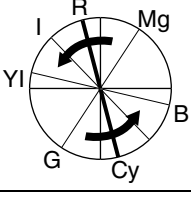
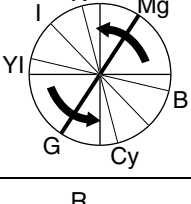
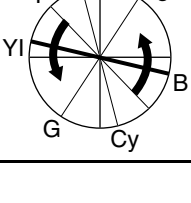
※[Color Matrix] 項目の “Standard”、“Cinema Vivid”、“Cinema Subdued” それぞれに調整値を保持することができます。(☞ 77 ページ)

1 **[Camera Process] メニューの [Color Matrix]/[Adjust] 項目を選択する** **(☞ 80 ページ)**

2 **彩度（サチュレーション）方向の調整**

- 十字ボタン（▲▼）で、値を選択します。
- [Mg&R Mg Level]から[B&Mg Mg Level]の12項目はそれぞれベクトルスコープ上で下図のグレー部分の補正範囲が矢印方向に変化します。

メモ：
- このときベクトルだけでなく、補正範囲の輝度 Y レベルも変化します。

項目		調整
Mg&R Mg Level		数値を上げる： 補正 Y 下がる 数値を下げる： 補正 Y 上がる
Mg&R R Level		数値を上げる： 補正 Y 上がる 数値を下げる： 補正 Y 下がる
R&Yl R Level		数値を上げる： 補正 Y 上がる 数値を下げる： 補正 Y 下がる
R&Yl Yl Level		数値を上げる： 補正 Y 下がる 数値を下げる： 補正 Y 上がる
Yl&G Yl Level		数値を上げる： 補正 Y 下がる 数値を下げる： 補正 Y 上がる
Yl&G G Level		数値を上げる： 補正 Y 上がる 数値を下げる： 補正 Y 下がる
G&Cy G Level		数値を上げる： 補正 Y 上がる 数値を下げる： 補正 Y 下がる
G&Cy Cy Level		数値を上げる： 補正 Y 下がる 数値を下げる： 補正 Y 上がる
Cy&B Cy Level		数値を上げる： 補正 Y 下がる 数値を下げる： 補正 Y 上がる
Cy&B B Level		数値を上げる： 補正 Y 上がる 数値を下げる： 補正 Y 下がる

B&Mg B Level		数値を上げる： 補正 Y 上がる 数値を下げる： 補正 Y 下がる
B&Mg Mg Level		数値を上げる： 補正 Y 下がる 数値を下げる： 補正 Y 上がる

3 Yl&G Mask Range の調整

[Yl&G Yl Level] の調整および、[Yl&G G Level] の調整を行うと、I 軸（主に肌色付近の色）にも影響を及ぼします。
[Yl&G Yl Level] を大きくした場合は、肌色もわずかに黄色の方向に補正されます。また [Yl&G G Level] を大きくした場合は、肌色もわずかに緑の方向に補正されます。
Yl&G を黄色や緑方向に強めたいが、肌色には影響させたくない場合は [Yl&G Mask Range] を調整します。
[Yl&G Mask Range] は下図のように、[Yl&G Yl Level] の調整および　[Yl&G G Level] の調整を効かなくするための R 軸からグレー部分の範囲を調整します。
[Yl&G Mask Range] の数字を上げるほど、マスク範囲が広がり、I 軸（主に肌色付近）において、[Yl&G Yl Level] 調整および [Yl&G G Level] 調整の影響を受けにくくなります。ただし、[Yl&G Yl Level] および [Yl&G G Level] の補正はやや小さくなります。

Yl&G Mask Range	[Yl&G Yl Level] の調整および [Yl&G G Level] の調整

4 色相（Hue）の調整

R 軸、G 軸、B 軸を中心に色相を調整します。
下図のように、数字を大きくするとベクトルスコープ上で各軸を中心に反時計周りに位相がまわります。数字を小さくすると時計周りに位相がまわります。

R Rotation		数値を上げる： R 軸を中心に反時計回りに色相がまわる。
G Rotation		数値を上げる： G 軸を中心に反時計回りに色相がまわる。
B Rotation		数値を上げる： B 軸を中心に反時計回りに色相がまわる。

暗部の再現性の設定（ブラックストレッチ・コンプレス機能）

映像の暗い部分と明るい部分のバランスに応じて暗部の処理を変え、全体的なコントラストのバランスを調整します。

1 [Camera Process] メニューの [Black Toe] 項目を撮影するビデオ信号の状況によって調整する

2 "Stretch"（または "Compress"）の輝度点 (Point Level) の設定

- 映像の暗い部分を伸張（Stretch）または圧縮（Compress）する、輝度点 (Point Level) を決めます。
- 輝度点 (Point Level) は、"5% ～ 15%" の範囲内で設定できます。

3 "Stretch"（または "Compress"）量の調整

- 暗部の映像を伸張（Stretch）または圧縮（Compress）する量を [Stretch Level] または [Compress Level] で設定します。
- 数値が大きくなるほど伸張量や圧縮量が増えます。

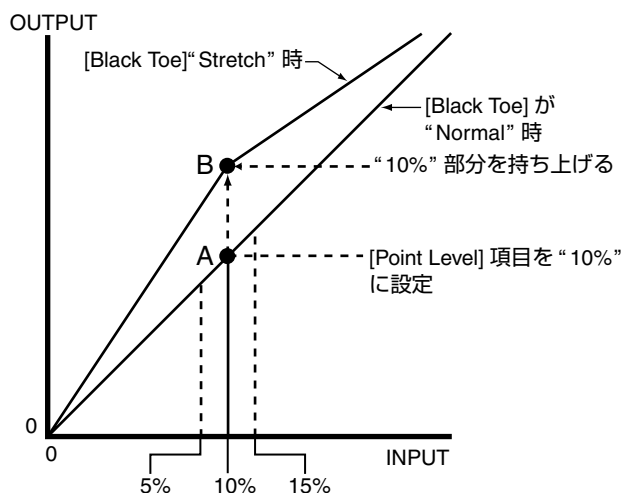
■ 設定例

通常状態（[Black Toe] が "Normal"）で映像レベル 10 %の部分（下図 A 点）を持ち上げたい場合

① [Black Toe] 項目を "Stretch" に設定します。

② [Point Level] 項目を "10%" に設定します。

③ どれくらい持ち上げるか、量を [Stretch Level] 項目（"Level 1 ～ Level 5"）で設定。

映像レベル 10 %の A 点は B 点まで伸張され、暗部の表現力が豊かになります。（下図参照）

セットアップファイルの設定方法

本機では、メニューの設定値をセットアップファイルとして本機や SDHC カードに保存しておくことができます。
保存したセットアップファイルを呼び出すことによって適切なセットアップ状態をすばやく再現することができます。
セットアップファイルには、次の 2 種類があります。

■ シーンファイル：

ビデオフォーマットの設定から、機器設定、撮影条件などにあわせた画作り設定まで、メニューの全設定データおよび [Favorites Menu] の登録内容を対象とするファイル。

■ ピクチャーファイル：

撮影条件などにあわせて調整した画作り設定（[Camera Process] メニューの項目）を対象とするファイル。
（☞ 76 ページ）

セットアップファイルの保存や呼び出しは、[Setup File Manage] メニューにて行います。
[Setup File Manage] メニューでは下記操作が行えます。

- **セットアップファイルの保存（☞ 112 ページ）**
- **セットアップファイルの呼び出し（☞ 113 ページ）**
- **保存したファイルの初期化（☞ 113 ページ）**

■扱い可能なファイル数

本機　：[CAM1] 〜 [CAM4]
SDHC カード
　スロット A　：A[EXT1] 〜 A[EXT8]
　スロット B　：B[EXT1] 〜 B[EXT8]

■プリセットセットアップファイル

撮影状況に応じた呼び出し専用シーンファイル（下記３種類）および、ピクチャーファイル（下記 2 種類）装備しています。

シーンファイル

[GY-HD 60p LIKE]　：GY-HD シリーズの色調にあわせた設定です。[Camera Resolution] が “1280x720”、[Frame & Bit Rate] が “60p(HQ)” のモードとなります。

[GY-HD 50p LIKE]　：GY-HD シリーズの色調にあわせた設定です。[Camera Resolution] が “1280x720”、[Frame & Bit Rate] が “50p(HQ)” のモードとなります。

[CINEMA 1080/24p]：映画のような映像撮影に適した設定です。[Camera Resolution] が “1920x1080”、[Frame & Bit Rate] が “24p(HQ)” のモードとなります。

ピクチャーファイル

[GY-HD LIKE]　：GY-HD シリーズの色調にあわせた設定です。

[CINEMA]　：映画のような映像撮影に適した設定です。

メモ :

- 上記の呼び出し専用セットアップファイルは、保存およびリセットできません。

セットアップファイルの設定方法 (つづき)

セットアップファイルの保存

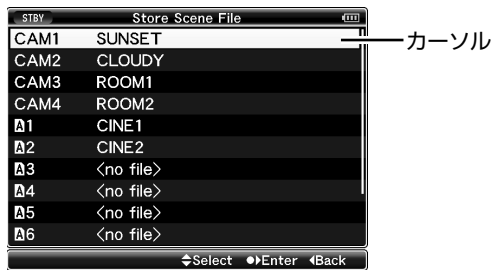
1 [Setup File Manage] メニューを表示させる

[Main Menu] 画面で、[Setup File Manage] メニューを選択しセットボタン（●）を押します。（☞ 89 ページ）

2 [Store File] 項目を選択しセットボタン（●）を押す

3 [Scene File] か [Picture File] を選択しセットボタン（●）を押す

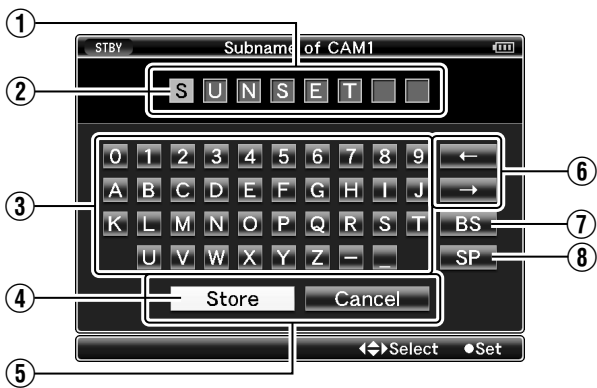
設定されているファイルが表示されます。

4 十字ボタン（▲▼）で新規保存（または上書き保存）するファイルを選択しセットボタン（●）を押す

[Store File] メニュー画面

メモ :
- 下記の場合、書き込みできません。（グレー表示、選択不可）
  - 挿入されている SDHC カードが未対応（SDHC Class 6 以外、または未フォーマット）のとき。（ファイル名が “---” と表示される。）
  - 書込み禁止スイッチがセットされている SDHC カードが挿入されているとき（SDHC カードアイコンのとなりに🔒マークが表示。）

5 ファイルに名前をつける

ソフトウエアキーボードでサブネームを入力します。

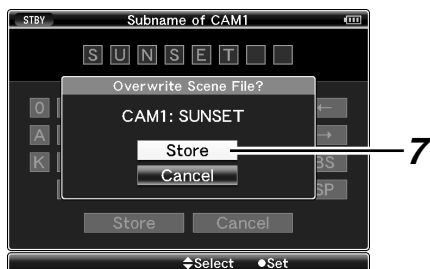
■ ソフトウエアキーボードの操作説明（☞ 67 ページ）

メモ :
- ファイルに上書きする場合、ファイルのサブネームが入力済みの状態で表示されます。
- [Cancel] を選択しセットボタン（●）を押すか、[CANCEL] ボタンを押すと前画面に戻ります。

名称	説明
① 文字入力枠	タイトル入力枠です。 [Scene File]、[Picture File] のサブネームは 8 文字まで入力できます。
② 文字カーソル	ボタンカーソル ④ を移動して文字を選択し、セットボタン（●）を押すと文字カーソルがある位置に文字が入力され、文字カーソルが右に移動します。 文字カーソル移動ボタン ⑥ でカーソルの位置を移動できます。
③ 文字ボタン	十字ボタン（▲▼◀▶）でボタンカーソル ④ を移動させ、入力する文字を選択します。
④ ボタンカーソル	選択されている文字・項目です。十字ボタン（▲▼◀▶）で移動します。
⑤ 動作決定ボタン	[Store] を選択しセットボタン（●）を押すとタイトルが決定されます。 [Cancel] を選択しセットボタン（●）を押すと文字入力が破棄され、前の画面に戻ります。
⑥ 文字カーソル移動ボタン	文字カーソル ② の位置を移動します。
⑦ [BS] バックスペースボタン	[BS] を選択し、セットボタン（●）を押すと、文字カーソル ② の左にある文字が削除されます。
⑧ [SP] スペースボタン	[SP] を選択し、セットボタン（●）を押すと、文字カーソル ② にスペースが入力されます。

6 **動作決定ボタン ⑤ の [Store] を選択しセットボタン（●）を押す**

確認画面が表示されます。

7 **確認画面で [Store] を選択し、セットボタン（●）を押す**

保存が開始され、画面に “Storing...” と表示されます。

メモ：

- ファイルを保存しない場合は [Cancel] を選択するか、[CANCEL] ボタンを押すと前画面に戻ります。
- ファイルの保存に失敗した場合、“Store Error!”（赤枠）と数秒表示され、前画面に戻ります。

8 **保存完了**

ファイルの保存が完了したら、画面に “Complete” と表示され、自動的にメニュー画面がとじます。

セットアップファイルの呼び出し

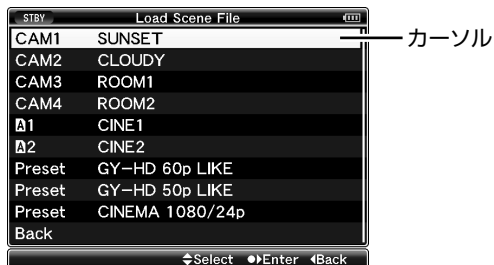
1 **[Setup File Manage] メニューを表示させる**

[Main Menu] 画面で、[Setup File Manage] メニューを選択しセットボタン（●）を押します。（☞ 89 ページ）

2 **[Load File] 項目を選択しセットボタン（●）を押す**

3 **[Scene File] か [Picture File] を選択しセットボタン（●）を押す**

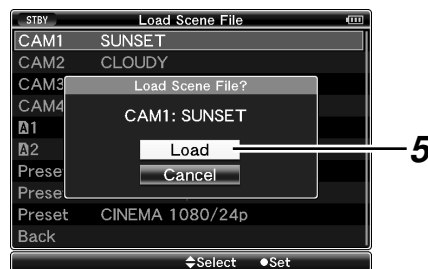
設定されているファイルが表示されます。

4 **十字ボタン（▲▼）で呼び出すファイルを選択しセットボタン（●）を押す**

[Load File] メニュー画面

メモ：

- 書込み禁止スイッチがセットされている SDHC カードが挿入されている場合、SDHC カードアイコンのとなりに 🔒 マークが表示されます。書込み禁止スイッチがセットされている SDHC カードでも、ファイルの呼び出しはできます。

5 **確認画面で [Load] を選択し、セットボタン（●）を押す**

呼び出しが開始され、画面に “Loading...” と表示されます。

メモ：

- ファイルを呼び出さない場合は [Cancel] を選択するか、[CANCEL] ボタンを押すと前画面に戻ります。
- ファイルの呼び出しが失敗した場合、“Load Error!”（赤枠）と数秒表示され、前画面に戻ります。

6 **取り込みの終了**

ファイルの呼び出しが完了したら、画面に “Complete” と表示され、自動的にメニュー画面がとじます。

セットアップファイルの初期化

1 **[Setup File Manage] メニューを表示させる**

[Main Menu] 画面で、[Setup File Manage] メニューを選択しセットボタン（●）を押します。（☞ 89 ページ）

2 **[Reset File] 項目を選択しセットボタン（●）を押す**

3 **[Scene File] か [Picture File] を選択しセットボタン（●）を押す**

設定されているファイルが表示されます。

4 **十字ボタン（▲▼）で削除するファイルを選択しセットボタン（●）を押す**

メモ：

- SDHC カード内に保存されたシーンファイルおよび、プリセットシーンファイルは選択・初期化できません。

5 **確認画面で [Reset] を選択し、セットボタン（●）を押す**

削除が開始され、画面に “Resetting...” と表示されます。

メモ：

- ファイルを初期化しない場合は [Cancel] を選択するか、[CANCEL] ボタンを押すと前画面に戻ります。

6 **初期化完了**

ファイルの初期化が完了したら、画面に “Complete” と表示され、自動的にメニュー画面がとじます。

外部モニターの接続

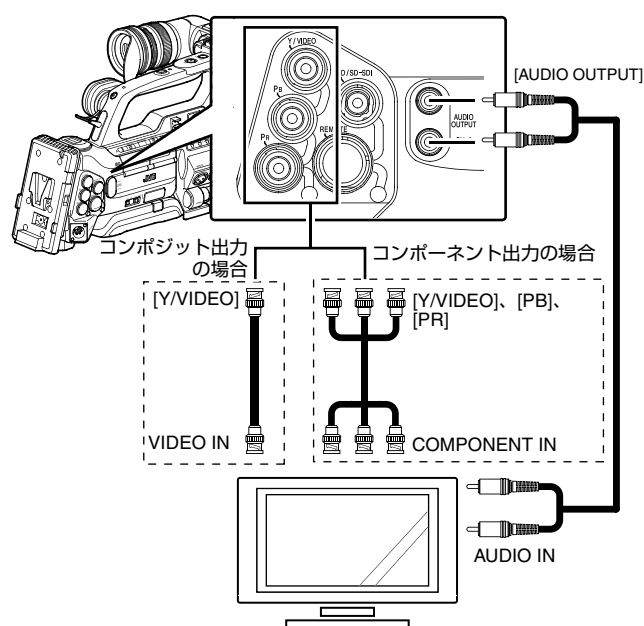
記録・再生の映像や音声を外部モニターに表示させるには、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じたケーブルを使用して接続してください。

コンポジット出力 / コンポーネント出力で接続する

本機端子部の BNC 端子からは、コンポーネントまたはコンポジットのどちらかの信号を出力することができます。

[Y/VIDEO] 出力端子（コンポジット）か、[Y/VIDEO]、[PB]、[PR] 映像信号出力端子（コンポーネント）で外部モニターと接続します。

※[A/V Out]メニューの[Output Terminal]項目より出力信号を選択します。(☞ 86 ページ)

※外部モニターにメニュー画面や、ステータス画面を表示する場合は、[A/V Out] メニューの [Analog Out Char.] 項目を “On” に設定してください。(☞ 86 ページ)

■コンポジット出力時の設定

1 ダウンコンバートする

コンポジット出力時、HD の映像を SD の映像に “ ダウンコンバート ” する方式を選択します。

[A/V Out] メニューの [Down Convert] 項目で設定します。

選択できる方式は、“Side Cut”、“Letter Box”（上下黒味）、“Squeeze”（フルサイズ・左右圧縮）です。

(☞ 86 ページ)

2 セットアップ信号を付加する

コンポジット出力時、出力される映像信号にセットアップ信号を付加することができます。

※[A/V Out] メニューの [Set Up] 項目より付加する･付加しないを選択します。(☞ 86 ページ)

SDI で接続する

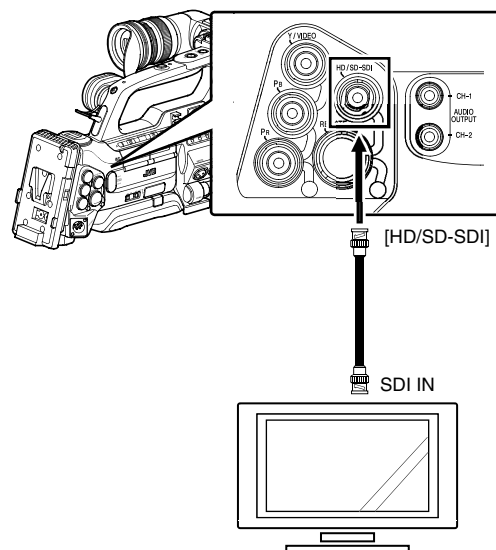
本機端子部の [HD/SD-SDI] 端子（BNC）からは、HD-SDI 信号または SD-SDI 信号のどちらかの信号を出力することができます。

- HD-SDI 信号、SD-SDI 信号のいずれの信号にもデジタル音声信号と同時にエンベディッド（重畳）音声信号とタイムコード信号が出力されます。
- [HD/SD-SDI] 出力端子から出力されるユーザーズビットは、有効画像信号判別フラグとして利用されるため、正確な値が出力されません。

メモ :

- エンベディッド（重畳）音声のサンプリング周波数は 48 kHz です。さらに、内蔵タイムコードジェネレーターのタイムコードと再生タイムコードが出力されます。

※[A/V Out]メニューの[HD/SD-SDI Out]項目より出力信号を選択します。(☞ 86 ページ)

※外部モニターにメニュー画面や、ステータス画面を表示する場合は、[A/V Out] メニューの [SDI Out Char.] 項目を “On” に設定してください。(☞ 86 ページ)

■SDI 出力時の設定

1 ダウンコンバートする

SD-SDI 出力時、HD の映像を SD の映像に “ ダウンコンバート ” する方式を選択します。

[A/V Out] メニューの [Down Convert] 項目で設定します。

選択できる方式は、“Side Cut”、“Letter Box”（上下黒味）、“Squeeze”（フルサイズ・左右圧縮）です。

(☞ 86 ページ)

[PHONES] 端子

[PHONES] 端子から出力される音声は、[A/V Out] メニューの [Audio Monitor] 項目 (☞ 87 ページ) と、本体の [MONITOR SELECT] スイッチで選択します。
設定の組み合わせによる [PHONES] 端子からの出力およびモニタースピーカーからの出力は以下のとおりです。

[MONITOR SELECT] 切換スイッチ設定	[Audio Monitor] の設定	[PHONES] 端子	
		L	R
[CH-1]	—	CH1	
[BOTH]	[Mix]	CH1+CH2	
	[Stereo]	CH1	CH2
[CH-2]	—	CH2	

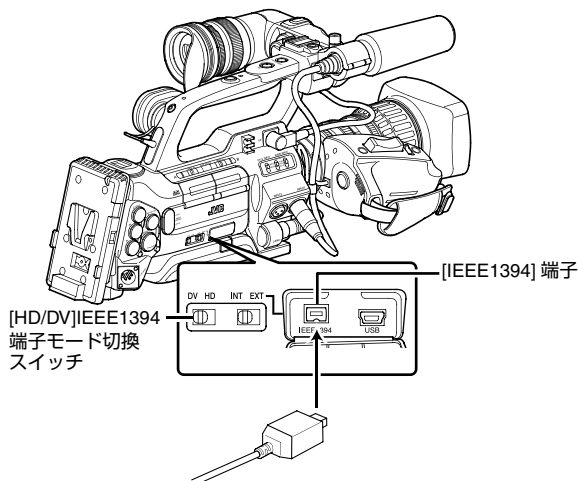
IEEE1394 接続

IEEE1394 端子に接続された外部機器で以下のことが可能です。

① バックアップ記録（☞ 116 ページ）

本機の SDHC カードに記録されるのと同じ画像を記録する。

② ノンリニア編集システムへのストリーム転送（☞ 117 ページ）

ノンリニア編集システムを使って編集する場合、本機の再生画像をストリーム転送することができます。

ご注意 :

- 本機と外部機器を IEEE1394 ケーブルで接続する場合、必ず下記の手順を確認してください。正しく接続しないと、本体の回路が故障する場合があります。
  - 本体および接続機器の電源を切ってからIEEE1394ケーブル接続を行なってください。
  - 静電気が発生した状態、または発生しやすい場所では、接続しないようにしてください。
  - 本機と外部機器は 1 対 1 で接続し、使用してください。
  - [HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチを切り換える場合、本機および接続機器の電源を切ってから行なってください。
- [IEEE1394] 入力端子から入出力する映像フォーマットと [HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチの設定が違う場合、“VIDEO FORMAT INCORRECT” と表示されます。[HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチを映像フォーマットにあわせて設定してください。

VIDEO FORMAT
INCORRECT

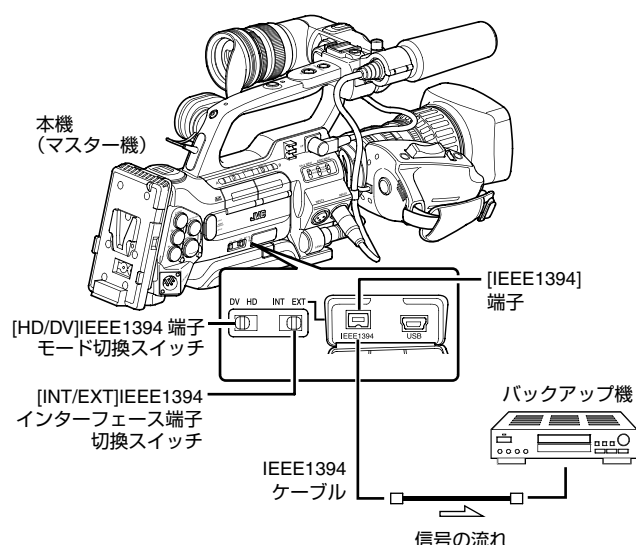
- [INT/EXT]IEEE1394 インターフェース端子切換スイッチを “EXT” に設定し、[Frame & Bit Rate] 項目の設定で “HQ” モードを選択している場合、[IEEE1394] 端子から信号は出力されません。(☞ 71 ページ)

IEEE1394 接続 (つづき)

バックアップ記録

本機をカメラモードにすると、本機で撮影している画像が、IEEE1394 端子からストリーム出力されます。
本機の記録操作によって、本機と外部機器とを連動して記録することや、本機と外部機器を別々に記録することができます。

1 本機とバックアップ機器を接続する

本機をマスター機として、バックアップ機と IEEE1394 ケーブルで接続します。

2 本機をカメラモードにする

3 記録するビデオフォーマットを設定する

ご注意 :

- [Frame & Bit Rate]項目の設定で必ずSPモードを選択してください。

4 本機（マスター機）の設定

①[HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチを設定します。

[DV] ： DV フォーマットでバックアップするとき
[HD] ： HD フォーマットでバックアップするとき

②[INT/EXT]IEEE1394 インターフェース端子切換スイッチを “EXT” に設定します。

③カメラモードにします。

④本機の記録操作によって、本機と外部機器をどのように記録するかを [Others] メニューの [1394 Rec Trigger] 項目で設定します。(☞ 88 ページ)

5 外部機器を記録可能な状態にする

外部機器の設定方法や操作については、外部機器の [取扱説明書] をご覧ください。

ご注意 :

- 本機と外部機器の IEEE1394 設定をあわせてください。
- 正しく接続されているか、確認してから記録操作してください。

6 本機で記録操作を行う

手順 **3** の設定により、本機および外部機器にカメラの映像が記録されます。

ご注意 :

- 記録開始点や終了点で本機とバックアップ機によって画像、音声、タイムコードがズレます。

メモ :

- バックアップ記録を開始すると LCD モニターやビューファインダーに “TRIGGER TO DV” または “TRIGGER TO HD” と約 3 秒間表示されます。

■外部機器に記録された映像を確認する

（メディアモードの IEEE1394 入力モード）

メディアモード（SD カードモード）でサムネイル表示中、[IEEE1394] 端子に接続されている機器の電源が入っている場合、[CAM/MEDIA] 切換ボタンを押すと、接続されている機器の再生画像などが LCD モニターやビューファインダーに表示されます。
[IEEE1394] 端子に接続されている機器の電源が入っていないなど、[IEEE1394] 接続が認識されない場合、このモードには切り換わりません。
本モードのステータス表示は下記になります。本モードのステータス表示につきましては、[IEEE1394 入力モード時の ステータス画面] (☞ 102 ページ) をご覧ください。

1 [CAM/MEDIA] ボタンを押して、IEEE1394 入力モードにする

2 外部機器を再生状態にする

外部機器に記録された映像が LCD モニターやビューファインダーに表示されます。

ご注意 :

- このモードは、外部機器からの [IEEE1394] 端子への入力映像を見るためのものであり、入力映像を本機で記録することはできません。

ノンリニア編集システムへのストリーム転送

ノンリニア編集システムを使って編集する場合、本機の再生画像をストリーム転送することができます。

■本機を再生側にし、ノンリニア編集システムに取り込む

1 本機の設定

① [HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチを "DV" に設定します。

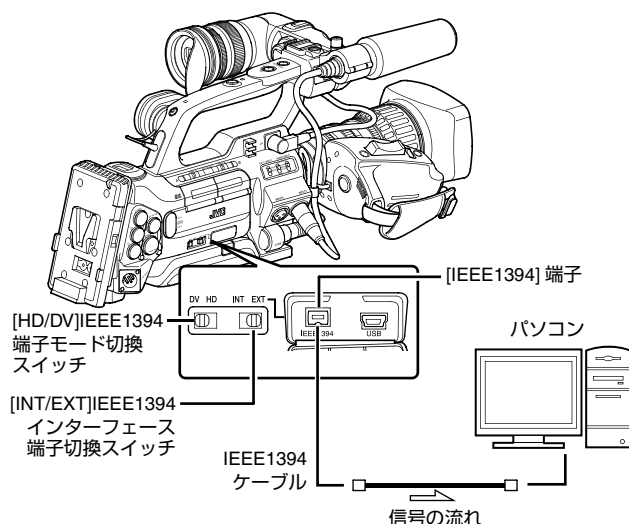
② [INT/EXT]IEEE1394 インターフェース端子切換スイッチを "EXT" に設定します。

メモ :
- DV フォーマットのみストリーム転送が可能になります。

2 IEEE1394 ケーブルを接続する

3 本機とノンリニア編集システム、両方の電源を入れる

4 本機をメディアモードにする

[CAM/MEDIA] 切換ボタンを押し、メディアモードに切り換えます。(☞ 7 ページ)

ご注意 :
- 正しく接続されているか、確認してから記録操作してください。

5 記録したいメディアを入れる。

本機　　:記録済みの SDHC カード

6 本機の再生ボタン（十字ボタン中央）を押す。

再生がはじまります。

7 ノンリニア編集システムの取り込み操作を行う

詳しくは、ノンリニア編集システムの [取扱説明書] をご覧ください。

8 取り込みの終了

取り込みが終了したら、本機の [CANCEL] ボタンを押して再生を停止します。

メモ :
- [HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチは、本機の電源が OFF のときに切り換えてください。
- 接続する機器の特性や仕様によっては操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- 画面にノイズが出たり、音声が途切れた場合は、IEEE1394 ケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直してください。
- [IEEE1394] 端子に接続されている機器の電源を入り切りした場合、音声にノイズが発生することがあります。このような操作を行う場合、本機に接続されている機器の音量（ボリューム）を最小にしてください。

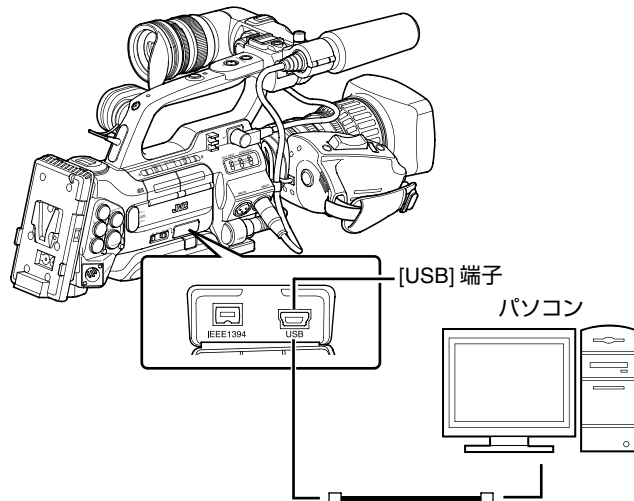
コンピュータでクリップを管理・編集する

コンピュータにクリップを取り込む（USB 接続モード）

SDHC カードに収録されているクリップをコンピュータで管理・編集するために、本機とパソコンを USB で接続し、パソコンにクリップを取り込むことができます。
このモードはパソコンなどからはその周辺機器のドライブとして認識される USB マスストレージクラスのみ、接続パソコンから、SDHC カード上のファイルの操作を行うことができます。

メモ：
- SDHC カードへの書き込みはできません。
- ファイルの操作は、必ず添付の CD-ROM に収録されているパソコン用アプリケーションソフトウェア (JVC ProHD Clip Manager) で行なってください。
  - アプリケーションソフトインストールの方法は、付属の CD-ROM に収録されている [SxS Memory Card Device Driver Software] の [User's Guide] をご覧ください。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する

USB 接続を有効にするかどうかを確認するメッセージ (Change to USB Mode) が表示されます。

2 十字ボタン（▲▼）で [Change] を選択し、セットボタン（●）を押す

USB モードに切り換わります。

メモ：
- 記録中（本体、IEEE1394 上のデバイスを含む）の場合、記録停止した段階で "Change to USB Mode" のメッセージが表示されます。
- 再生中であれば再生停止など、ファイルを自動的に閉じてから移行します。

■接続の解除

接続パソコン上で、接続解除の操作を行い、USB ケーブルを本体から抜きます。
USB モードが解除され、カメラモードに切り換わります。

メモ：
- 接続解除の方法は、お使いのパソコンによって異なります。パソコンの [取扱説明書] をご覧ください。

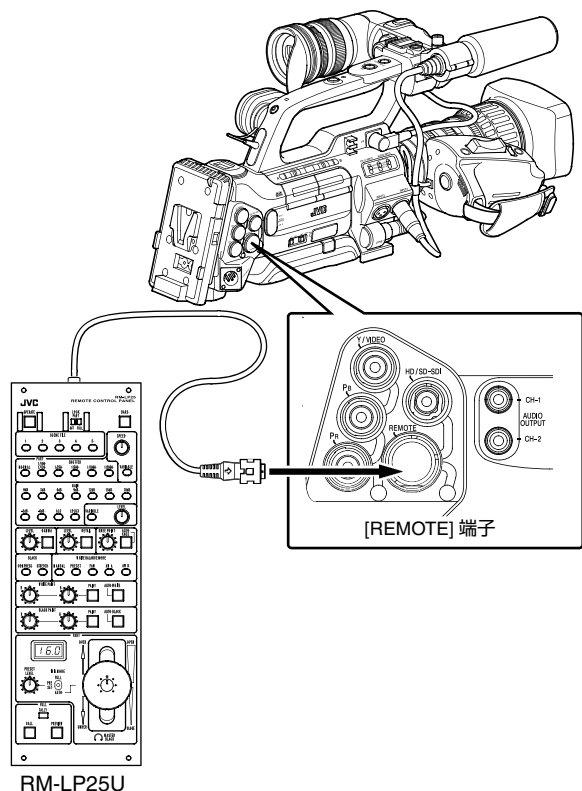
リモートコントロールユニットの接続

本機のスイッチ機能をリモートコントロールユニットを使用して設定します。

※接続可能なリモートコントロールユニット：
RM-LP25U、RM-LP55、RM-LP57

1 **本機にリモコンを接続する**

リモートコントロールユニットのリモートケーブルを本機端子部 [REMOTE] 端子に接続します。

[REMOTE] 端子
RM-LP25U

ご注意：

- リモートコントロールユニットを接続するときは、本機の電源を切ってください。

2 **本機の電源を ON にする**

3 **リモートコントロールユニットのオペレートスイッチを ON にする**

メモ：

- リモートコントロールユニットから操作可能な機能の詳細については、[リモコンから操作可能な機能一覧] (☞ 120 ページ) をご覧ください。

■リモートコントロールユニット使用時の注意

- 本機のスイッチとリモートコントロールユニットのスイッチを同時に操作した場合、リモコンでのスイッチ操作が優先されます。
- フォーカスとズーム操作はリモコンでは行えません。
- シャッタースピードは、本機に表示される数値と多少ずれる場合があります。
- [Frame & Bit Rate] のフレームレートが "24p" の場合のシャッタースピードについて
  本機のフレームレートが "24p" の場合、リモートコントローラーユニットからはシャッタースピードを "1/60" には設定できません。"1/60" に設定したとしても、実際には "1/48" になります。(☞ 71 ページ)
- オートホワイト機能
  本機がメディアモードのとき、オートホワイト操作を RM-LP25U で行なっても、AUTO WHITE 機能は動作しません。

リモートコントロールユニットの接続 (つづき)

リモコンから操作可能な機能一覧

■RM-LP25U

機能			✓：操作可能 –：操作不可
SHUTTER	NORMAL		✓
	1/100※1、1/120※2		✓
	1/250		✓
	1/500		✓
	1/1000		✓
	1/2000		✓
	VARIABLE		–
		SPEED	
GAIN	-6dB		–
	-3dB		–
	0dB		✓
	3dB		✓
	6dB		✓
	9dB		✓
	12dB		✓
	15dB		✓
	18dB		✓
	ALC		✓
	LOLUX		–
	VARIABLE		
		LEVEL	–
DETAIL			✓
		LEVEL	✓
GAMMA			✓
		LEVEL	✓
BLACK	STRETCH※3		✓
	COMPRESS※3		✓
WHITE BALANCE MODE	NORMAL		✓
	PRESET		✓
	FAW		✓
	AW A		✓
	AW B		✓
WHITE PAINT			✓
AUTO WHITE			✓
AUTO BLACK			–
BLACK PAINT			✓
IRIS CONTROL			✓
		絞り値表示	✓

機能		✓：操作可能 –：操作不可
MASTER BLACK		✓
TALLY（LED）		✓
CALL※4		✓
PREVIEW		–
AUTO KNEE		✓
KNEE POINT		✓
BARS		✓
TALLY(PGM)※4	背面入力	✓
TALLY(PVW)※4	背面入力	✓

■RM-LP55

機能			✓：操作可能 –：操作不可
CAM MODE	CAM、BARS		✓
CONTOUR	OFF、ON (LEVEL)		✓
GAMMA	OFF、ON (LEVEL)		✓
WHT.BAL	MANUAL、PRESET、AUTO1、AUTO2、FAW		✓
	AUTO WHITE		✓
	WHITE PAINT		✓
GAIN	dB mode	0dB、+3dB※4、+6dB、+9dB、+12dB、+15dB※5、+18dB	✓
	ALC+EEI		✓
	ALC		✓
PAINT	R		✓
	B		✓
SHUTTER	NORMAL		✓
	STEP	1/100※1、1/120※2、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000※5、1/10000※5	✓
	EEI		✓
IRIS	MANUAL, AUTO		✓
	AUTO IRIS LEVEL、MANUAL IRIS LEVEL		✓
ZOOM	WIDE、STOP、TELE		–
FOCUS	NEAR、STOP、FAR		–

※1 ：本機の [Frame & Bit Rate] が “60”、“30”、“24” のいずれかの場合のみ。
※2 ：本機の [Frame & Bit Rate] が “50” か “25” の場合のみ。
※3 ：[STRETCH]、[COMPRESS] が両方 “Off” の場合 “NORMAL” となります。
※4 ：[Others] メニューの [Tally System] 項目を “Studio” に設定した場合のみ。
※5 ：RM-LP55(A) のみ。

■RM-LP57

機能		✓：操作可能 –：操作不可
MODE	BARS、CAM	✓
H.PHASE		–
SC COARSE	0°, 90°, 180°, 270°	–
SC FINE		–
CONTOUR	OFF、ON	✓
	LEVEL	✓
GAIN	0dB	✓
	+6dB	✓
	+9dB	✓
	+12dB	✓
	+18dB	✓
	ALC	✓
	ALC+EEI	✓
WHITE BAL	AUTO1	✓
	AUTO2	✓
	FAW	✓
	AUTO WHITE	✓
PAINT	R	✓
	B	✓
SHUTTER	OFF	✓
	1/100※1、1/120※2	✓
	1/250	✓
	1/500	✓
	1/1000	✓
	1/2000	✓
	EEI	✓
MASTER BLACK		✓
IRIS	MANUAL, AUTO	✓
	MANUAL LEVEL	✓
	AI LEVEL	✓

※1　：本機の [Frame & Bit Rate] が “60”、“30”、“24” のいずれかの場合のみ。

※2　：本機の [Frame & Bit Rate] が “50” か “25” の場合のみ。

エラー表示と対応

アラーム状況に応じて、LCD モニター画面／ビューファインダー画面のアラーム表示、タリーランプおよびアラーム音は表のように表示または出力されます。

メモ：

- 本機はマイクロコンピューターを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズによって、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を入れなおしてください。

エラー表示		状況	処置
ステータス画面	メニュー画面 サムネイル画面		
TURN POWER OFF TURN BACK ON LATER	—	システムエラーです。 ※アラーム音が鳴り、タリーランプがゆっくり点滅（1 秒間に 1 回）します。	一度電源を切り、再度電源を入れてください。エラーが解除されない場合は、お近くの JVC ディーラーへお問い合わせください。
INCORRECT MEDIA [※※※]	Incorrect Media [※※※]	サポート外の SDHC カード（Class6 以外）です。 （※※※：A、B、A/B）	Class6 対応の SDHC カードを挿入してください。（☞ 31 ページ）
INVALID MEDIA [※※※]	Invalid Media [※※※]	● 修復が困難なエラーを検出した場合。 ● SDHC カードの読み込み・書き込み時のエラーです。（SDHC カードの問題） （※※※：A、B、A/B）	別の SDHC カードに取り換えてください。
FORMATTING REQUIRED [※※※]	Formatting Required [※※※]	本機でフォーマットされた SDHC カードではありません。 （※※※：A、B、A/B）	本機でフォーマットしてください。 （☞ 32 ページ）
RESTORE MEDIA [※※※]	Restore Media [※※※]	● SDHC カードの修復が必要です。 ● 記録が正常終了しませんでした。（瞬断 / カード抜き） （※※※：A、B、A/B）	本機で修復してください。（☞ 33 ページ）
NO MEDIA	—	SDHC カードを挿入していないのに [REC] ボタンを押した場合。	SDHC カードを挿入してください。 （☞ 31 ページ）
—	No Media	メディアモード時または、サムネイル画面で SDHC カードが未挿入の場合。	SDHC カードを挿入してください。 （☞ 31 ページ）
—	No Clips	メディアモード時または、サムネイル画面で挿入した SDHC カードに CLIP が入っていない場合。	再生可能なクリップの入っている SDHC カードを入れてください。 （☞ 31 ページ）、（☞ 57 ページ）
NO CLIP	—	クリップレビューしようとしたカードにレビュー可能なクリップがない場合。	レビュー可能なクリップの入っている SDHC カードを入れてください。 （☞ 31 ページ）、（☞ 52 ページ）
REC INHIBITED	—	書き込み禁止スイッチがセットされた SDHC カードで [REC] ボタンを押した場合。	SDHC カードの書き込み禁止スイッチを解除するか、記録可能な SDHC カードを挿入してください。（☞ 33 ページ）
CLOSE SLOT COVER	—	● 選択しているスロットのカバーをあけたまま、SDHC カードに記録を開始した場合。 ● 記録中にカバーをあけた場合。	SDHC カードスロットのカバーをとじてください。（☞ 31 ページ）
LOST MEDIA INFO [※]	Lost Media Info [※]	● 記録中のカードが抜かれた場合。 ● フォーマット中のカードが抜かれた場合。 ● 修復中のカードが抜かれた場合。 ● OK マーク書き込み中のカードが抜かれた場合。 ● セットアップファイル書き込み中のカードが抜かれた場合。 ● クリップ削除中のカードが抜かれた場合。 （※：A、B）	本機で修復してください。（☞ 33 ページ）

エラー表示		状況	処置
ステータス画面	メニュー画面 サムネイル画面		
EXT-RECORDER POWER ?	—	外部機器の接続が認識されている状態でカメラの電源を切り、再度電源を入れ数秒後、外部機器が検出されない場合。（約 7 秒表示）	外部接続機器を使用する場合は、外部接続機器側で電源を入れてください。
VIDEO FORMAT INCORRECT	—	● クリップレビューしようとしたファイルのビデオフォーマットが、カメラの [Frame & Bit Rate] の設定と異なる場合。 ● IEEE1394 入力されているビデオフォーマットが、[Camera Resolution] および [Frame & Bit Rate] の設定と異なる場合。	[Camera Resolution] および [Frame & Bit Rate] を正しく設定してください。（☞ 71 ページ）
		● IEEE1394 入力されている信号に対して、[HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチが正しく設定されていない場合。	[HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチを IEEE1394 入力している信号合わせてが正しく設定してください。
MEDIA FULL	—	● 記録容量がないのに、[REC] ボタンを押した場合。 ● 記録中に残量がなくなった場合。	別の SDHC カードに取り換えてください。
FAN MAINTENANCE REQUIRED	—	● ファンの使用時間が 9000 時間を超えた場合。	ファンの点検、交換を行なってください。詳しくは、お近くの JVC ディーラーへお問い合わせください。 メモ： ● ファンの使用時間は、[Others] メニュー ➔[System Information]➔[Fan Hour] 項目で確認できます。（☞ 88 ページ）

タリーランプについて

記録時に SDHC カードの残量が少なくなったり、バッテリーの残量が少なくなると点滅します。）

点滅状況	バッテリー／ SDHC カード残量
ゆっくり点滅 （1 秒間に 1 回）	● バッテリー残量が少ない場合 ● SDHC カード残量が 3 分未満の場合
早く点滅 （1 秒間に 4 回）	● SDHC カード容量が一杯になった場合 ● 本機に異常が発生した場合

アラーム音

バッテリーが少なくなると、モニタースピーカーや [PHONES] 端子から、アラーム音が出力されます。
SDHC カードの容量がいっぱいになると、モニタースピーカーや [PHONES] 端子から、アラーム音が出力されます。（カメラモード時のみ）
また、本機に異常が発生した場合も、アラーム音が出力されます。

メモ：
- アラーム音出力の有無や音量は [Others] メニュー画面の [Alarm Level] 項目で設定できます。（☞ 87 ページ）
- 記録中はアラーム音を出力しません。

こんなときは

症状	処置
電源が入らない。	● AC アダプターが正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？ ● 電源を切った後すぐに電源を入れなかったですか？電源の再立ち上げは 5 秒以上時間をあけてから行なってください。
記録ができない。	● ハンドル部の記録ボタンロックスイッチが ON になっていませんか？ ● SDHC カードの書込み禁止スイッチがセットされていませんか？セットされている場合は、解除してください。（☞ 33 ページ） ● カメラモードになっていますか？（動作モード表示ランプ：青色または紫色に点灯）動作モード表示ランプが他の色で点灯している場合は、カメラ画を出力しません。[CAM/MEDIA] 切り換えボタンを押し、カメラモードに切り換えてください。（☞ 7 ページ）
LCD モニター画面やビューファインダー画面にカメラ画が出力されない。	● カメラモードになっていますか？（動作モード表示ランプ：青色または紫色に点灯）動作モード表示ランプが他の色で点灯している場合は、カメラ画を出力しません。[CAM/MEDIA] 切り換えボタンを押し、カメラモードに切り換えてください。（☞ 7 ページ）
LCD モニター画面やビューファインダー画面の画像が暗い、ぼやけている。	● LCD モニター画面やビューファインダーの明るさを調整しなおしてください。 ● [ND FILTER] スイッチが [1/16] になっていませんか？ ● アイリスが閉じていませんか？ ● シャッター速度が速すぎる設定になっていませんか？ ● ビューファインダーケーブルの接続を確認してください。 ● ピーキング量が少なくありませんか？ LCD モニター画面の輪郭は [LCD PEAKING +/-] ボタンで、ビューファインダー画面の輪郭は [VF PEAKING] つまみで、それぞれ調整してください。（☞ 28 ページ）
サムネイルでクリップを選択してセットボタン（●）を押しても、再生されない。	● 選択したクリップは、再生可能なクリップですか？ ビデオフォーマット設定が異なっていると再生できません。
HD/DV 信号を入力できない。	● IEEE1394 入力モードになっていますか？（動作モード表示ランプ：オレンジ色点灯） ● [HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチは、正しく設定されていますか？
再生時、音声がでない。	● 再生しているクリップは、バリアブルフレームレックで記録したクリップではありませんか？（☞ 56 ページ）
[AUDIO LEVEL CH1/CH2] 調整つまみが効かない。	● [CH1/CH2 AUDIO SELECT] スイッチが "AUTO" になっていませんか？ ● [FULL AUTO] スイッチが "ON" になっていませんか？
SDHC カードが初期化（フォーマット）できない。	● SDHC カードの書込み禁止スイッチがセットされていませんか？セットされている場合は、解除してください。（☞ 33 ページ）
充電したバッテリーを装着しても、バッテリーアラームが表示される。	● バッテリーが古くないですか？
タイムコードやユーザーズビットが表示されない。	● IEEE1394 入力モードでは表示されません。 ● カメラモードや SD カードモードでも、STATUS 表示の種類によっては表示されない場合があります。 ● [LCD/VF] メニュー [Status Display] の [TC/UB] 項目が "Off" になっていませんか？表示する場合は、"On" に設定してください。（☞ 85 ページ）
日付・時刻が表示されない。	● カメラモード（撮影中）時は、ステータス 2 またはステータス 3 画面にのみ日付と時刻が表示されます。（☞ 98 ページ）（☞ 99 ページ）
[Y/VIDEO]、[PB]、[PR] 映像信号出力端子から出力されない。	● [A/V Out] メニューの [Output Terminal] 項目が正しく設定されていますか？（☞ 86 ページ）
ビューファインダーが正しく表示されない。	● [LCD/VF]メニューの[LCD + VF]の項目が"Off"に設定されており、LCDモニターを使用していませんか？（☞ 82 ページ）
IEEE1394 接続しても、本機や外部機器に画像が映らないなど、外部機器との接続がうまくいかない。	● 動作モードがあっていますか？（☞ 7 ページ） ● [INT/EXT]IEEE1394 インターフェース端子切換スイッチは正しく設定されていますか？ ● [HD/DV]IEEE1394 端子モード切換スイッチは、正しく設定されていますか？ ● IEEE1394 ケーブルを抜き差しする、電源を OFF にして接続し直すなどして、接続を確認してください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望にによ り有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	：HD メモリーカードカメラレコーダー
品番	：GY-HM700
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

一般

電源	：	DC12 V（10.5 V ～ 17 V）
消費電力	：	約 23 W （記録時 [本体 + 標準レンズ +LCD モニター使用時]）
質量	：	約 3.6 kg
許容動作温度	：	0 ℃ ～ 40 ℃（32 ℉ ～ 104 ℉）
許容動作湿度	：	30 % ～ 80 %RH
許容保存温度	：	-20 ℃ ～ 60 ℃（-4 ℉ ～ 122 ℉）

カメラ部

映像素子	：	1/3 型 Progressive IT CCD
色分解プリズム	：	F1.4、3 色分解プリズム方式
同期方式	：	内部同期（内蔵 SSG）
レンズマウント	：	1/3 型バヨネット方式
光学フィルター	：	OFF, 1/4, 1/16
ゲイン	：	0dB, 3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB, ALC
電子シャッター	：	1/6 ～ 1/10000, EEI
バリアブルフレーム	：	10/30-60/30fps, 10/25-50/25fps, 10/24-60/24fps
LCD モニター	：	4.3 型 LCD、800 x 480 （WVGA 41 万画素）
ビューファインダー	：	0.45" LCOS, 1.22 megapixels （852 x 480 x 3）

レンズ部

レンズ	：	Canon F1.6, 14x, f=4.4-61.6 mm （35 mm conversion：32-448 mm）
フィルター径	：	82 mm

ストレージ部

対応メディア	：	SDHC（CLASS6）
スロット数	：	2 スロット

映像 / 音声

記録時間	：	約 25 分（8 GB SDHC カード、35 MbpsVBR モード）
記録ファイル形式		
：映像	：	MPEG-2 Long GOP
HQ モード	：	VBR, 35 Mbps（Max）MPEG-2 MP@HL
SP モード	：	CBR, 25 Mbps（1440x1080i）/ 19 Mbps（1280x720p） MPEG-2 MP@H14/MP@HL
：音声	：	LPCM 2ch, 48 kHz/16 Bit
映像フレームレート		
：NTSC 設定		
HQ モード	：	1920x1080/59.94i, 29.97p, 23.98p, 1440x1080/59.94i（MOV only）, 1280x720/59.94p, 29.97p, 23.98p
SP モード	：	1440x1080/59.94i, 1280x720/59.94p, 29.97p, 23.98p
：PAL 設定		
HQ モード	：	1920x1080/50i, 25p, 1440x1080/50i（MOV only）, 1280x720/50p, 25p
SP モード	：	1440x1080/50i, 1280x720/50p, 25p

端子部

[Y/VIDEO]、[PB]、[PR] アナログ映像出力端子

アナログコンポジット出力時
（480i or 576i：Downconverted, 4:3/16:9）

：1.0 V（p-p）, 75 Ω, BNC（不平衡）

コンポーネント出力時（720p/1080i）

：Y：1.0 V（p-p）, 75 Ω
Pb, Pr：0.7 V（p-p）, 75Ω, BNCx3（不平衡）

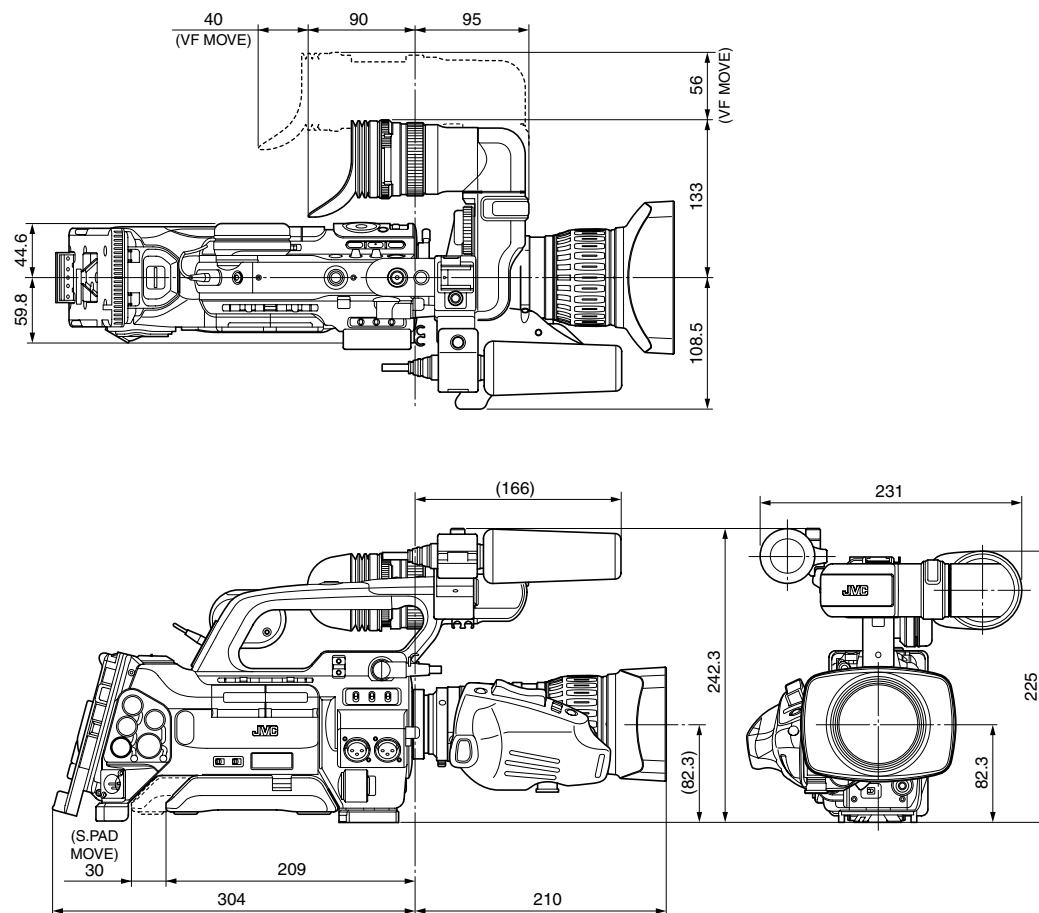
[HD/SD-SDI] 出力端子（480i or 576i：Downconverted / 720p / 1080i：音声重畳）、BNC （不平衡）

HD-SDI 時	：	SMPTE 292 M 準拠
SD-SDI 時	：	SMPTE 259 M 準拠
[AUDIO INPUT 1/2] 端子		
[MIC]	：	－ 60 dBu, 3 kΩ, XLR（平衡）, +48 V 出力（ファンタム電源供給）
[LINE]	：	+4 dBu, 10 kΩ, XLR（平衡）
[AUDIO OUTPUT] 端子		
	：	-8 ± 1 dBu （-8dBu 入力時）, 1 kΩ, RCAx2（不平衡）
[PHONES] 端子	：	φ3.5 mm ミニジャック（ステレオ）× 2
[REMOTE] 端子	：	6-pin JVC リモコン接続
[IEEE1394] 端子	：	4-pin
[USB] 端子	：	Mini USB-B タイプ、USB2.0、miniB、スレーブ機能（マスストレージクラス）のみ

付属品

マイク	1
レンズ	1
取扱説明書	1
CD-ROM	1
保証書	1

外形寸法図

■（単位：mm）

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。